

移住定住

H A N D B O O K

ハンドブック2022

宮城県

移住定住ハンドブック2022 — 宮城県



〔問合せ先〕

宮城県 企画部 地域振興課 移住定住推進班

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

Tel : 022-211-2454 ✉ tisini@pref.miyagi.lg.jp

仙台・宮城観光PRキャラクター むすび丸



もくじ CONTENTS

●データで見る宮城県	2
●宮城県の4つのエリア	6
各エリアの紹介と相談窓口	
県北エリア	8
三陸エリア	10
仙台エリア	12
県南エリア	14
●市町村「こんな人にちょうどいい」一覧	16
●安心して暮らすための生活支援制度	120
●移住・定住のステップガイド	122
●お試し暮らしを知っていますか?	124
●各種相談窓口	132
●移住支援金	134
●起業・農業・漁業・林業	136
●アクセス	138

●宮城県内35市町村の移住・定住支援データ

県北エリア

●登米市	20
●栗原市	23
●大崎市	27
●色麻町	30
●加美町	32
●涌谷町	36
●美里町	38

仙台エリア

●仙台市	57	●山元町	76
●塩竈市	60	●松島町	79
●名取市	63	●七ヶ浜町	82
●多賀城市	65	●利府町	84
●岩沼市	68	●大和町	86
●富谷市	71	●大郷町	88
●亘理町	73	●大衡村	91

三陸エリア

●石巻市	40
●気仙沼市	43
●東松島市	47
●女川町	51
●南三陸町	54

県南エリア

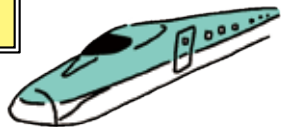
●白石市	93	●村田町	109
●角田市	96	●柴田町	112
●蔵王町	99	●川崎町	114
●七ヶ宿町	102	●丸森町	117
●大河原町	106		



データで見る 宮城県

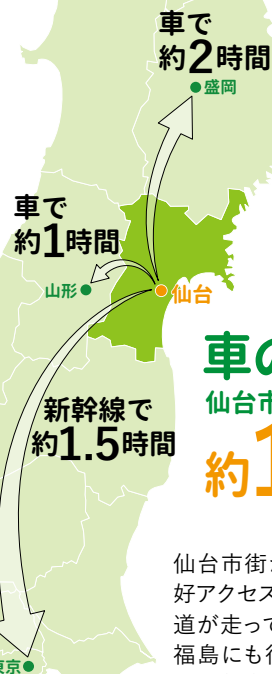
自然や文化、食材など
豊かな地域資源に満ちている宮城県。
暮らしに関わるさまざまなデータから
宮城の特長と魅力を
探してみましょう！

交通



東京↔仙台
最速1.5時間

東北新幹線の利用で東京～仙台間は最速で約1時間30分。仙台空港アクセス線により仙台空港～仙台駅までは最速17分。高速バスも便数が豊富で、県内外ともに、アクセス面も優れています。



人口

226万8,356人
102万3,972世帯

(令和3年12月末現在 住民基本台帳人口及び世帯数)

宮城県は首都東京から約300キロメートル北東に位置しています。東北では唯一の政令指定都市・仙台市が県庁所在地です。

面積 7,282.29km²

(令和2年国土地理院調)



車の移動が便利！

仙台市中心部から

約1時間～2時間
程度で隣県にも！

仙台市街から山や海は車で1時間圏内の好アクセス！県内には東北道や山形自動車道が走っており、1時間程度で山形・岩手・福島にも行くことができます。三陸自動車道も全線開通し、県内の移動環境も益々便利になってきています。仕事にもレジャーにもアクティブな時間の使い方ができます。

自然

自然が豊かで
暮らしやすく
過ごしやすい

東は太平洋に面し、豊かな漁場と日本三景の一つ松島をはじめとする風光明媚な観光地などに恵まれています。西には蔵王・船形・栗駒などの山々が連なり四季折々の姿を見せ、中央部には有数の穀倉地、仙台平野が広がります。このように海・山・川・平野が調和した自然環境が、豊かで暮らしやすい宮城県をつくりだしています。

一年を通して極端に暑くなったり、寒くなったりする日が少なく、東北の中では降雪量も少なめです。街中では降り積もった雪が一週間以上残ることはほとんどありません。四季折々の気候が宮城の美しい自然を包んでいます。



住む

住宅地を取得する場合の
平均価格は

東京の約9分の1

国土交通省によると、宮城県の住宅地の平均価格は44,100円/㎡となっています。全国平均が約52,600円/㎡ですから、比較的安く住宅用地を取得できると言えるのではないのでしょうか。ちなみに全国1位は東京都で380,900円/㎡。宮城県なら、東京都の約9分の1程度で住宅地を取得できるということになります。

(国土交通省「令和3年度 都道府県地価調査」)

宮城県の気候

	仙台市	東京都
年間平均気温	12.4℃	15.4℃
年間降水量	1,254.1mm	1,528.8mm
最深積雪	17cm	6cm

(気象庁ホームページ)



暑すぎず寒すぎない。
だから…。

住宅を購入し、住みはじめるとかかるのが「水道・光熱費」。総務省の統計では、宮城県内の「水道・光熱費」は、東京周辺地域より唯一物価水準が高い項目。主な内容は冷暖房等ですが、実は北海道・東北地域では最も低い値となっています。仙台管区気象台のウェブサイトでは、「東北地方の中では、冬はわりあい暖かく夏も厳しくない暑さで、一年を通じて比較的穏やかな気候である」ということですが、「暮らしやすい過ごしやすい」気候が、こんなところからもうかがい知ることができます。

(総務省統計局「消費者物価地域差指数2020年」より)

データで見る 宮城県

仕事

有効求人倍率

※新規学卒者除きパート含む
(令和2年12月)

1.26倍
全国24位

全国平均 全国で1.16倍

(厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」より)



生活

百貨店、総合スーパー数

157店

全国13位

コンビニエンスストア数

1,163店

全国13位

仙台市中心部の最新商業施設はもちろん、映画館を併設した郊外型の大型商業施設やショッピングモール、スーパー、コンビニなど多彩なショッピングが楽しめます。

(経済産業省「2020年商業動態統計年報」)

観光

源泉総数

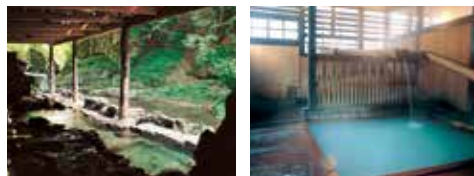
749か所

(令和3年3月31日現在)

宮城は温泉大国

伊達政宗にゆかりのある秋保温泉や鳴子温泉、作並温泉、青根温泉…など風情ある温泉場が各地に数多く点在します。

観光地の旅館やホテル、気軽に入れる共同浴場や長期滞在向けの湯治場など、自分に合った温泉の楽しみ方があります。



農林水産

食材王国みやぎ

FOOD KINGDOM MIYAGI

宮城県は豊かな自然に囲まれ
海・山・大地の育む多彩で
豊富な食材に恵まれています!

米の収穫量は353,400トン (令和3年産)

全国4位を誇る作付面積64,600ha (令和3年産)

宮城県の自慢のひとつは美味しいお米!「ひとめぼれ」「ササニシキ」を生産する米どころとして知られてきました。「米どころ宮城」から、待望の新品種として生まれた「だて正夢」。これまでのみやぎ米にはない「もちもち」した食感と強い甘みが特徴で、「みやぎ米の夢をかなえた、これぞ天下をとる旨さ。」をキャッチフレーズに天下一のブランド米を目指します!

世界三大漁場のひとつ「三陸沖」に面した全国屈指の水産県!



マグロ類漁獲量22,062トン 全国2位

カツオ漁獲量32,045トン 全国2位

ギンザケ養殖生産量14,179トン 全国1位

ワカメ養殖生産量18,309トン 全国1位

カキ養殖生産量21,406トン 全国2位

(令和元年)(農林水産省 漁業・養殖業生産統計より)

東日本大震災により甚大な被害を受けた宮城の水産業は、おおむね震災前の水準まで回復し、全国屈指の地位に戻りつつあります!

かまぼこの購入金額
(仙台市)9,964円 全国1位
(総務省 家計調査より)

水産物調理食品
(冷凍食品)生産量17,320トン 全国1位
(令和2年)(農林水産省 水産加工統計調査より)

その他にもみやぎには
全国に誇る食材がたくさん!

パプリカ収穫量1,441トン 全国1位
(平成30年産)
(農林水産省 地域特産野菜生産状況調査より)

せり収穫量443トン 全国1位
(平成30年産)
(農林水産省 地域特産野菜生産状況調査より)

大豆収穫量18,800トン 全国2位
(令和2年産)
(農林水産省 作物統計より)



宮城県の4つのエリア

宮城県は東京から300km北東に位置。
東側は太平洋に面し、西には蔵王・船形・栗駒などの
山々が連なり、中央部には日本有数の穀倉地
『仙台平野』が広がります。
そんな地形の多彩さが、エリアによって違う
魅力的な特色をもたらしました。
四季折々に美しく雄大な自然環境と、点在する温泉。
そして仙台の洗練された都市機能。
ウィンタースポーツも盛んです。

県北エリア

世界農業遺産
「大崎耕土」が広がる
温泉天国



三陸エリア

水産業を中心に
あらたなまちづくりが進む



仙台エリア

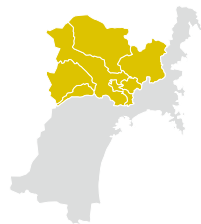
仙台中心部まで
アクセス30分圏内



県南エリア

蔵王連峰のふもと
風光明媚な景色が広がる





田園風景(栗原市)

名峰「栗駒山」に代表される雄大な自然 農業・畜産業が盛んな『米どころ』

宮城の最北エリアには岩手と秋田にまたがる名峰「栗駒山」がそびえ、秋には山全体が茜色に染まるみごとな情景に包まれます。山の麓にはのどかな田園風景が広がり、そういった自然の恩恵を受けた新鮮な農産物が採れます。

肥沃な土地柄から『米どころ』と言われる大崎地方には、江合川(荒雄川)が流れ、その上流には全国的に有名な『鳴子温泉郷』があります。「鳴子温泉」「東鳴子温泉」「川渡温泉」「中山平温泉」「鬼首温泉」の5か所の温泉地からなる一大温泉郷で観光資源でもあります。

登米市・栗原市にまたがる「伊豆沼・内沼」や大崎市の「蕪栗沼」は渡り鳥の聖地となっています。ラムサール条約の登録湿地でもあり、全国からプロ・アマ写真家が訪れます。

加美町のほぼ中央には、宮城県立自然公園船形連峰に含まれる『葉菜山(やくらいさん)』があり、山麓にはスキー施設、レジャー施設、産直施設などがあり、国内有数の音響を誇る文化施設パッハホールもあります。

県北エリアには多くの企業が集積しており、自動車関連、電子部品、住宅資材関連、食品関連工場など働く場が幅広くあります。また、子育て支援に積極的な自治体も多く、それぞれが独自の取り組みを行っています。



鳴子温泉(大崎市)



伊豆沼の白鳥(登米市・栗原市)



教育資料館(登米市)

登米市

■登米市 まちづくり推進部
観光シティプロモーション課

☎ 0220-23-7331

〒987-0511
宮城県登米市迫町佐沼字中江2-6-1

[HP] <https://www.city.tome.miyagi.jp/>

▶移住に関するページ
<https://www.city.tome.miyagi.jp/shisejoho/ijuteju/index.html>



色麻町

■色麻町 企画情報課

☎ 0229-65-2127

〒981-4122
宮城県加美郡色麻町四電字北谷地41

[HP] <http://www.town.shikama.miyagi.jp/1.html>



栗原市

■栗原市 企画部 企画課
定住戦略室 定住戦略係

☎ 0228-22-1125

〒987-2293
宮城県栗原市築館薬師1-7-1

[HP] <https://www.kuriharacity.jp/>

▶移住に関するページ
<https://www.kuriharacity.jp/welcome/index.html>



大崎市

■大崎市 市民協働推進部 政策課

☎ 0229-23-2129

〒989-6188
宮城県大崎市古川七日町1-1

[HP] <https://www.city.osaki.miyagi.jp/>



■おおさき移住支援センター
「cu:rus(くーらす)」

☎ 0229-25-4493

〒989-6162
宮城県大崎市古川駅前大通り2-4-5-1F

[HP] <https://osaki-ijyu-support.jp/>



美里町

■美里町 まちづくり推進課

☎ 0229-33-2180

〒987-8602
宮城県遠田郡美里町北浦字駒米13

[HP] <http://www.town.misato.miyagi.jp>

▶移住に関するページ
<http://www.town.misato.miyagi.jp/07kurashi/2011-0825-1006-33.html>



涌谷町

■涌谷町 まちづくり推進課
まちづくり推進班

☎ 0229-43-2119

〒987-0192
宮城県遠田郡涌谷町字新町裏153-2

[HP] <http://www.town.wakuya.miyagi.jp/>

▶移住に関するページ
<http://www.town.wakuya.miyagi.jp/kurashi/teijuu.html>





気仙沼湾(気仙沼市)

活気ある「漁業」の復興と 新しい文化が育まれる海のまち

東松島市から気仙沼市まで続く沿岸部の「三陸エリア」は、古くから豊かな海の恵みを生かした暮らしや文化が育まれてきました。三陸の沖合は親潮と黒潮が交わる潮境が広がる、世界三大漁場の一つであり、日本有数の水産物の供給地です。また、入り江が複雑に入り組んだリアス式地形となっているため、湾内は牡蠣やホヤ、ワカメといった養殖に適し、重要な地場産業にもなっています。東日本大震災で、水産業は甚大な被害を受けましたが、国内外からの支援と関係者の努力で復興が進み、おおむね震災前の水準まで回復し、全国屈指の地位を回復しつつあります。

「海のまち」の活気が感じられる新スポットも誕生しており、幸せの鐘などを設置した南三陸の新名所「北の恋人岬」、石巻の中心市街地にできた「いしのまき 元気いちば」では、鮮魚、水産加工品、地元の農産品や特産品の販売を中心に、ショッピングや食事を楽しむ観光スポットとなっています。

2018年10月には気仙沼市と東松島市において宮城初のオルレコース「気仙沼・唐桑コース」「奥松島コース」が誕生し、県内外からの誘客を図っています。

一次産業である漁業・農業はもちろん、水産加工業、地元ならではの「食」に関する仕事、「復興ツーリズム」などの観光業など、日々新しい『働く場の可能性』が生まれているエリアです。

※「オルレ」とはその土地の自然・歴史・文化などを身近に感じながらマイペースで楽しむトレッキングです。



袖浜海岸(南三陸町)



奥松島オルレコース(東松島市)



いしのまき元気いちば(石巻市)

石巻市

■石巻市 復興企画部
SDGs移住定住推進課
☎ 0225-95-1111 (代表)
〒986-8501
宮城県石巻市穀町14-1

HP <http://www.city.ishinomaki.lg.jp/index.html>



▶移住に関するページ
<http://ishinomaki-iju.com/>

■石巻まちのコンシェルジュ
☎ 0225-98-9969
〒986-0822
宮城県石巻市中央二丁目10-2
新田屋ビル1階

HP <https://www.facebook.com/hagukumi.ishinomaki/>



気仙沼市

■気仙沼市 震災復興・企画部
震災復興・企画課
☎ 0226-22-6600 (内線314)
〒988-8501
宮城県気仙沼市八日町1-1-1

HP <http://www.kesennuma.miyagi.jp/>



■気仙沼市移住・定住支援センター
MINATO

☎ 0226-25-9119
〒988-0018
宮城県気仙沼市南町海岸1-11
気仙沼市 まち・ひと・しごと交流プラザ2F

HP <https://www.minato-kesennuma.com/>



東松島市

■東松島市 復興政策部 復興政策課
☎ 0225-82-1111 (代表)
〒981-0503
宮城県東松島市矢本字上河戸36-1

HP <https://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/1.html>



女川町

■女川町 企画課
☎ 0225-54-3131

〒986-2265
宮城県牡鹿郡女川町女川一丁目1-1

HP <https://www.town.onagawa.miyagi.jp/>



南三陸町

■南三陸町 企画課
☎ 0226-46-1371

〒986-0725
宮城県本吉郡南三陸町志津川
字沼田101

HP <https://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/>

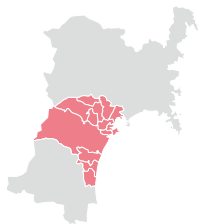


■南三陸町 移住・定住支援センター
☎ 0226-25-9552

〒986-0725
宮城県本吉郡南三陸町
志津川字沼田101

HP <http://www.minamisanriku-iju.jp/>





仙台城跡からの眺め(仙台市)

杜の都「仙台」から車で約30分圏内 商業、貿易の拠点でありながら自然も豊か

北は日本三景「松島」がある松島町から、南はホッキ貝で有名な山元町まで、広域でまちの特色も違う「仙台エリア」。

松島・塩竈近郊は屈指の景勝地として歴史や文化的スポットが点在し、国内外から多くの観光客が訪れる、観光の拠点でもあります。県のほぼ中央に位置する内陸のエリアでは伝統的な農業の他、先端技術産業や自動車関連の企業進出により、多くの雇用が生まれています。

仙台市は約109万人が暮らす大都市で、行政、地元企業や全国企業の東北支社、大学・専門学校などが集中し、東北の経済の中心となっています。近年はIT企業の進出もめざましいものがあります。

仙台市に隣接している市町村では、住環境とアクセスの快適さを含めて「子育て支援」に力を入れているところが多くあります。

名取から岩沼、亶理、山元の沿岸部は比較的温暖な気候で雪も少なく、自然豊かで住みやすいまちとしてファミリー向けの支援も多く行っています。いちごや仙台せりなどの「特産野菜」の産地でもあります。

仙台中心部から車で約30分圏内で行き来できる利便性の高いエリアなので、自分に合う風土、暮らしの条件に合う住環境を見つけてください。



多賀城跡あやめ園(多賀城市)



亶理いちご(亶理町)



郷郷ランド(大郷町)

仙台市

■仙台市 まちづくり政策局 政策企画課

☎ 022-214-1245

〒980-8671 宮城県仙台市青葉区国分町3-7-1

[HP] <https://www.city.sendai.jp/>



山元町

■山元町 子育て定住推進課

☎ 0223-36-9835

〒989-2292 宮城県亶理郡山元町浅生原字作田山32

[HP] <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/>

▶移住に関するページ <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/kosodate/36.html>



塩竈市

■塩竈市 総務部 政策課

☎ 022-355-5631

〒985-8501 宮城県塩竈市旭町1-1

[HP] <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/>



松島町

■松島町 企画調整課

☎ 022-354-5702

〒981-0215 宮城県松島町高城字鼎命院下1-19-1

[HP] <https://www.town.miyagi-matsushima.lg.jp/>

▶移住に関するページ <https://www.town.miyagi-matsushima.lg.jp/index.cfm/12.html>



名取市

■名取市 企画部 などの魅力創生課

☎ 022-724-7182

〒981-1292 宮城県名取市増田字柳田80

[HP] <http://www.city.natori.miyagi.jp/>



七ヶ浜町

■七ヶ浜町 政策課

☎ 022-357-2117

〒985-8577 宮城県宮城県七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1

[HP] <https://www.shichigahama.com/>



多賀城市

■多賀城市 企画経営部 企画課

☎ 022-368-1141

〒985-8531 宮城県多賀城市中央2-1-1

[HP] <https://www.city.tagajo.miyagi.jp/index.html>



利府町

■利府町 経済産業部 商工観光課

☎ 022-767-2120

〒981-0112 宮城県宮城県利府町利府字新並松4

[HP] <http://www.town.rifu.miyagi.jp/>



岩沼市

■岩沼市 総務部 地方創生推進課

☎ 0223-23-0386

〒989-2480 宮城県岩沼市桜一丁目6-20

[HP] <https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/>

▶移住に関するページ <https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/kurashi/ijyu/teiju/index.html>



大和町

■大和町 まちづくり政策課

☎ 022-345-1115

〒981-3680 宮城県黒川郡大和町吉岡まほろば1-1-1

[HP] <https://www.town.taiwa.miyagi.jp/>



富谷市

■富谷市 企画部 企画政策課

☎ 022-358-0517

〒981-3392 宮城県富谷市富谷坂松田30

[HP] <http://www.tomiya-city.miyagi.jp>



大郷町

■大郷町 復興定住推進課

☎ 022-341-3061

〒981-3592 宮城県黒川郡大郷町粕川字西長崎5-8

[HP] <http://www.town.miyagi-osato.lg.jp/>



亶理町

■亶理町 企画課

☎ 0223-34-0505

〒989-2393 宮城県亶理郡亶理町字悠里1番地

[HP] <https://www.town.watari.miyagi.jp/>



大衡村

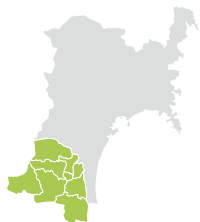
■大衡村 企画財政課

☎ 022-341-8510

〒981-3692 宮城県黒川郡大衡村大衡字平林62

[HP] <http://www.village.ohira.miyagi.jp/>





長老湖(七ヶ宿町)

蔵王連峰と阿武隈川の雄大な自然 農業と製造業が盛んで穏やかな風土

地域の西部に位置する蔵王連峰は、県南エリアを代表する山々で、冬の風物詩「樹氷」や蔵王エコラインの「雪の壁」、初夏にはまばゆい新緑や高山植物、錦秋の紅葉などの雄大な自然が味わえます。温泉も豊富で「小原温泉」「鎌先温泉」「遠刈田温泉」「青根温泉」など風情のある名湯が古くからあります。また、キャンプ場や雪質の良いスキー場が多く、一年を通してレジャーを楽しむことができます。

伊達家の重臣・片倉小十郎が居城とした「白石城」や村田町の「蔵の町並み」などの歴史的観光資源や、桜の名所の白石川堤「一目千本桜」を目当てに、全国から多くの観光客が訪れます。地域の東部には、東北で第2の長さを誇る一級河川「阿武隈川」が流れる平野が広がっており、肥沃な耕地では様々な農産物が生産されています。それらを運んだ舟運の歴史を現在に伝える「阿武隈ライン舟下り」では、四季折々の美しい風景を眺めることができます。

東北新幹線やJR東北本線が走り、首都圏や仙台からのアクセスも良好であり、また、「あぶ急」の愛称で親しまれている阿武隈急行は、沿線の町を歩く「あぶQウォーク」など様々なイベントを企画しており、地域の魅力を感じることができます。

米や野菜、果樹などの農産物の生産のみならず電子機器・機械部品製造などの工業やサービス業も盛んで、第一次産業から第三次産業まで多様な働き方が可能です。

各自治体では、子育てや住まいの支援も充実しており、移住相談窓口も設けられていますので、ぜひ、県南エリアで自分らしい移住先をみつけてください。



遠刈田温泉 神の湯(蔵王町)



白石川堤一目千本桜(大河原町・柴田町)



白石城(白石市)

白石市

■白石市 市民経済部 まちづくり推進課

☎ 0224-22-1327

〒989-0292 宮城県白石市大手町1-1

[HP] <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/>

▶移住に関するページ <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/site/tju/>



■白石市移住交流サポートセンター「109-one」

☎ 0224-26-6201

〒989-0253 宮城県白石市字東小路109-1

[HP] <http://109-one.com/>



角田市

■角田市 総務部 まちづくり政策課

☎ 0224-63-2112

〒981-1592

宮城県角田市角田字大坊41

[HP] <http://www.city.kakuda.lg.jp/>

▶移住に関するページ

<http://www.city.kakuda.lg.jp/life/sub/10/28/146/>



蔵王町

■蔵王町 まちづくり推進課

☎ 0224-33-2212

〒989-0892 宮城県刈田郡蔵王町

大字円田字西浦北10

[HP] <https://zao-iju.jp/>



■蔵王移住相談室

☎ 0224-26-6115

〒989-0916

宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字小妻坂71-1

[HP] <http://zao-fukusi.jp/iju/>



七ヶ宿町

■七ヶ宿町 ふるさと振興課

☎ 0224-37-2194

〒989-0592 宮城県刈田郡七ヶ宿町字関126

[HP] <https://town.shichikashuku.miyagi.jp/>



■七ヶ宿くらし研究所／移住定住支援センター

☎ 0224-26-6933

〒989-0632 宮城県刈田郡七ヶ宿町字田中道下39-2

[HP] <http://shichikashuku-miyagi.co.jp>



大河原町

■大河原町 企画財政課

☎ 0224-53-2112

〒989-1295

宮城県柴田郡大河原町字新南19

[HP] <https://www.town.ogawara.miyagi.jp/>



村田町

■村田町 まちづくり振興課

☎ 0224-83-2113

〒989-1392

宮城県柴田郡村田町大字村田字迫6

[HP] <http://www.town.murata.miyagi.jp/>

▶移住に関するページ

<http://www.town.murata.miyagi.jp/teijyu/index.html>



柴田町

■柴田町役場 まちづくり政策課

☎ 0224-54-2111

〒989-1692

宮城県柴田郡柴田町船岡中央2-3-45

[HP] <https://www.town.shibata.miyagi.jp/>



川崎町

■川崎町 地域振興課

☎ 0224-84-2117

〒989-1592

宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1

[HP] <http://www.town.kawasaki.miyagi.jp/>

▶移住に関するページ

<http://www.kawasaki-miyagi.sakura.ne.jp/iju/>



■みやぎ川崎 SPRING

☎ 0224-51-8789

〒989-1503

宮城県柴田郡川崎町大字川内字北川原山238-7

[HP] <http://www.kawasaki-spring.com/>



丸森町

■丸森町 子育て定住推進課

☎ 0224-51-9905

〒981-2192

宮城県伊具郡丸森町字鳥屋120

[HP] <http://www.town.marumori.miyagi.jp/>



■まるもり移住・定住サポートセンター「じゅーぴたっ」

☎ 0224-87-7837

〒981-2103

宮城県伊具郡丸森町館矢間山田

字土手下102 丸森駅舎内

[HP] <https://ju-pita.com/>

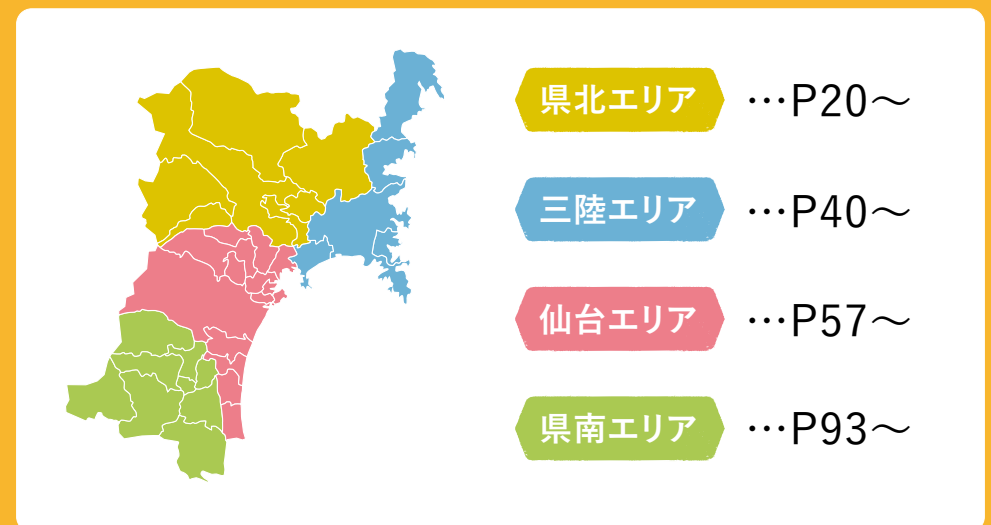


市町村「こんな人にちょうどいい」 一覧

エリア	市町村	こんな人にちょうどいい	掲載ページ
県北エリア	登米市	● 農業・畜産業に興味がある方 ● 子育ての環境を充実させたい方 ● 自然が好きな方	20
	栗原市	● 自然が好きな方 ● 充実した環境で子育てをしたい方 ● 地域や人とのつながりを求めている方	23
	大崎市	● 多泉質の温泉を楽しみたい方 ● 水田農業に興味がある方 ● 歴史・伝統工芸に興味がある方	27
	色麻町	● 自然に囲まれた生活、子育てを希望される方 ● 農業に興味がある方 ● 「まちづくり」への参加に興味がある方	30
	加美町	● 充実した子育て環境をお探しの方 ● アウトドアを楽しみたい方 ● 音楽を味わう・奏でる・支えるのが好きな方	32
	涌谷町	● 子育て・福祉環境を充実させたい方 ● 味わい深いお米・新鮮な野菜を楽しみたい方 ● 悠久の黄金文化に興味がある方	36
	美里町	● 農業に興味がある方 ● 公共交通機関をよく利用する方 ● 起業を考えている方	38
三陸エリア	石巻市	● 海が好きな方 ● 出産・子育てを考えている方 ● マンガが好きな方	40
	気仙沼市	● 海も山も川も。ゆったりと暮らしたい方 ● まちのためにスキルを活かしたい方 ● 人と人とのつながり めくもりを大切にしたい方	43
	東松島市	● 海や山が好きな方 ● 交通の便が良いまちに住みたい方 ● 穏やかな気候を好む方	47
	女川町	● 海と山の近くで暮らしたい方 ● 新鮮な魚介類を楽しみたい方 ● 街づくりに関わりたい方	51

エリア	市町村	こんな人にちょうどいい	掲載ページ
三陸エリア	南三陸町	● 山も海も両方楽しみたい方 ● 自分の可能性を見つけたい方 ● 街づくりに興味がある方	54
仙台エリア	仙台市	● 色々なことにチャレンジしたい方 ● 自然と街中どちらも楽しみたい方 ● スポーツやイベントが好きな方	57
	塩竈市	● 寿司に目が無い方 ● のびのびと子どもを育てたい方 ● 島遊びを楽しみたい方	60
	名取市	● 日常の利便性も高く、アクセスも便利な場所に住みたい方 ● 自然環境豊かなまちで生活したい方 ● 子育てに力を入れているまちで子育てをしたい方	63
	多賀城市	● 歴史が好きな方 ● 身近に文化・芸術を感じて暮らしたい方 ● 通勤・通学の便が良いところに住みたい方	65
	岩沼市	● 通勤・通学に便利なところに暮らしたい方 ● 子どもとの生活を楽しみたい方 ● 都会と田舎のちょうどいいところに住みたい方	68
	富谷市	● 利便性が高く、住みごこちの良い環境で暮らしたい方 ● 保育施設や子育て支援が充実した環境で暮らしたい方 ● 地域コミュニティ活動やまちづくりに興味のある方	71
	亘理町	● 海・山・川の自然を楽しみたい方 ● 充実した子育て支援・環境を望む方 ● 温泉が好きな方	73
	山元町	● 子育ての環境を充実させたい方 ● 季節のイベントを楽しみたい方 ● 農業や漁業に関わりたい方	76
	松島町	● 風光明媚な土地で暮らしたい方 ● スポーツやアウトドアが好きな方 ● 歴史文化に興味がある方	79
	七ヶ浜町	● 海が好きな方 ● コミュニティを大切にしたい方 ● 穏やかな気候で暮らしたい方	82
	利府町	● 充実した子育て支援・教育環境を望む方 ● 適度な自然・買い物・医療環境を望む方 ● 暮らしやすさ+ワクワク感の住環境を望む方	84

エリア	市町村	こんな人にちょうどいい	掲載ページ
仙台エリア	大和町	● 仙台都市圏で仕事したい方 ● あんしんして子育てをしたい方 ● 自然豊かな環境で生活を楽しみたい方	86
	大郷町	● マイホームを持ちたい方 ● 豊かな自然の中で暮らしたい方 ● 旅行が好きな方	88
	大衡村	● 子育て中の方 ● 農業を始めたい方 ● マイホームを持ちたい方	91
県南エリア	白石市	● 交通アクセスが気になる方 ● 充実した子育て環境を求めている方 ● 温泉や景勝地など自然豊かな場所を探している方	93
	角田市	● 宇宙・ロケットが好きな方 ● スポーツ・ウォーキング・体を動かすことが好きな方 ● 田舎暮らし初心者の方～田舎過ぎず都会過ぎず～	96
	蔵王町	● 温泉が好きな方 ● アウトドアスポーツを楽しみたい方 ● 自然に囲まれて暮らしたい方	99
	七ヶ宿町	● 四季の変化を感じながら暮らしたい方 ● 充実した子育て支援・住宅環境を望む方 ● 人と人とのつながりを大切にしたい方	102
	大河原町	● 一目千本桜と暮らしたい方 ● 買い物しやすいまちに住みたい方 ● 学校、病院、駅、官公庁の近くに住みたい方	106
	村田町	● 充実した環境で子どもを育てたい方 ● 都会に近い田舎で暮らしたい方 ● 歴史ある郷土で暮らし学びたい方	109
	柴田町	● 花が好きな方 ● 自然も利便性も両方を求めている方 ● 仙台市及びその近郊で仕事をしたい方	112
	川崎町	● ふらっと仙台市に行きたい方 ● 自然・農業・温泉が好きな方 ● 子育て支援を重要視する方	114
	丸森町	● 自然とふれあいながら子育てしたい方 ● 起業したい方 ● アウトドアが好きな方	117



とめし 登米市



お問い合わせ

●登米市まちづくり推進部観光シテプロモーション課

☎0220-23-7331

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1

ホームページ <http://www.city.tome.miyagi.jp/index.html>

移住に関するページ <http://www.city.tome.miyagi.jp/shisejoho/ijuteju/index.html>

あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ

登米市は、宮城県の北東部に位置し、肥沃な大地が広がる県内有数の穀倉地帯です。北西部には、毎年多くの白鳥やガンが飛来する、ラムサール条約登録湿地の伊豆沼・内沼をはじめ、日本有数のボート場がある長沼など、まさに「水の里」に相応しい景勝地が多数あります。

また、宮城米ひとめばれ、高級ブランド牛肉「仙台牛」の産地として知られ、仙台牛の生産については、約4割が登米地域産です。

若者や子育て世代などから選ばれ、住みたくなるまちづくりを目指して、住まいの取得や子育ての支援など移住・定住の促進に取り組んでいます。

📺 動画もチェック!

登米 移住 で検索

🚗 生活交通情報

仙台市
との
距離感

- 電車：約75分(JR仙台駅～瀬峰駅(東北本線)(+登米市民バスを利用して26分))
- バス：約100分(JR仙台駅～登米市役所(高速バス))
- 車：約60分(仙台宮城IC～築館IC(東北自動車道)～国道398号線)

地域内の
移動手段

- 電車：JR東北本線及び気仙沼線が通っており、市内には7つの駅がある
- バス：市民バス(11路線、1回乗車100円)に加え、旧町域ごとに住民バス(無料)を運行している
- 車：みやぎ県北高速幹線道路が全線開通し、より便利になった
- その他：市内4地区において、デマンド型乗合タクシーを運行

■登米市暮らしのデータ

- 人口：76,026人
- 世帯数：27,215世帯
- 保育所の数：40所
- 小学校の数：22校
- 中学校の数：10校
- 病院の数：4院
- 一般診療所の数：34所

令和4年1月時点



〈みやぎの明治村〉明治時代に建造された洋風建築物が当時の面影を今に伝えています。



〈渡り鳥の飛来地 伊豆沼〉白鳥やガンをはじめとする渡り鳥たちの楽園です。

🏠 住まい

空き家情報

- 提供可能な空き家情報をホームページ等で紹介し、空き家を「借りたい、買いたい」とお考えの方に情報を提供
- 観光シテプロモーション課
☎0220-23-7331

住宅取得支援

- 住宅を新築、または購入(中古住宅を含む)した方に、住宅の取得費の10%(上限50万円 条件により加算あり)を補助
- 観光シテプロモーション課
☎0220-23-7331
- 地域産材を使用して住宅を建築・増築する場合に最大40万円を補助
- 農林振興課 ☎0220-34-2709
- 個人の住宅への木質バイオマス燃焼機器、設置費用(上限10万円)を補助
- 環境課 ☎0220-58-5553

リフォーム支援

- 空き家情報バンクを利用した空き家所有者及び利用者に、改修費の50%(上限50万円)を補助
- 観光シテプロモーション課
☎0220-23-7331

👨‍👩‍👧 子育て

医療費助成

- 0歳から18歳に達した後の最初の3月31日までの児童に対して、医療機関に支払う保険適用の自己負担分を助成(所得制限

なし)

■国保年金課 ☎0220-58-2166

出産支援

- 不妊に悩む方へ特定治療費(1回あたり上限10万円)を補助
- 妊婦一般健康診査14回分(多胎妊娠の場合は20回分)、産婦健康診査2回分に係る費用を補助
- 健康推進課 ☎0220-58-2116

- 出産祝金として第1子に3万円、第2子に5万円、第3子以降に10万円を支給
- 子育て支援課 ☎0220-58-5562

育児費用負担軽減

- 乳幼児の任意予防接種のうちおたふくかぜの費用を全額、中学3年生を対象に季節性インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成
- 健康推進課 ☎0220-58-2116

生活支援

- 子育ての支援を受けたい方と支援を行いたい方を会員組織化して、子どもの預り及び送迎や産前産後等のサポートなどの支援活動を実施
- 子育て支援課 ☎0220-58-5562
- 乳幼児を対象とした予防接種のスケジュール管理を基本に、感染症の流行状況、子育て情報等を提供するサイト「登米っこくすこやかナビ」を運営
- ※登録無料(通信費/ポケット代は利用者負担)
- 健康推進課 ☎0220-58-2116

＼こんな人にちょうどいい!／

農業・畜産業に
興味がある方

子育ての環境を
充実させたい方

自然が好きな方

相談・交流支援

- 子育て支援センターにおいて、子育て親子の交流の場を設け、絵本や紙芝居の読み聞かせ、子育てに役立つ講座を開催
また、育児相談、育児に関する情報提供などを実施

■子育て支援課 ☎0220-58-5562

- 妊婦と概ね1歳までのお子さんを持つ母子が気軽に交流できる場を設け、助産師などの専門スタッフが子育ての相談に応じる「こんにちは赤ちゃんサロン」を実施
- 妊娠中のこと、お産のこと、母乳育児や子育てについての、心配なこと、不安なことを毎月1回予約制で助産師に相談可能

■健康推進課 ☎0220-58-2116

就学・教育支援

- 公立小・中学校に在籍する児童生徒の就学が、経済的理由によって困難な世帯に対して学用品費や給食費など就学にかかる費用の一部を補助

■学校教育課 ☎0220-34-2679

- 新たに小学校へ入学する第3子以降のお子さん1人につき、入学祝い金3万円を支給

■教育総務課 ☎0220-34-2676



起業支援

- 農・商・工分野の地域資源を活かした起業・創業に対する補助(商品開発・商品力向上支援：上限33万円、創業支援事業：上限200万円など)

- 市内空き店舗の事業活用に対し改修費補助(上限50万円)、賃借料補助(月額上限2万円)など

■地域ビジネス支援課 ☎0220-34-2706

就農支援

- 新規就農者・担い手を対象とした支援事業を実施(農地の賃借又は取得経費：5千円／10a、研修等に係る経費：夫婦の場合月額上限5万円、単身者の場合月額上限3万円など)

■産業総務課 ☎0220-34-2716

相談・体験

移住相談窓口

- オンライン移住相談も受付中、お気軽にご相談下さい

■観光シニアプロモーション課
☎0220-23-7331

お試し住宅

- 2泊3日から9泊10日まで利用可能(県外の方には旅費の補助50% 1人につき上限3万円あり)

■観光シニアプロモーション課
☎0220-23-7331

体験ツアー

- 農業を取り入れた1泊2日の「移住体験ツアー」を実施
- オンライン移住体験ツアーを実施
- 移住体験ツアー(オーダーメイド型)を実施
- 観光シニアプロモーション課
☎0220-23-7331

県北エリア

くりはらし

栗原市



お問い合わせ
栗原市企画部企画課定住戦略室
☎0228-22-1125
〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7-1

ホームページ <http://www.kuriharacity.jp/>

移住に関するページ <https://www.kuriharacity.jp/welcome/>

四季折々の景色が美しい田園都市

栗原市は、宮城県の内陸北部に位置し、面積の8割近くが森林や原野、田畑で占められた自然豊かな田園都市です。気候は、夏は残暑の期間が短く、冬は山間部(北西部)の降雪量がやや多いものの、平野部(南東部)では少ない等、温暖で暮らしやすい気候です。また、市内には東北新幹線、東北本線及び東北自動車道が通っており、市外へのアクセスがとても便利です。現在、市では移住定住を推進するため、市外から移住する場合の助成制度や子育て支援制度等を充実させ、住みよいまちづくりに取り組んでいます。

動画もチェック!

youtube 栗原市 で検索

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車：約25分(JR仙台駅～くりこま高原駅)、約60分(JR仙台駅～瀬峰駅(東北本線))
- ・バス：約60分(JR仙台駅～栗原市役所前停留所(高速バス))
- ・車：約43分(仙台宮城IC～築館IC(東北自動車道))

地域内の
移動手段

- ・電車：東北本線が通っており、市内には2つの駅がある(瀬峰駅、有壁駅)
- ・バス：路線バスの運行に加え、区域運行による乗合デマンド交通を実施している。
(路線バス：片道一律100円、乗合デマンド交通：片道一律300円)
- ・車：栗原市役所から東北自動車道の築館ICまで車で約5分。

こんな人にちょうどいい! /

自然が好きな方

充実した環境で
子育てをしたい方

地域や人との
つながりを
求めている方



■栗原市暮らしのデータ

- 人口：64,024人
- 世帯数：24,466世帯
- 保育施設の数：15施設
- 幼稚園の数：9園
- 小学校の数：11校
- 中学校の数：6校
- 義務教育学校の数：1校
- 病院の数：4院
- 一般診療所の数：52所

令和4年1月末時点



〈栗駒山〉春の雪渓、夏の新緑、秋の紅葉と四季折々の自然が楽しめる山。



〈田園風景〉秋、稲刈りを待つ、のどかな田園風景。



空き家情報

- 住まいる栗原ホームサーチ事業として、空き家の(賃貸、売買)情報をホームページで紹介

■定住戦略室 ☎0228-22-1125

住宅取得支援

- 若者定住促進助成事業として、40歳以下の転入者等が、住宅を取得(新築・購入・増改築)した場合、借入金の年末残高5%(最大20万円)を5年間補助(令和4年1月末時点)

■定住戦略室 ☎0228-22-1125

家賃補助

- 新婚生活応援家賃助成事業として、40歳以下の新婚夫婦が市内の民間賃貸住宅に入居した場合、最大で月額1万円を2年間補助(令和4年1月末時点)

■定住戦略室 ☎0228-22-1125



医療費助成

- 子育て応援医療費助成事業として、0歳から18歳の年度末までの間にある児童・生徒の入院及び通院に係る医療費を保護者の所得に関わらず全額助成

■子育て支援課 ☎0228-22-2360

出産支援

- すこやか子育て支援金として、1・2人目は2万円、3人目は5万円、4人目は10万円、5人目から20万円を支給

- 夫婦が行う特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)に要する費用の一部を助成(1回の治療につき10万円を限度)

■子育て支援課 ☎0228-22-2360

- 里帰りなどにより指定外の医療機関で妊婦健診を受けた際に、妊婦健診費用を助成

- 妊娠期のむし歯や歯周病の予防、セルフケアや、胎児の歯への意識向上のために、妊婦が市の指定する歯科医院で健診を受けた場合、市が健診料を全額負担

■健康推進課 ☎0228-22-0370

育児費用負担軽減

- 幼稚園・保育所に2人以上同時に入所した場合、2人目以降の保育料が無料

- スマイル子育てサポート券交付事業として、満1歳未満の乳児の保護者に対して、育児用品の支給券を交付(交付限度額：乳児ひとりにつき3万6千円)

■子育て支援課 ☎0228-22-2360

- り患した際の重篤化を防ぐため、市内に住所がある方を対象に、任意予防接種の接種費用を助成

■健康推進課 ☎0228-22-0370

生活支援

- 市内全幼稚園において3年保育を実施併せて、預かり保育を実施

■学校教育課 ☎0228-42-3512

- 家族や世帯員の就労等により、放課後や学校休業日に、保育が必要な児童(1年生から6年生)に対して、学校の空き教室等を利用して、家庭に代わる生活の場を提供

■社会教育課 ☎0228-42-3514

- 3～4カ月児健診の際に、読み聞かせボランティアと職員が、絵本を開く楽しい体験といっしょにあたたかなメッセージを伝え、絵本をプレゼント

- 3歳児健診を受診する保護者と幼児に、図書館が指定する4冊の絵本の中から気に入った1冊を選んでもらい、プレゼント

■栗原市立図書館 ☎0228-21-1403

就学・教育支援

- 経済的な理由により、就学が困難な生徒・学生(高校・高専・専修学校・短期大学・大学・東北職業能力開発大学校)に対し、奨学資金を貸与

■教育総務課 ☎0228-42-3511

- すこやか子育て支援金として、3人目から小学校入学時に10万円を支給

■子育て支援課 ☎0228-22-2360

- 市内に住所を有する児童または生徒の保護者の方で、経済的な理由により、学用品費や給食費などの支払でお困りの場合にその費用の一部を援助

■学校教育課 ☎0228-42-3512



起業支援

- 市内で空店舗や住宅等を改修し、飲食店、小売店、事務所等を開業する方に対して、建物の改修及び設備導入費用の1/2の額(上限50万円)、開業する店舗等の賃借料(上限月額4万円、最長12日間)を補助

- 上記補助金の交付決定を受けた方を対象に、起業、経営等のノウハウ取得のための研修参加費用の2/3の額(上限20万円)を補助

■産業戦略課 ☎0228-22-1220

就職支援

- 遠距離通勤を始めた時点で40歳以下の新規学卒者および転入者に対して、遠距離通勤に要する費用の一部を助成(令和4年1月末時点)

■定住戦略室 ☎0228-22-1125

相談・体験

お試し住宅

- 栗原市への移住を考えている方が、田舎暮らしを気軽に体験できる住宅を1棟整備

- 利用料：無料

- 利用期間：1回あたり3～10日

■定住戦略室 ☎0228-22-1125

移住交流会

- 市内に移住された「先輩移住者」や移住を検討されている方の交流の場として定期的に開催
- ゆるやかなつながりの中から「志縁」のコミュニティが創られています。
- 定住戦略室 ☎0228-22-1125

その他

地域おこし協力隊

- 栗原市では、新たな視点や発想力により、地域の潜在能力を引き出すことで地域活性化を図る目的のもと、定住する意欲のある方を募集しています。
詳しくは、市公式ホームページをご覧ください。
- 市民協働課 ☎0228-22-1164



県北エリア

おおさきし

大崎市



お問い合わせ

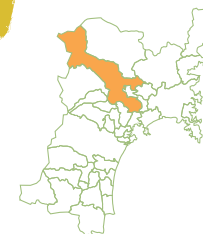
●大崎市市民協働推進部政策課

☎0229-23-2129

〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1-1

ホームページ <https://www.city.osaki.miyagi.jp/>

移住に関するページ <https://osaki-ijyu-support.jp>



■大崎市暮らしのデータ

- 人口：126,979人
 - 世帯数：52,377世帯
 - 保育所の数：36所
 - 小学校の数：22校
 - 中学校の数：11校
 - 病院の数：15院
 - 一般診療所の数：81所
- 令和3年12月時点

自然と都市が調和する都(くに)・おおさき

大崎市は宮城県の北西部に位置し、銘柄米ササニシキやひとめぼれ、ささ結などの一大穀倉地帯を形成しています。江合川と鳴瀬川が育んだ広大で肥沃な大崎耕土に受け継がれた、持続可能な水田農業を支える伝統的水管理システムは、世界農業遺産に認定されています。市内には、ラムサール条約登録湿地の蕪栗沼・周辺水田や化女沼、国民保養温泉地に指定された鳴子温泉郷、鳴子峡やひまわりの丘などの景勝地、伝統工芸品の鳴子こけしや竹細工などの地域資源が豊富です。県北部の中核医療施設である大崎市民病院のほか、商業施設や工場が多く立地し都市基盤を形成しています。



〈鳴子温泉郷〉日本にある11種のうち9種の泉質があり、湯めぐりが楽しめる。



〈政宗公まつり〉毎年9月に開催され、甲冑を着ての伊達武者行列は迫力満点である。

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・新幹線：約15分(JR仙台駅～古川駅(東北新幹線))
- ・電車：約1時間(JR仙台駅～小牛田駅～古川駅(東北本線から陸羽東線に乗り継ぎ))
- ・バス：約60分(JR仙台駅～古川駅前(高速バス))
- ・車：約60分(仙台宮城IC～古川IC(東北自動車道)～国道47号線)

地域内の移動手段

- ・電車：東北本線(4駅)と陸羽東線(13駅)が通っている。
- ・バス：JR古川駅を起点として、路線バス(7路線)、事業者路線(1路線)、古川地域中心部の循環便(3路線)、路線バス及び事業者路線は距離制運賃、循環便は1回100円。
- ・車：東北自動車道の古川ICまで車で約10分(JR古川駅から)
- ・その他：市内5地域でデマンド型乗合タクシーを運行。

／こんな人にちょうどいい！／

多泉質の温泉を楽しむたい方

水田農業に興味がある方

歴史・伝統工芸に興味がある方



空き家情報

- 空き家の情報をウェブサイトで紹介
- おおさき移住支援センター・くーらす
☎0229-25-4493

住宅取得支援

- 市内へ移住する40歳以下の若者世帯が、住宅を新築または購入する場合、対象経費のうち住宅ローンの借入金を充当する額の10%(上限100万円)を補助(各種加算あり)
- 建築住宅課 ☎0229-23-2108

リフォーム支援

- 市内に移住する40歳以下の若者世帯が、購入した住宅をリフォームする場合、リフォーム工事費の1/3(上限50万円)を補助(マンションは上限40万円・各種加算あり)
- 市内に住宅を所有し居住している人が、市内へ移住する40歳以下の人等と同居し、三世代を構成しようとする場合、リフォーム工事費の1/3(上限75万円)を補助(各種加算あり)
- 建築住宅課 ☎0229-23-2108

家賃補助

- 市外に居住している子育て世帯・若者世帯が、事業対象住宅となっている空き家に賃貸契約をして移住する場合、家賃の一部(上限月額4万円)を補助
- 建築住宅課 ☎0229-23-2108



医療費助成

- 中学生まで、入院・通院にかかる保険診療自己負担額を助成(ただし、所得制限あり)
- 子育て支援課 ☎0229-23-6045

出産支援

- 出産前後に、日中家族からの支援が受けられず、育児等が困難な家庭を対象に、育児不安の軽減等を図り安心して子どもを産み育てられるよう支援するため、育児や家事の援助を行うヘルパーを派遣
- 子育て支援課 ☎0229-23-6048

相談・交流支援

- 子育てわくわくランドでは、乳幼児の託児や、親子で一緒に遊べるスペース、子育て情報の提供、子育て相談などを通じ、親子の交流や子育てを支援
- 子育てわくわくランド ☎0229-24-7778

就学・教育支援

- 経済的理由によって就学困難な児童・生徒の保護者に対して、学用品費、修学旅行費、学校給食費等の一部を助成
- 奨学資金貸与事業を実施
- 学校教育課 ☎0229-72-5033



就職支援

- 宮城県大崎エリアを中心とした企業情報を紹介。
企業情報ウェブサイト「みやぎ大崎企業ナビ」



- 産業商工課 ☎0229-23-7091

起業支援

- おおさきチャレンジ創業応援補助金
市内で創業される方へ、店舗改修費、備品購入費などの経費の一部の補助(上限100万円)
- 産業商工課 ☎0229-23-7091

就農支援

- 認定新規就農者が農産加工施設や農家レストランの整備を実施する際に、補助対象事業経費の1/2を補助(上限：加工施設150万円、農家レストラン500万円)
- 農林振興課 ☎0229-23-7090



しかまちょう 色麻町



お問い合わせ

●色麻町企画情報課

☎0229-65-2127

〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四電字北谷地41

ホームページ <http://www.town.shikama.miyagi.jp/>

移住に関するページ <http://www.town.shikama.miyagi.jp/9,0,128.html>

人と自然の恵みの中で [SHIKAMER's Life]

宮城県のほぼ中央内陸部に位置し、西に船形連峰、東には大崎耕土が広がる自然豊かな町です。地域に残る「かつば伝説」と特産品の「えごま」により地域のPRを行っています。

町では、企業協力による「地域活性化住宅」の整備や、雇用創出のための企業誘致、結婚支援、子育て支援と、安心して暮らせる環境を整備しています。

自然の中、人々のふれあいと笑顔あふれる暮らし＝「SHIKAMER's Life」をおくってみませんか？

■色麻町暮らしのデータ

■人口：6,516人

■世帯数：2,080世帯

■保育所の数：2所

■小学校の数：1校

■中学校の数：1校

■病院の数：1院

■一般診療所の数：1所

令和4年1月時点



〈シャクヤク祭り〉約4000㎡の畑に約1万株の花が咲き誇り、多くの来園者で賑わいます。



〈しかまの冬☆イルミネーション〉役場前の通りをイルミネーションが照らします。

生活交通情報

仙台市
との
距離感

・バス：約60分（JR仙台駅～色麻町役場前 ほか（高速バス））

・車：約60分（国道457号線～国道4号線）

地域内の
移動手段

・バス：路線バスが「大崎市民病院」「JR古川駅」まで運行している。

・車：東北自動車道の大衡ICまで車で約15分

・生活上、自家用者の必要性は高い地域です。

＼こんな人にちょうどいい！／

自然に囲まれた生活、
子育てを希望される方

農業に興味がある方

「まちづくり」への
参加に興味がある方

住まい

空き家情報

●町内にある空き家所有者と、活用ニーズを結びつける情報をホームページで提供

■企画情報課 ☎0229-65-2127

住宅取得支援

●町の定住人口増加と活性化を図るため、新築または既存住宅のリフォーム工事を行う方に対し、最大100万円の補助金を交付

■企画情報課 ☎0229-65-2127

子育て

医療費助成

●満18歳以下で町内に住所を有する方は自己負担無料

■町民生活課 ☎0229-65-2156

出産支援

●多子世帯に対し出産祝い金を支給

①第2子 5万円

②第3子以降 10万円

■子育て支援室 ☎0229-66-1700

就学・教育支援

●学業優秀で就学を希望しているにも関わらず、経済的理由により、就学困難な生徒に対し資金を融資

■教育総務課 ☎0229-65-2212

育児費用負担軽減

●町立学校（小中学校、幼稚園）に在学する子どもたちの給食費を軽減（軽減率等は町ホームページで）

■学校給食センター ☎0229-66-2551

仕事

就職支援

●就職を希望する方に対し、無料で職業相談及び紹介を行い、定住化促進や町民の雇用の確保に努めています

■町民生活課 ☎0229-65-2156

就農支援

●就農意欲の喚起と定着を図るため、青年新規就農者・経営継承者に対して経営が不安定な就農直後の所得の確保を支援

■産業振興課 ☎0229-65-2128

その他

結婚支援

●町が設置する結婚相談所による相談会、出会いの場の提供等

■公民館 ☎0229-65-3110

かみまち
加美町



お問い合わせ

●加美町ひと・しごと推進課

☎0229-63-5611

〒981-4292 宮城県加美郡加美町字西田三番5番地

ホームページ <http://www.town.kami.miyagi.jp/>

■加美町暮らしのデータ

■人口: 22,071人

■世帯数: 8,158世帯

■保育所等の数: 9所

■小学校の数: 8校

■中学校の数: 3校

■一般診療所の数: 12所

令和4年1月末時点

美しい大自然と文化のハーモニー
あなたらしい暮らしが見つかる町

加美町は農業を基幹産業とする、四季折々の自然が満喫できる美しい町です。薬菜山の麓には、温泉・プール・ゴルフ場・スキー場・直産施設・地ビールレストラン・ボルドーリング施設・牧場などの魅力がいっぱい。日本で7番目のジャパンエコトラックスに認定され、カヤックやトレッキングも親子で楽しめます。国内有数の音響を誇るパッサールでは、数々のコンサートが開催され音楽に触れることができます。ヴァイオリン・チェロ・パイプオルガンを学べるパッサール音楽院も人気。癒しの加美町とアクティブな加美町。そのバランスがちょうどいい。加美町で、もっともっと楽しめる自分に出会えます。



〈アウトドアが楽しめる町〉町のシンボル薬菜山を背景に…。アウトドアが楽しめる雄大な自然が自慢



〈パッサール管弦楽団〉町が有する市民オーケストラ。パッサールで演奏会を行う。

生活交通情報

仙台市
との
距離感

電車: 約12分 (JR仙台駅～JR古川駅 (東北新幹線) (+ミヤコーバスを利用して25分))

バス: 約1時間15分 (JR仙台駅前～中新田停留所 (高速バス))

車: 約50分 (仙台宮城IC (東北自動車道)～三本木スマートIC～国道4号、47号及び県道157号線)

地域内の
移動手段

電車: JR古川駅まで車で約20分、JR西古川駅まで車で約10分

バス: 路線バスに加え、住民バスを運行 (定時定路線バス、デマンドバス (要予約))

車: 東北自動車道古川ICまで車で約15分、東北自動車道大和ICまで車で約20分、東北自動車道大衡ICまで車で約20分、三本木スマートICまで車で約20分

生活上、自家用車の必要性が高い地域です。

＼こんな人にちょうどいい！／

充実した子育て環境
をお探しの方

アウトドアを
楽しみたい方

音楽を味わう・
奏でる・支えるのが
好きな方

住まい

空き家情報

●空き家バンク

町のホームページで空き家情報を紹介

■ひとしごと推進課 ☎0229-63-5611

住宅取得支援

●ファミリー住ま居る住宅取得等補助金

マイホームを購入したい新婚・子育て世帯、新規転入者を対象に最大100万円を補助。

また、Uターンし親と同居する場合の増改築に最大60万円を補助

●フラット35

住宅金融支援機構と連携して、全期間固定金利住宅ローン【フラット35】(当初5年間0.25%の金利引下げ)を受けられる

■ひとしごと推進課 ☎0229-63-5611

リフォーム支援

●木質バイオマス推進事業補助金

薪ストーブ等の導入に対し、費用の1/3 (上限10万円)を補助

■森林整備対策室 ☎0229-63-3215

家賃補助

●若年者移住促進家賃補助金

進学や就職により町内に転入した20代の方に対し、単身世帯は6万円、結婚世帯は10万円を支給(最長5年間)

■ひとしごと推進課 ☎0229-63-5611

子育て

医療費助成

●医療費無料

高校卒業(18歳到達後最初の3月31日)まで医療費無料(入院・通院ともに助成対象。所得制限はなし、生活保護を受けている場合は助成を受けることができません)

■子育て支援室 ☎0229-63-7870

出産支援

●妊婦健診費用助成(最大14回まで)

●妊婦歯科健診無料

●新生児聴覚検査費用助成

●産婦及び1ヶ月児健診費用助成

■保健福祉課 ☎0229-63-7871

●出産祝い金の支給

第1子、第2子は2万円分の商品券、第3子以降は5万円分の商品券と現金5万円を支給(出産の1年前から加美町に住所を有している方が対象)

■子育て支援室 ☎0229-63-7870

●絵本プレゼント(ブックスタート)

生後4ヶ月の健診の際に絵本とアドバイス集などをプレゼント

■中新田図書館 ☎0229-63-6100

育児費用負担軽減

●保育料の減免

0歳児から2歳児の保育料を町独自で減免。また、保育所・認定こども園・小規模保育所の保育料について就学前の児童を対象に2人目は半額、3人目以降は無料

■子育て支援室 ☎0229-63-7870

生活支援

●一時預かり保育

保護者の仕事、傷病(通院・入院)、冠婚葬祭等、緊急・一時的に保育が必要になるお子さんをお預かりします

●こそだておうえんBOOK、子育て応援ガイドブックの配布

加美町で子育てをしている方のお役立ち情報(事業や助成、遊び場・公園等の情報)を掲載

●放課後児童クラブ

町内の小学生で、保護者の就労などの理由により放課後家庭で過ごすことが難しいお子さんを、平日の放課後・夏休み・冬休み・春休み期間中にお預かりしています

■子育て支援室 ☎0229-63-7870

相談・交流支援

●産前・産後サポート事業

産前・産後それぞれ月1回、妊娠・出産に関すること、産後の母体・児のケア、赤ちゃんマッサージなど助産師がアドバイス

●産後ケア事業

産後のお母さんの疲労回復や育児不安に対して、助産院にお泊りや日帰りができる。また、家庭訪問で助産師によるケアやアドバイスを実施(要予約。条件・自己負担有)

●何でも育児相談

保健師・栄養士による個別相談を実施。身長・体重の計測、離乳食のレシピ配布など

●子育て世代メンタルヘルス相談

子育てに悩みを抱えている保護者等に対し、臨床心理士が専門的なアドバイスやカウンセリングを実施(要予約)

■保健福祉課 ☎0229-63-7871

●子育て支援センター・子育て広場

0歳から就学前までのお子さんと保護者

が対象。育児の相談、子育て情報、お子さんのあそび場の提供

■子育て支援室 ☎0229-63-7870

就学・教育支援

●ことばの教室

5歳児を対象に、お子さんの「ことば」に関する悩みにお応えしています

■子育て支援室 ☎0229-63-7870

●就学援助

経済的理由によって学用品の代金や給食費にお困りの小・中学生の保護者に対して費用の一部を助成

●奨学金制度

有用な人材を育成するため、経済的理由により就学が困難な方に対し奨学金を貸与。町内に在住のお子さんで、高等学校、専門学校、短期大学、大学及び大学院に進学しようとする方のうち学校長の推薦を受けた方が対象

■教育総務課 ☎0229-69-5112



就職支援

●無料職業紹介所の開設

ハローワーク、町内企業等と連携し、相談員が個別に求人情報を紹介

●加美町ふるさと就職奨励補助金

町内に居住している方ではじめて就職する20代に対し、10万円を支給

●奨学金返還支援補助金

町内に居住している方で支援対象となる奨学金を返還しながら就労している20代の方に対し、前年度に返還した奨学金の2/3以内(最大20万円)を補助

■ひとしごと推進課 ☎0229-63-5611

起業支援

●起業者育成支援事業助成金

地域の資源などを活用し、新商品の開発や新しい発想で事業を行う起業者を支援するため、1事業30万円(連続した3箇年度に限る)を上限に助成

■ひとしごと推進課 ☎0229-63-5611

●農業次世代人材投資事業

次世代を担う農業者となることを希望する方に対して投資資金を補助(諸条件あり)

■産業振興課 ☎0229-63-3408

相談・体験

移住相談窓口

●ワンストップ相談窓口

移住相談、職業相談、住まいの相談までワンストップであなたの暮らしをサポート!

■ひとしごと推進課 ☎0229-63-5611

体験ツアー

●かみまち体験プライベートツアー

加美町での暮らしをイメージできるよう個別に日程、ツアーの内容を作成し町内をご案内します

■ひとしごと推進課 ☎0229-63-5611

その他

結婚支援

●出会い&ふれあい応援事業

20歳から49歳までの独身男女を応援します

・結婚指導員による相談会の開催

・婚活セミナーで自分磨き

・加美町の大自然を体感しながら出会いイベントを開催

■町民課 ☎0229-63-3112

●結婚新生活支援事業補助金

結婚を機に町内へ転入してきた20代の新婚世帯に、新居の住居費及び引っ越し費用の一部を支援(最大30万円)

■ひとしごと推進課 ☎0229-63-5611

地域おこし協力隊

●会計年度任用職員として地域おこし協力隊を委嘱。積極的に地域と関わり住民とコミュニケーションを図り活動ができる方。将来にわたって加美町に定住し、就業・起業する意欲のある方を募集、詳しくは町ホームページをご覧ください

■ひとしごと推進課 ☎0229-63-5611

＼ 移住者たちの声を知りたい方はこちらをCheck! ／

エリア情報や、仕事情報、移住者インタビューなど宮城での暮らしがイメージできるコンテンツ満載です。

<https://miyagi-ijuguide.jp>

宮城県の暮らしをぜひ動画でもご覧ください。



わくやちょう 涌谷町



お問い合わせ

●涌谷町まちづくり推進課

☎0229-43-2119

〒987-0192 宮城県遠田郡涌谷町字新町裏153番地2

ホームページ <http://www.town.wakuya.miyagi.jp/>

移住に関するページ <http://www.town.wakuya.miyagi.jp/kurashi/teiiju.html>

やんべな町でわくわくすっぺし涌谷町

涌谷町には、天平21年(749年)日本で初めて金が発見され、奈良東大寺の大仏建立に当たり、鍍金用の黄金900両(約13kg)を献上したという歴史があります。また、ひとめぼれ、小ネギ、ホウレンソウなどの産地として農業も盛んであり、歴史と豊かな自然を身近に感じられる町です。

隣接する石巻市や大崎市の中心部には車で約30分、仙台市にも約1時間でいけるため、交通のアクセスも良好です。涌谷町に住み、近隣市町へ通勤する方も多くいらっしやいます。近隣の海にも山にもいけるので「やんべな(ちょうどいい)町」です。

📺 動画もチェック!

涌谷町 これからもずっとわくわく

で検索



〈わくや桜まつり〉城と桜の景色は絶景。期間中に開催される鞍馬競技大会は迫力満点。



〈黄金山産金遺跡〉国内で初めて金を産出し、奈良東大寺の大仏に鍍金された。

■涌谷町暮らしのデータ

- 人口: 15,157人
- 世帯数: 5,956世帯
- 保育所の数: 4所
- 小学校の数: 3校
- 中学校の数: 1校
- 病院の数: 3院
- 一般診療所の数: 5所

令和4年1月末時点

住まい

空き家情報

●空き家、空き地の情報をホームページ等で紹介

■町民生活課 ☎0229-43-2113

住宅取得支援

●移住者を対象に住宅取得費の5%(上限20万円、子育て加算上限20万円、町内建築業加算上限10万円)を補助

●町内に移住し1年以上5年未満、民間賃貸住宅に居住した世帯を対象に住宅取得費の5%(上限20万円、子育て加算上限20万円、町内建築業加算上限10万円)を補助

■まちづくり推進課 ☎0229-43-2119

子育て

医療費助成

●18歳までの子ども医療費が所得制限なく全額助成

■福祉課子育て支援室 ☎0229-25-7906

出産支援

●妊婦健康診査受診を14回分助成

●県外里帰り出産をする妊婦に対して、県外での妊婦健診の費用を助成

●特定不妊治療を受けた方を対象に、治療費の一部として、県の助成額を差し引いた金額のうち、1回あたり10万円を上限に助成

■健康課健康づくり班 ☎0229-25-7973

子育て支援

●親子で遊べる子育て支援センター

●保育所に在籍していないお子さんの乳幼児一時預かりを実施

●わくや地域子育て応援団(ファミリー・サポートセンター)

■福祉課子育て支援室 ☎0229-25-7906

育児費用負担軽減

●第3子以降の子が小学校に入学する保護者に対し、子1人につき3万円を支給

■福祉課子育て支援室 ☎0229-25-7906

仕事

起業支援

●中小企業振興資金融資制度(融資上限2千万円、信用保証料は町が全額負担、利子補給あり)

■まちづくり推進課 ☎0229-43-2119

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車: 約60分(JR仙台駅~小牛田駅(東北本線)、JR小牛田駅~涌谷駅(石巻線))
- ・車: 約70分(仙台東IC(三陸自動車道)~松島北IC~国道346号線)

地域内の移動手段

- ・町内全域を走る町民バスは公共施設・商業施設を中心に運行しており、お買い物から通学、通院まで幅広く利用されています。
- ・バスは平日のみの運行のため生活上、自家用車の必要性は高い地域です。
- ・車: 三陸自動車道松島北ICまで車で約30分

＼こんな人にちょうどいい!／

子育て・福祉環境を充実させたい方

味わい深いお米・新鮮な野菜を楽しみたい方

悠久の黄金文化に興味がある方



みさとまち

美里町



お問い合わせ

●美里町まちづくり推進課

☎0229-33-2180

〒987-8602 宮城県遠田郡美里町北浦字駒米13番地

ホームページ <http://www.town.misato.miyagi.jp/>

移住に関するページ <http://www.town.misato.miyagi.jp/07kurashi/2011-0825-1006-33.html>

人つどい、共に築く、 幸せと豊かさを実感できる町

県都仙台市とは40kmの距離にあり、交通アクセスが良く、仙台市・石巻市・大崎市への通勤が可能なことから定住する方も多くいます。気候は太平洋側気候で、冬季の降水量が少なく、降雪期間も比較的短いことから、とても住みよい条件下にあります。土地は平たんで、町の面積の約70%を豊かな水田や畑が占めています。宮城県の食糧基地として、コメや野菜はもちろん、果樹や施設園芸もたいへん盛んです。

■美里町暮らしのデータ

- 人口：23,826人
- 世帯数：9,243世帯
- 保育所の数：3所
- 小学校の数：6校
- 中学校の数：3校
- 病院の数：2院
- 一般診療所の数：7所

令和4年1月時点



〈JR小牛田駅〉SLなどのイベント列車の運行や、夏には「えきフェスMISATO」も開催



〈山神社〉安産、子育て、縁結びの御利益で知られる山神社

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車：約45分（JR仙台駅～小牛田駅（東北本線））
- ・車：約60分（一般道経由）

地域内の
移動手段

- ・電車：JRの各線が結節する小牛田駅を中心に乗り換えなしで仙台駅から約45分、古川駅から約13分、石巻駅から約40分。
- ・バス：ワンコイン（100円）で利用できる住民バスを運行している。
- ・車：東北自動車道、三陸自動車道の各ICまでは、いずれも約30分圏内。
- ・その他：デマンド型乗合タクシーを運行。

＼こんな人にちょうどいい！／

農業に興味がある方

公共交通機関を
よく利用する方

起業を考えている方

住まい

空き家情報

- 空き家、空き地の情報を希望者に情報提供
- まちづくり推進課 ☎0229-33-2180

住宅取得支援

- 定住を目的として持家を取得した方に対し、定住促進補助金を交付（基礎額30万円・転入世帯（新婚、子育て世帯も含む）への加算あり）
- まちづくり推進課 ☎0229-33-2180

リフォーム支援

- 賃貸を目的として空き家を改修する方に対し、経費の1/2を補助（上限100万円）
- まちづくり推進課 ☎0229-33-2180

家賃補助

- 空き家再生補助金で、改修した家を賃借する40歳以下の方に、月額1万円を限度に最長2年間補助
- まちづくり推進課 ☎0229-33-2180

子育て

医療費助成

- 子ども医療費助成は、町内に住む15歳までの児童が対象（令和4年度から18歳まで拡充予定）。詳細は担当課に問合せください
- 子ども家庭課 ☎0229-33-1411

就学・教育支援

- 第3子以降の小学校入学時に、申請のあった美里町内に住所を有する保護者等に対し、小学校入学給付金3万円を給付
- 子ども家庭課 ☎0229-33-1411
- 高校生、大学生向けの無利子の奨学金制度あり
- 教育総務課 ☎0229-58-0500

仕事

起業支援

- 起業家・起業予定者のためのシェアオフィスを提供（光熱水費、通信料及び共益費を含み月額8,000円（税別））
- 産業振興課（起業サポートセンターkiribi）☎0229-25-3329

石巻市



お問い合わせ

●石巻市復興企画部SDGs移住定住推進課
☎0225-95-1111(代表)
〒986-8501 宮城県石巻市穀町14-1

ホームページ <http://www.city.ishinomaki.lg.jp/>

移住に関するページ <http://ishinomaki-iju.com/>

海と緑が豊かな 市民が明るく元気なまち

石巻市は、宮城県の北東部に位置し太平洋に面した、県下第2の都市です。海の幸や山の幸の宝庫で、夏は涼しく冬は雪が少ない暮らしやすい土地です。JR仙石線、石巻線、気仙沼線や三陸自動車道の石巻河南ICが通っているので交通のアクセスも便利で、東日本大震災以降、全国からの支援者が訪れ、移住する方も多く住みやすいまちです。



石巻市暮らしのデータ

- 人口: 138,538人
 - 世帯数: 61,919世帯
 - 保育所の数: 50所
 - 小学校の数: 33校
 - 中学校の数: 18校
 - 病院の数: 8院
 - 一般診療所の数: 161所
- 令和4年1月末日時点



〈三陸復興国立公園〉2015年3月31日に三陸復興国立公園に指定されました。



〈石巻川開き祭り〉毎年7月下旬～8月上旬に行われる、90年続く由緒ある祭り。

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車: 約60分(JR仙台駅～石巻駅(仙石東北ライン))
- ・バス: 約75分(仙台駅前～石巻駅前(高速バス))
- ・車: 約60分(仙台南IC(東北自動車道)～石巻河南IC(三陸自動車道)～国道108号線)

地域内の移動手段

- ・電車: 仙石線、仙石東北ライン、石巻線、気仙沼線が通っており、市内には13の駅がある。
- ・バス: 路線バスに加え、住民バス、集合タクシー等(10地区)を運行
- ・車: 石巻市役所から三陸自動車道の石巻河南ICまで車で約15分

＼こんな人にちょうどいい！／

海が好きな方

出産・子育てを
考えている方

マンガが好きな方

住まい

空き家情報

- 空き家バンクを設置し、空き家等の情報をホームページで紹介
- SDGs移住定住推進課
☎0225-95-1111(代表)

住宅取得支援

- 移住に伴い、住宅を取得または居住する賃貸住宅を改修する場合に補助
※補助額: 取得の場合最大150万円、改修の場合最大50万円
- SDGs移住定住推進課
☎0225-95-1111(代表)

子育て

医療費助成

- 0歳から18歳到達年度末日まで入院・通院に係る医療費を助成
- 保険年金課 ☎0225-95-1111(代表)

生活支援

- 仕事や病気などの理由により、昼間保護者が不在になる家庭の小学校1年生から6年生までの児童が、放課後に過ごす生活の場として、小学校の余裕教室や校舎外クラブ専用室等において放課後児童クラブを開設
- 子ども保育課 ☎0225-95-1111(代表)

相談・交流支援

- 父親の育児参加を推進するため「石巻市父子手帖」を配布(母子健康手帳交付時及び3歳までの子どもがいる市民の方で希望する方)
- 健康推進課 ☎0225-95-1111(代表)
- 地域子育て支援センターを各地区12ヶ所に設置。子育て世代包括支援センターでは子育てメール相談等を実施
- 子どもの声を反映し、運営を行う子どもセンター「らいつ」(乳幼児から18歳までが利用できる児童館)を設置
- 子育て支援課 ☎0225-95-1111(代表)

育児ヘルパー事業

- 産前産後における家事育児の負担軽減を図るため、育児ヘルパーを派遣し、育児や家事を手伝う
※期間: 母子健康手帳交付後から産後6か月まで
※回数: 原則20回以内、1日2回まで
※時間: 1回2時間まで
※時間帯: 平日午前9時から午後5時まで
利用料金: 250円/時間
- 子育て支援課 ☎0225-95-1111(代表)

ファミリーサポート事業

- 「お子さんを預かってほしい方」と「お子さんを預かることができる方」が、お互いに信頼関係を築きながら子どもを預けたり、預けたりする、地域で主体的に行う子育て援助
※利用対象: 生後2か月～小学6年生まで
※利用料金: 600～700円/時間
- ファミリーサポートセンター
☎0225-23-7407



仕事

就職支援

- 医療・介護・福祉の資格(内容については要問い合わせ)を有し、市内に居住及び正規就労した方の借り入れた奨学金の返還金額の一部を最長3年間助成(年間上限20万円)
- 保健福祉総務課 ☎0225-95-1111(代表)

起業支援

- 本市創業支援事業計画に位置付けた特定創業支援事業の支援を受け、市の発行する証明書の交付を受けた創業(第二創業を含む)を行う事業者の方々に、対象経費について100万円を上限に補助
- 産業推進課 ☎0225-95-1111(代表)

就農支援

- 市内で就農する認定新規就農者・認定農業者(経営開始後5年以内)の農地の取得または賃借に要する経費(10a当たり5千円)及び農地の耕作に要する小型管理機等の導入に要する経費の一部を助成(上限25万円)
- 農林課 ☎0225-95-1111(代表)

就漁支援

- 空き家を活用したシェアハウスを拠点に漁業体験型研修を実施しているほか、就業者の資格取得経費や独立のための漁具購入費等の経費の一部を補助
- 水産課 ☎0225-95-1111(代表)

相談・体験

移住相談窓口

- 移住に関する相談を受付しているほか、まちの魅力や地域の方々と交流できる企画ツアーを実施
- SDGs移住定住推進課 ☎0225-95-1111(代表)

お試し移住

- 2泊3日から7泊8日の間、本市に実際に住んでもらい、住み心地や魅力を体感してもらう(滞在中、移住コンシェルジュによるガイドツアーを実施)
- 中心部と半島部に趣の異なる2つの施設を用意している
- SDGs移住定住推進課 ☎0225-95-1111(代表)

その他

結婚支援

- 結婚に伴う経済的負担を軽減するため、婚姻時における年齢が夫婦とも39歳以下の新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト(住宅の取得費用、新居の家賃、引越費用等)を支援
- 補助上限額：1世帯当たり30万円、ただし、夫婦共に29歳以下の場合は60万円
- 地域振興課 ☎0225-95-1111(代表)

三陸エリア

けせんぬまし

気仙沼市



お問い合わせ

●気仙沼市震災復興・企画部 震災復興・企画課

☎0226-22-6600(内線314)

〒988-8501 宮城県気仙沼市八日町1丁目1番1号

ホームページ <https://www.kesennuma.miyagi.jp/>

移住に関するページ <http://www.minato-kesennuma.com/>

海と生きる Stay with the ocean

気仙沼市は宮城県北東部の太平洋岸に位置し、四季を通じて静穏な気仙沼港は、各地へ赴く漁船の一大基地となっており、魚市場には三陸沖はもとより、世界の海で漁獲された魚介類が並びます。

気仙沼の代名詞ともいえるフカヒレや水揚げ日本一を誇る生鮮カツオなどの海産物のほか、地元特産の農産物やB級グルメとして人気の気仙沼ホルモンなどがあり、気仙沼市は美食の街としての一面も持っています。

動画もチェック!

気仙沼市PR、来て・観て・感じて気仙沼、気仙沼 移住 で検索

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・バス:約160分(JR仙台駅～南気仙沼駅(高速バス))
- ・車:約120分(仙台港北IC(仙台東部道路)～気仙沼港IC(三陸自動車道)～県道5号)

地域内の
移動手段

- ・鉄道・バス高速輸送システム(BRT)として、大船渡線・気仙沼線が運行しています。
- ・バス:路線バス・乗合タクシーを運行している。
- ・車:三陸自動車道の気仙沼中央IC・気仙沼港ICまで車で約10分(JR気仙沼駅から)市内にはバス等も運行していますが、生活上、自家用車の必要性は高い地域です。

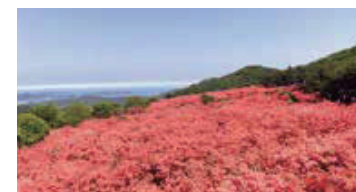
気仙沼市暮らしのデータ

- 人口:60,047人
- 世帯数:26,199世帯
- 保育所の数:16所
- 小学校の数:14校
- 中学校の数:11校
- 病院の数:4院
- 一般診療所の数:29所

令和4年1月時点



〈豊かな海の幸〉世界の海からの贈り物



〈深紅に染まる徳仙丈山〉国内最大級の山ツツジの群生地

こんな人にちょうどいい!

海も山も川も。
ゆったりと
暮らしたい方

まちのためにスキル
を活かしたい方

人と人とのつながり
ぬくもりを
大切にしたい方



空き家情報

- 空き家バンクの設置
気仙沼市移住・定住支援センターMINATO



■震災復興・企画課 ☎0226-22-3408

リフォーム支援

- 空き家バンク登録物件に関する改修費用等を助成(要件あり)
- 震災復興・企画課 ☎0226-22-3408



医療費助成

- 0歳～高校3年生の子どもの健康保険適用分の医療費の一部負担金を助成
- 保険年金課 ☎0226-22-3419
- 父(母)がいない児童を養育している母(父)とその児童、または両親のいない児童に対し、児童が18歳に達した最初の3月まで医療費の一部負担金を助成(所得制限あり)
- 子ども家庭課 ☎0226-22-3429

出産支援

- 母子健康手帳・父子健康手帳の交付
- 妊婦健康診査(14回分)の健診費用助成(多胎妊婦については6回分を追加助成)
- 特定不妊治療費に要する費用の一部を助成(1回につき上限15万円まで)
- 健康増進課 ☎0226-21-1212

- パパママ教室等妊娠期～出産・子育てに関する事業
- 気仙沼市に誕生した新生児の保護者に対し、新生児1人につき3万円の気仙沼商品券を贈呈
- 出産後の母親への育児支援(家事支援を除く)や健診等の付添い等のファミサポ活動を行うとともに、出産後1年までの援助活動の利用料の全額を助成(月上限額2万円、ファミサポの会員登録が必要)
- 子ども家庭課 ☎0226-22-3429

子育て支援

- ワクワク子育てプログラム
妊娠期・出産・子育て期のパパ・ママが安心して楽しく子育てができるよう、次の事業を実施
子育て支援セミナー／先輩ママとの交流会／産後ママ交流事業／父親の育児参加促進事業／おでかけ児童館
- 子育て情報誌・アプリ「げけっと」
市の子育て支援情報を冊子にし、毎年発行、アプリでは子育て情報誌の電子書籍が閲覧できるほか、市の子育てイベントや子育て情報がプッシュ通知で届く

Android版



iOS版



- 満1歳のお誕生日記念にお子さんと保護者に対して、絵本をプレゼントするとともに子育て情報の提供を行う
- 生後2ヵ月から小学校就学前までの児童を持つ保護者を対象にお子様連れでも安心して健康診査を受診できるよう、市の総合健診会場で託児を行う

- 保護者が病気や仕事の都合等により、お子さんの養育が困難な場合に、一時的にお預かりする事業
- 健康増進課 ☎0226-21-1212
- 子ども家庭課 ☎0226-22-3429

相談・交流支援

- 子育て世代包括支援センター
妊娠期から子育て期までの切れ目のない総合的相談の実施
- パパ・ママ教室、新生児訪問、離乳食・幼児食に関する教室
- 健康増進課 ☎0226-21-1212
- 子育てタウンミーティング
子育て中の市民や子育て支援に関わる方が、日ごろ考えている子育てに関する課題や不安について情報交換を行う
- ファミリー・サポートセンター(ファミサポ)
子育ての相互援助活動を支援
- 子育て支援センター
気仙沼地区(気仙沼児童センター内)と本吉地区(津谷保育所内)に設置、乳幼児親子の遊び場や交流、育児相談などを実施
- 児童センター・児童館
気仙沼児童センターのほか、市内に4か所に(鹿折、赤岩、大島、鮎立)児童館を設置、乳幼児親子から高校生までの遊びや居場所、世代間交流を実施
- 子ども家庭課 ☎0226-22-3429
- 子育てほっとサロン
子育て中の親子を対象として、子育ての不安や悩みを気軽に話せ、情報交換や仲間づくりを目的に、親子で楽しめるよう人形劇や体操講話などを実施
- 生涯学習課 ☎0226-22-3442

就学・教育支援

- 一定の要件を満たす高等学校、高等専門学校、大学及び専修学校の生徒、学生に対して、奨学金を貸付
- 小・中学校の就学に必要な経費の負担が困難と認められる家庭に対する助成制度あり
- 学校教育課 ☎0226-22-3441
- 第3子以降の小学校入学時に、児童一人につき3万円を支給
- 子ども家庭課 ☎0226-22-3429



就職支援

- U・I・Jターンや新規就職、他業種からの介護職への転職、1年以上離職していた介護従事者が就職する場合に助成金を交付するほか、U・I・Jターンにより市内に住所を移す場合の経費の一部を助成(適用要件あり)
- 高齢介護課 ☎0226-22-6600
- 市内の保育施設等へ就職し、1年以上の雇用契約となっている、保育士・幼稚園教諭等の有資格者に対し、助成金を支給(10万円/人)
- 奨学金を利用して保育士・幼稚園教諭資格を取得した方が、市内の保育施設等に就職した方に対し、奨学金の返済額の一部を補助(奨学金返済額の1/2(上限10万円)を補助。ただし3年以上就労すること)
- 子ども家庭課 ☎0226-22-3429

起業支援

- 地域資源の活用、地域課題の解決を伴う新規性のある事業を新たに展開・起業する方に対し、事業に係る経費の1/2を補助(上限1,000万円)

■産業戦略課 ☎0226-22-3432

就農支援

- 新規就農者に対して農業次世代人材投資資金を交付、各種要件あり

■農林課 ☎0226-22-3439

相談・体験

移住相談窓口

- 都市部からの移住・定住に向けた各種交流イベントも開催している

■気仙沼市移住・定住支援センターMINATO
☎0226-25-9119



その他

結婚支援

- 結婚新生活支援として家賃・改修費用等の一部を助成(適用要件あり)
 - 婚活イベントの運営と、参加者の交通費補助
- 震災復興企画課 ☎0226-22-3408



三陸エリア

ひがしまつしまし

東松島市



お問い合わせ

●東松島市復興政策部復興政策課

☎0225-82-1111 (内線1232)

T981-0503 宮城県東松島市矢本字上河戸36番地1

ホームページ <http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/>

移住に関するページ <https://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/36.html>

人育み 人輝く 東松島 ～心ひとつに ともに未来へ～

東松島市は仙台市の北東に位置し、東は石巻市、西は松島町、南は太平洋に面しています。日本三景「松島」の東端に奥松島を望み、海と山と豊かな自然に囲まれたまちです。また、松島基地所属の航空機「ブルーインパルス」が空を彩ります。気候は、夏涼しく、冬は雪が少ないので暮らしやすい土地です。

交通アクセスは市の中央を鉄道や三陸自動車道が縦断しており、仙台までの通勤・通学も比較的容易です。子育てや教育、防災にも力を入れ、様々な支援を行っています。

動画もチェック!

東松島市観光PR動画、2019みやぎふるさとCM大賞銅賞受賞 [で検索](#)

生活交通情報

仙台市
との
距離感

・電車:約50分(JR仙台駅～JR矢本駅(仙石東北ライン)),約35分(JR仙台駅～JR野蒜駅(仙石東北ライン))
・車:約35分(仙台東IC(仙台東部道路)～矢本IC(三陸自動車道))

地域内の
移動手段

・電車:JR仙石線が通っており、市内には8つの駅があります。
・バス:市内全域を運行範囲とするデマンド型乗合タクシー(らくらく号)を運行しています。
・車:三陸自動車道はインターチェンジが3か所あります。

＼こんな人にちょうどいい!／

海や山が好きな方

交通の便が良いまち
(仙台市や石巻市に通勤・通学)
に住みたい

穏やかな気候を
好む方

東松島市暮らしのデータ

- 人口:39,763人
- 世帯数:16,015世帯
- 保育所の数:9所
- 小学校の数:8校
- 中学校の数:3校
- 病院の数:2院
- 一般診療所の数:34所

令和2年2月時点



〈大森からの風景〉日本三景「松島」の東端にあるもう一つの「松島」～奥松島～



〈ブルーインパルス〉絵画のような美しさで観る人々を魅了するブルーインパルス



空き家情報

- 空き家、空き地の情報をホームページで紹介
※物件見学や交渉には事前の利用登録が必要
- 復興政策課 ☎0225-82-1111(内線1264)

住宅取得支援

- 定住化促進事業費補助金：市外から移住し、住宅を取得する方に対し住宅取得費の形態(新築・中古での取得、市内・市外事業者の利用等)により25万円～100万円を補助
※当補助金を利用する方は、条件により【フラット35】地域活性化型住宅ローンの利用可能
- 空き家バンク補助金：空き家バンクを利用し、売買又は賃貸にて移住した方に対し引越し費用として最大15万円を補助。売買の場合、定住化促進事業費補助金との併用が可能
- 復興政策課 ☎0225-82-1111(内線1264)



医療費助成

- 子ども医療費助成：18歳到達年度末までの全ての児童の医療費を全額助成
- 母子父子家庭医療費助成：母子(父子)家庭の母(父)及びその子ども(18歳到達年度末まで)の医療費を一部助成(要件あり)
- 子育て支援課 ☎0225-82-1111(内線1420)

出産支援

- 特定不妊治療費助成：特定不妊治療(体外受精または顕微受精)に要する費用の一部を助成(1回の治療につき15万円まで)
- 健康推進課 ☎0225-82-1111(内線3105)

育児費用負担軽減

- 多子世帯の負担軽減：兄弟姉妹で保育園に入所する場合、保育料を軽減(第2子1/2、第3子以降無料、幼稚園・保育園の併用可能)
- 子育て支援課 ☎0225-82-1111(内線1182)

生活支援

- ファミリーサポート事業：地域内で子育ての支援を受けたい方と支援できる方をマッチング(子どもの一時預かりや送迎など)
※利用対象：生後2か月～小学6年生までのお子さんがいる保護者の方
※利用料金：600～700円/時間
- ファミリーサポートセンター ☎0225-84-2676

相談・交流支援

- 子育て支援センター(あいあい(鳴瀬地区)、ほっとふる(矢本地区))：どなたでも自由に、無料で利用できる遊び場で、子育てについての情報提供や相談に対応。子ども達はのびのび遊び、親同士は子育ての悩みなどについて気軽に交流できます
- あいあい ☎0225-87-2338
- ほっとふる ☎0225-84-2676

就学・教育支援

- 海と森の学校：子どもたちの心のケア・命の教育・ふるさとを大事にする心を育むため、豊かな自然環境を活用した学校づくりを推進しています
宮野森小学校に隣接する「復興の森」には、ツリーハウス・サウンドシェルター・展望デッキなどの活動拠点があり、自然の中で生態系を学べる環境があります(3年生の総合的な学習の時間で実施)
- 教育総務課 ☎0225-82-1111(内線1261)



就職支援

- 勤労者生活安定資金融資：市内に1年以上お住まいの方または市内同一中小企業に1年以上お勤めの方に対し、教育資金や生活資金等の融資あっせん
- 商工観光課 ☎0225-82-1111(内線2163)
- 奨学金返還支援：看護師等の資格を有し、市内医療機関等で正規雇用された方に対し、学生時の奨学金返還額の一部を最大5年間助成(年間上限最大20万円)
※市外在住の方にも助成制度あり
- 高齢障害支援課 ☎0225-82-1111(内線1186)

起業支援

- 中小企業育成融資：市内において事業資金を必要とする中小企業者に資金の融資あっせん助成(上限2千万円)
- 創業支援ワンストップ相談窓口：創業支援のための窓口を設置。各関係機関と連携を図りながら、創業を希望される方の様々な相談へ丁寧に対応
- 創業支援補助金：市内で新たに創業・第二創業する方に対し、その経費の一部を補助。(新規創業の場合：補助率2/3、上限250万円、第二創業の場合：補助率1/3、上限250万円)
- 商工観光課 ☎0225-82-1111(内線2163)

就農支援

- 農業次世代人材投資事業補助金：認定農業者に対し、経営が軌道に乗るまで最長5年間給付金を支給(最大年額150万円)
このほか市の独自補助として5年間給付金を別途支給(最大年額30万円)
- 青年等就農資金：新たに農業経営を開始する認定新規就農者に対し、無利子資金の融資をあっせん(最大3千7百万円)
- 新規就農者技術習得管理施設(あおみな)：新規就農を希望する方に対し、宿泊施設を提供(個室利用500円/日から)
- 農林水産課 ☎0225-82-1111(内線2140)

相談・体験

移住相談窓口

- ワンステップ窓口：移住・定住に関する情報を集約した窓口を設置。若者、子育て世代、中高年世代、退職者など一人ひとりの希望に応じた情報提供及び支援を行い、移住への第一歩を後押し

■復興政策課 ☎0225-82-1111(内線1264)

お試し住宅

- お試し移住：本市への移住に興味がある方を対象に、3日～7日の間で市内の「あおみな」か「つながる家」のどちらかの施設に宿泊滞在いただき、東松島のライフスタイルを体験してもらうもの。移住コーディネーターが体験等をコーディネートします(コーディネーター支援料として5,000円必要)

■復興政策課 ☎0225-82-1111(内線1264)

その他

結婚支援

- 婚活イベント：年2回程度、男女の出会いの場として婚活パーティー及び婚活プロフェッショナルからの事前セミナーを実施、マッチングシステムを運用し、登録した男女を個別に「マッチング」させ、引き合わせる

■市民協働課 ☎0225-82-1111(内線3805)

- 結婚新生活支援：新婚世帯に対し、住宅購入又は賃貸住宅費用、引越費用を助成(上限30万円)

■子育て支援課 ☎0225-82-1111(内線1420)



三陸エリア

おながわちょう

女川町



お問い合わせ

●女川町企画課

☎0225-54-3131

〒986-2265 宮城県牡鹿郡女川町女川一丁目1番地1

ホームページ <https://www.town.onagawa.miyagi.jp/>

移住に関するページ <http://onagawa-kikkake.jp/program/>

あたらしいスタートが 世界一生まれる町へ。

始発駅の町、女川。この町からスタートしているのは、列車だけではありません。仕事も駅も商店街も、そして人も、マイナスから立ち上がり、あたらしいスタートを切っています。町も、人も、いつだってスタートできます。

豊かな海、山、川に囲まれたこの町には、あたらしいスタートに挑戦している人たちがいて、あなたのスタートを応援するあたたかい人たちがいます。女川は、すべての人のあらゆるスタートを応援する町です。

🎬 動画もチェック!

女川町 移住

で検索



■女川町暮らしのデータ

- 人口：6,081人
- 世帯数：2,988世帯
- 保育所の数：2所
- 小学校の数：1校
- 中学校の数：1校
- 一般診療所の数：1所

令和4年1月末時点



〈女川駅前レンガみちから見る初日の出〉女川から新しい一年をスタートしよう。



〈女川駅・女川温泉ゆぽぽ〉駅舎と温泉の合築施設。



生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車：約90分(JR仙台駅～石巻駅(仙石線)～女川駅(石巻線))
※JR仙石東北ライン利用による仙台駅直通便も利用可能
- ・車：約75分(仙台東IC(三陸自動車道)～石巻女川IC(三陸自動車道)～国道398号線)

地域内の
移動手段

- ・バス：路線バスに加え、町民バス(1日3便から4便運行。1回乗車200円、高校生以下無料など)を運行している。
- ・車：三陸自動車道石巻女川ICまで車で約30分
- ・定期航路：出島、江島行き(1日3便)

／こんな人にちょうどいい!／

海と山の近くで
暮らしたい方

新鮮な魚介類を
楽しみたい方

街づくりに
関わりたい方



空き家・空き地情報

- 町のホームページに「空き家・空き地」の情報を掲載
- 町所有の分譲宅地の情報を町のホームページに掲載
- 企画課 ☎0225-54-3131

住宅取得支援

- 町内に土地と住宅を両方取得した場合300万円、既存住宅の建替えや、住宅取得のみの場合225万円、中古住宅の取得の場合150万円を助成
- 企画課 ☎0225-54-3131
- 住宅用高効率給湯器の購入へ最大5万円、太陽光発電設備の設置へ最大12万5千円を助成
- 町民生活課 ☎0225-54-3131

リフォーム支援

- 木造住宅の耐震診断や耐震改修計画書の作成などに係る費用の一部を助成
- 上記助成を受けた後行った改修設計および工事に係る一部を助成(最大100万円、要件により加算あり)
- 危険度の高いブロック塀などの除却費用の一部を助成(最大30万円)
- 建設課 ☎0225-54-3131

宅地整備支援

- 自宅の庭へのシンボルツリー植樹、芝の植え付けなどの緑化整備に要した費用の一部を助成(最大20万円)
- 東日本大震災後に町が整備した造成宅地に住宅を建築した際に、宅地内の高低

差対策や土砂流出防止のために擁壁を整備した場合、整備費用の1/2を助成(最大100万円)

■企画課 ☎0225-54-3131



医療費助成

- 0歳から18歳到達年度までの子どもの入院(食事代を含む)及び通院に係る医療費の自己負担額を助成
- ひとり親世帯の親及び子の医療費の一部助成
- 健康福祉課 ☎0225-54-3131

出産支援

- 特定不妊治療に要した費用の一部を助成
- 健康福祉課 ☎0225-54-3131
- 生涯、女川への思いを持ち続けてほしいという願いを込め、女川産材で作った子ども用の「輝望の椅子」をプレゼント
- 産業振興課 ☎0225-54-3131

育児費用負担軽減

- 同一世帯から2人以上が入所している場合、2人目の保育料は半額、第3子以降の保育料は無料(要件あり)
- ひとり親世帯、在宅障害児(者)のいる世帯の保育料を減額(要件あり)
- 健康福祉課 ☎0225-54-3131
- チャイルドシート購入費用の一部を助成(最大1万5千円)
- 町民生活課 ☎0225-54-3131

就学・教育支援

- 経済的理由により、小・中学校へ就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、学用品費や学校給食費の就学費用を助成
- 4歳から18歳までの間、学習塾や文化・スポーツ教室などに通う際の月謝の一部を助成(月最大5千円)
- 本町の小・中学生が受検した漢字検定、英語検定、数学(算数)検定の受検料の一部または全部を助成
- 高校生等が通学のために必要となる定期券または下宿に要する費用の一部を助成
- 公共交通機関を利用して遠距離通学する本町の小・中学生の定期券代の一部を助成
- 教育総務課 ☎0225-54-3131



就職支援

- 対象となる資格(就労につながる国家・公的・民間資格または研修修了が資格と同等のもの)を取得した満15歳以上の町民の方へ、取得経費の一部を助成(上限10万円)
資格の例:大型自動車運転免許、小型船舶免許、介護職員初任者研修、玉掛け技能講習など
- 企画課 ☎0225-54-3131
- 町内に居住する求職者を対象に無料で職業紹介を行う紹介所を開設
- 産業振興課 ☎0225-54-3131

起業支援

- 本気で創業したい方向けに「創業本気プログラム」を実施し、地方で創業する全ての方を応援
- ※専用サイト 
- コワーキングスペース、創業支援、町民集いの場としての3つの役割を担う「女川フューチャーセンターCamass」を開設
- NPO法人 アスヘノキボウ ☎0225-98-7175
- ※専用サイト 

相談・体験

移住相談窓口

- 女川町への移住・定住に係る相談を随時受付
関連する情報を集約し、ワンストップで対応
- 企画課 ☎0225-54-3131

オンライン移住相窓口

- オンラインによる対面形式の移住相談を実施、NPO法人アスヘノキボウスタッフと町職員により、多角的な視点から対応
- ※ウェブサイトからの予約が必要
- 企画課 ☎0225-54-3131 

お試し移住プログラム

- 5日～30日、実際に女川に住んでみて、この町の人や雰囲気に触れながら「暮らす」「働く」そして「町の未来に関わる」という女川町ならではのライフスタイルを体感
- NPO法人 アスヘノキボウ ☎0225-98-7175
- ※専用サイト 

南三陸町



お問い合わせ

●南三陸町企画課

☎0226-46-1371

〒986-0725 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田101番地

ホームページ <http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp>

■南三陸町暮らしのデータ

- 人口: 12,650人
- 世帯数: 4,500世帯
- 保育所の数: 4所
- 小学校の数: 5校
- 中学校の数: 2校
- 病院の数: 1院
- 一般診療所の数: 3所

令和2年2月時点

森 里 海 ひと いのちめぐるまち 南三陸

南三陸町は、宮城県北東部に位置しリアス式海岸を有する自然豊かな海沿いのまちです。海のイメージが強いですが、町の面積の77%が山林で、森と海に囲まれた里の暮らしでは自然との繋がりを強く感じられます。現在、一次産業では環境に配慮した資源循環型の新たな取り組みを進めており、その地域資源を活かした観光・体験交流事業などに多くの観光客が訪れています。南三陸町では新たな可能性を見つけ、チャレンジする方を応援します。



〈自然のキャンパス〉青い海に浮かぶ島、その海を包み込む緑豊かな山々



〈豊かな海の生態系〉ラムサール条約登録を目指す豊かな自然環境

📺 動画もチェック!

南三陸町移住・定住支援センター

で検索

🚗 生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・バス: 約90分(宮城県庁～JR志津川駅(高速バス))
- ・車: 約80分(仙台東IC(仙台東部道路)～南三陸海岸IC(三陸自動車道))

地域内の
移動手段

- ・バス: JRが運行するBRT(バス高速運送システム(前谷地～気仙沼間))に加え、町内を運行する南三陸乗合バス
- ・車: 町内に4か所ある三陸自動車道ICまではそれぞれ数分。日常生活では自家用車の必要性が高い。

＼こんな人にちょうどいい!／

山も海も両方
楽しみたい方

自分の可能性を
見つけたい方

街づくりに
興味がある方

🏠 住まい

空き家情報

- 空き家バンクを開設し、町に登録している仲介業者が契約をサポート、最大70万円の空き家改修と不用品整理に使える補助金や仲介手数料助成など支援制度が充実

■企画課 ☎0226-46-1371

住宅取得支援

- 若者の住宅取得を応援するため、40歳以下の子育て世帯や新婚世帯が住宅を建築または購入(中古を除く)した場合に最大100万円を補助(町の造成団地も好評分譲中)

■企画課 ☎0226-46-1371

家賃補助

- 子育て世帯に月額2万円、その他世帯にも月額1万円を上限に最大24ヶ月分の家賃を助成

■企画課 ☎0226-46-1371

住宅関連負担軽減

- 移住者向けに定住促進住宅を整備(家賃2万4千円～3万2千円)

■建設課 ☎0226-46-1377

👨‍👩‍👧 子育て

医療費助成

- こども医療費の助成により、18歳までの保険診療に係る医療費の窓口負担が保護者の所得に関わらず無料
- 母子・父子家庭医療費の助成により、18歳に達してから最初の3月31日までの間にある子を扶養する一人親家庭等に対して、医療費の自己負担金額が一定額を超える場合に助成

■町民税務課 ☎0226-46-1372

出産支援

- 出産時に子育て応援券(商品券)を配布(第1子3万円、第2子5万円、第3子10万円)
- 特定不妊治療費助成(1回あたりの上限15万円)

■保健福祉課 ☎0226-46-1402

育児費用負担軽減

- 保育料無償化に加え、3歳未満児についても軽減措置を拡充している(第2子半額、第3子以降無料)

■保健福祉課 ☎0226-46-1402

相談・交流支援

- 町内3ヶ所に子育て支援センターを開設し、常時4名のスタッフが育児相談や親子クッキングなどイベントを開催、また、ママさんたちが企画する自主活動のサポートも実施

■保健福祉課 ☎0226-46-1402

就学・教育支援

- 就学時に1万円分の子育て応援券(商品券)を配布

■保健福祉課 ☎0226-46-1402

- 市内の公立高校(志津川高校)と連携し無料の学習支援センターを開設。講師が常駐し自律学習のサポートを受けられるほか、タブレットを活用したオンライン講座を受講可能

■企画課 ☎0226-46-1371



就職支援

- Uターン者雇用奨励金により、移住者本人に対し、移住者の正規雇用を促進するための雇用奨励金を交付
- 南三陸町無料職業紹介所を開設し、専門の相談員による求人・求職に関する相談及び紹介(無料)

■商工観光課 ☎0226-46-1385

起業支援

- 起業支援補助金制度により、地域の資源を活用して新たに事業を開始しようとする方を支援(開業準備経費及び施設設備費など補助：上限200万円)

■商工観光課 ☎0226-46-1385

就農支援

- 新規就農者に青年就農給付金を支給

■農林水産課 ☎0226-46-1378

その他

結婚支援

- 結婚相手紹介サービスを利用し、専任の婚活コンシェルジュとともに1年以内の成婚をサポート(入会金・活動サポート費を町が負担)

■企画課 ☎0226-46-1371

仙台エリア

せんだいし

仙台市



お問い合わせ

- 仙台市まちづくり政策局政策企画課

☎022-214-1245

〒980-8671 宮城県仙台市青葉区国分町三丁目7-1

ホームページ <https://www.city.sendai.jp/>



■仙台市暮らしのデータ

■人口:1,096,623人

■世帯数:531,611世帯

■保育施設等の数:410所

■小学校の数:125校

■中学校の数:74校

■病院の数:56院

■一般診療所の数:925所

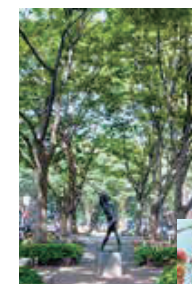
(人口、世帯数は令和4年1月1日時点)
(保育施設等の数は令和3年4月1日時点)
(小学校、中学校の数は令和3年5月1日時点)
(病院、一般診療所の数は令和元年10月1日時点)

豊かな自然と都市機能が調和した 住みやすいまち

仙台市は、1601年伊達政宗公によって築かれ、東北地方の玄関口、そして経済・文化の中心地として繁栄してきました。街中には緑があふれ、中心部を流れる広瀬川とともに都心にしながら自然を満喫することができる“杜の都”です。また、公共交通を中心とした利便性の高い交通体系のもと、郊外の良好な生活環境を維持しながら都心や拠点に高度な機能を集約した、誰もが快適に暮らし活動できるまちです。その上、四季を通じてさまざまなイベントが開催される楽しいまちです。

🎬 動画もチェック!

仙台市観光PR映像 で検索



〈杜の都 仙台〉
豊かな自然と都市とが共存する住みやすいまち、仙台。



〈仙台のイベント〉
仙台七夕まつり、SENDAL光のページェント等、春夏秋冬イベントが盛りだくさん。

🚗 生活交通情報

市内はJR東北本線をはじめJR各線と市営地下鉄南北線・東西線が仙台駅を中心に延びており、これら鉄道を補完するように路線バスが運行され、市内の移動は非常に便利になっています。

＼こんな人にちょうどいい!／

色んなことに
チャレンジしたい方

自然と街中
どちらも楽しみたい方

スポーツやイベント
が好きな方



医療費助成

- 障害のある方に対し、保険診療による医療費の自己負担額の全部または一部を助成(身体・知的・精神障害者対象。障害程度、所得による要件あり)

■障害企画課 ☎022-214-6135

- 中学3年生まで入院・通院に係る医療費(保険診療に限る)の自己負担額を助成(小学生・中学生は一部負担金あり。一部負担金は、通院で初診・初検料算定時500円、入院は1日500円(最大10日分、所得制限あり)

※令和5年4月から所得制限を撤廃予定

■子供支援給付課 ☎022-214-8202

子育て支援

- 生後12か月未満の乳児とその母親で、家族等の十分な支援が得られず、かつ産後心身の不調や育児不安がある方に、病院や診療所、助産所において、宿泊または日帰り等により母体の回復のための支援や育児指導、生活の相談等を行う産後ケア事業を実施(サービス種別・施設によって受け入れ可能月齢が異なる)

■子供家庭保健課 ☎022-214-8189

就学・教育支援

- 第3子以降の小学校入学時に、申請のあった仙台市内に住所を有する保護者等に対し、祝金3万円を支給

■子供支援給付課 ☎022-214-8202

- 経済的理由のため就学困難な公立小・中学校の児童・生徒の保護者に対して、学用品費、修学旅行費、学校給食費等を援助する就学援助を実施

■学事課 ☎022-214-8861



就職支援

- 首都圏等人材のUIターン就職を促進するため、首都圏やオンライン上で合同企業面接会等を開催

- 仙台市の産業を担う人材を確保して、若者が地元で定着することを目的として、認定を受けた仙台市内の協力企業への就職を条件に、入社後3年間の奨学金返還を支援



■商業・雇用支援課 ☎022-214-1007

- 「SENDAI INC.」を通じた市内IT企業等に関する情報発信



- 首都圏等の大学生や専門学校生のUIターン就職も対象として、仙台市内で「IT企業」合同業界説明会を開催

■産業振興課 ☎022-214-8263

起業支援

- 新事業創出支援融資(起業家支援資金)による開業資金の貸付

■中小企業支援課 ☎022-214-1003

- 仙台市起業支援センターによる起業相談・起業支援情報の発信



- 「OHU/MORI」ポータルサイトを通じた起業に関する情報発信



■産業振興課 ☎022-214-8278

就農支援

- 6次産業化に係る総合的な支援
- せんだい農業園芸センターみどりの杜での栽培技術・農業経営等に関する研修

■農政企画課 ☎022-214-8266

- 小規模農業用機械導入費用の一部を助成(事業費の1/2、上限額10万円)
- パイプハウス設置費用の一部を助成(上限額あり)

■農業振興課 ☎022-214-7327



しおがまし
塩竈市



お問い合わせ

●塩竈市総務部政策課

☎022-355-5631

〒985-8501 宮城県塩竈市旭町1番1号

ホームページ <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/>

■塩竈市暮らしのデータ

■人口: 52,976人

■世帯数: 23,858世帯

■保育所の数: 13所

■小学校の数: 7校

■中学校の数: 5校

■病院の数: 4院

■一般診療所の数: 32所

令和4年1月31日時点

海と杜に育まれる
楽しい塩竈

塩竈市は宮城県のほぼ中央、仙台市と日本三景で知られる松島との間に位置しています。陸奥国一之宮として1,200年以上の歴史がある鹽竈神社の門前町として、また国内有数の港町として栄えてきました。

新鮮な海の幸を使った寿司店が数多く並び、地酒や笹かまぼこ、藻塩を使ったスイーツなど食のまちとしても魅力的です。また、古くから松島観光の玄関口としても知られており、「奥の細道」には松尾芭蕉が塩竈から松島へ舟で渡ったことが綴られています。



〈塩竈みなと祭〉(日本三大船祭り)の一つ。御神輿を乗せた船が松島湾を巡幸。



〈塩釜水産物仲卸市場〉新鮮な魚介類と豊富な食材が勢揃いしています。

生活交通情報

仙台市
との
距離感

・電車: JR仙台駅～本塩釜駅(JR仙石線)29分、JR仙台駅～塩釜駅(JR東北本線)17分

・車: 国道45号線 約40分

地域内の
移動手段

市内にはJR仙石線の駅が3つ、JR東北本線の駅が1つあり仙台市からのアクセスはとても便利です。

市内循環バスとして「しおナビ100円バス」と「NEWしおナビ100円バス」が運行しています。

＼こんな人にちょうどいい！／

寿司に目がない方

のびのびと子どもを
育てたい方

島遊びを
楽しみたい方



住まい

空き家情報

●空き家を「売りたい」「貸したい」とお考えの所有者に物件を市に登録していただき、空き家を「買いたい」「借りたい」とお考えの利用希望者に情報提供する制度。(市では売買等に関する交渉及び契約等の媒介行為は行わない。)

■まちづくり・建築課 ☎022-364-1126

住宅取得支援

●子育て・三世同居近居住宅取得支援事業: 市外から転入し、市内に新たに住宅を取得し居住する方のうち、一定の条件を満たした方に住宅取得費を補助(上限あり)

■政策課 ☎022-355-5631

●地域優良賃貸住宅: 子育て世代(18歳未満の子供のいる世帯)を対象とした家族世帯向け賃貸住宅を運営

●所有者が空き家バンク制度に登録する空き家の住宅状況調査を行う際、その調査経費を補助する(上限あり)。

●空き家所有者または利用希望者が、空き家バンクと連動して空き家の改修工事を行う際、その工事経費を補助する(上限あり)。

■まちづくり・建築課 ☎022-364-1126



子育て

医療費助成

●塩竈市子ども医療費助成制度: 子どもが健康保険を利用して、医療機関等を受診された場合や保険薬局で薬を受け取った場合に、入・通院にかかる医療費の自己負担額を助成(所得制限あり)

■保険年金課 ☎022-355-6519

相談・交流支援

●地域子育て支援センター事業: 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を提供

●ファミリーサポート事業: 子供を預かってほしい方、預かることのできる方の相互の信頼関係のもとに子育てを助け合う事業

●藤倉児童館運営事業: 子供たちに健全な遊びを与え、児童の健全育成を増進し、情操を豊かにするための施設として、児童館を自由開放

●放課後児童クラブ運営事業: 保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学生の児童を対象に、児童健全育成を図ることを目的とし、授業終了時間に合わせて各学校で開設

■子ども未来課 ☎022-353-7797



起業支援

- 塩竈市シャッターオープン・プラス事業：中心市街地の空き店舗1階を賃借し起業する方(一部既創業者含む)で、地域資源を活用または商業振興、にぎわい創出に寄与する事業をする方を支援(諸条件、審査選考あり)
- 塩竈商人塾：市内の事業主や従業員の方、塩竈で起業をお考えの方を対象に、販売力や集客力の向上を目的に、実践的な講座を実施
- 商工観光課 ☎022-364-1124



仙台エリア

なとりし

名取市



お問い合わせ

●名取市企画部なとりの魅力創生課

☎022-724-7182

〒981-1292 宮城県名取市増田字柳田80

ホームページ <https://www.city.natori.miyagi.jp/>



■名取市暮らしのデータ

- 人口：79,416人
- 世帯数：32,305世帯
- 保育所の数：27所
- 小学校の数：11 (10) 校*
- 中学校の数：5 (4) 校*
- 病院の数：4院
- 一般診療所の数：47所

*義務教育学校を加えた数 令和4年1月時点

豊かな自然と便利な生活空間に包まれた快適で住みやすいまち

名取市は、宮城県の中央部に位置し、東北の中核都市である仙台市に隣接しています。仙台駅まで電車で約13分という環境にありながら、東は太平洋に面し、西部には広大な山並みが広がるなど豊かな自然に囲まれ、冬でも雪が少ない温暖な気候もあって、快適で過ごしやすいまちが形成されています。また、郊外型の商業施設が多く立地しており、買い物や生活にも便利で住みやすいまちです。

📺 動画もチェック!

名取市 Youtube で検索



〈仙台空港〉
運営の民営化によりますます発展を続ける東北の空の玄関口



〈かわまちてらす関上〉
名取川沿いの新たな商店街。川辺のテラスで飲食も楽しめる憩いの場

🚗 生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車：約13分 (JR仙台駅～名取駅(東北本線、仙台空港アクセス線))
- ・車：約30分 (国道4号線)

地域内の移動手段

- ・電車：JR東北本線、仙台空港アクセス線が通っており、市内に5つの駅がある。
- ・バス：乗合バス「なとりん号」が幹線路線と生活路線の2系統運行を行っている。また一部地域では宮城交通のバスが運行している。
- ・車：仙台東部道路へ繋がる名取ICと名取中央SIC、仙台空港ICが市内にあり、東北自動車道へ繋がる仙台南ICには名取駅から車で約25分。

／こんな人にちょうどいい!／

日常生活の利便性が高く、首都圏や海外へのアクセスも便利な場所に住みたい。

海や山、緑が多い自然環境豊かなまちで生活したい。

保育施設や公園が多く、子育てに力を入れているまちで子育てしたい。



医療費助成

- 子ども医療費助成制度。中学3年生まで入院・通院が助成対象、小学生以上は通院初診(検)料算定時500円の一部負担金あり
- こども支援課 ☎022-724-7119

出産支援

- 産婦健康診査費助成事業として、2回分(産後2週頃及び4週頃)の健康診査にかかる費用を助成(健診1回につき5,000円上限)
- 育児ヘルプサービスでは、出産後おおむね1か月以内(それ以降になる方は要相談)を期間として、何らかの事情で日中に家族の支援が受けられず家事や育児が困難な家庭を対象に、ヘルパーを派遣
- 保健センター ☎022-382-2456

子育て支援

- 名取市子育て支援拠点施設cocolll(ここいる)をはじめとした市内6ヵ所の子育て支援センターにおいて、親子の交流イベント、育児相談、子育てに関する情報提供を実施
- 病後児保育事業では、病気が回復してきているが安静が必要な時期に、専用の保健室で看護師・保育士が子どもをお預かりするサービスを実施
- こども支援課 ☎022-724-7181
- 学校給食費の無償化
市内の公立中学校に通う3年生(義務教育学校9年生を含む)を対象として、給食費を全額免除、また、市内在住の私立中学校等に通う3年生の保護者に対して給食費相当額を助成
- 学校教育課 ☎022-724-7172

学校教育

- 市内には小学校が10校、中学校4校、義務教育学校が1校あり、義務教育学校である関上小中学校では、市内全域から生徒の受け入れを行っている
- ※義務教育学校：小学校から中学校までの義務教育9年間を一貫して行う学校(設置者によって教育課程等を柔軟に運用することが認められている)
- 学校教育課 ☎022-724-7172



起業支援

- 市内の空き店舗を活用し、小売業や飲食業など市の指定する業種で、これから創業・開業する方に補助金を交付する
- 商工観光課 ☎022-724-7150

就農支援

- 市内で新規に農業を始めたい方に対して、その就農形態に応じた就農相談、情報提供等の支援を実施。
- 農林水産課 ☎022-724-7153

その他

結婚支援

- 婚活支援事業補助金を、市内の婚活イベントへ助成し、出会いの機会を創出している。また、婚活イベントに参加し結婚に至った方に成婚記念品を贈呈している。
- なとりの魅力創生課 ☎022-724-7182

仙台エリア

たがじょうし

多賀城市



お問い合わせ

●多賀城市企画経営部企画課

☎022-368-1141

〒985-8531 宮城県多賀城市中央2丁目1番1号

ホームページ <http://www.city.tagajo.miyagi.jp>



■多賀城市暮らしのデータ

- 人口: 62,135人
 - 世帯数: 27,676世帯
 - 保育所の数: 26所
 - 小学校の数: 6校
 - 中学校の数: 4校
 - 病院の数: 1院
 - 一般診療所の数: 35所
- 令和4年1月末時点
(病院、一般診療所は令和2年11月1日時点)

日々のよろこびふくらむまち 史都 多賀城

宮城県のほぼ中央に位置して生活利便性が高く、日本三大史跡の一つである多賀城跡など多数の歴史遺産を有し、歴史や自然を身近に感じられるまちです。

2016年にはJR仙石線多賀城駅前に民間の書店やカフェを併設する市立図書館がリニューアルオープンし「東北随一の文化交流拠点」づくりを進めています。

古来多くの人と文化が行き交ったこの歴史ある地で、文化やアートに触れ、誰もがよろこびや楽しさを見られるまちづくりに取り組んでいます。

動画もチェック!

多賀城市役所 YouTube で検索



〈多賀城碑〉
日本三古碑の一つに数えられる重要文化財。

〈多賀城跡あやめまつり〉
毎年6月中旬～下旬頃に行われ、800種300万本のアヤメ、ハナショウブ、カキツバタが咲き誇ります。



生活交通情報

仙台市との距離感

- 電車: 約20分 (JR仙台駅～多賀城駅(仙石線))
- 車: 約30分 (国道45号線)

地域内の移動手段

- 電車: JR仙石線とJR東北本線の2路線が通っており、市内外に利用可能な駅が7つあります。
- バス: 市内を8路線(多賀城東部線、多賀城西部線、汐見台団地線、荒井多賀城線、NEWしおナビ100円バス、七ヶ浜町民バスぐるりんこ、仙台市交通局2路線)が運行しています。

こんな人にちょうどいい! /

歴史が好きな方

身近に文化・芸術を感じて暮らしたい方

通勤・通学の便が良いところに住みたい方



リフォーム支援

- 耐震改修費用の一部を補助
耐震改修工事のみ実施する場合：工事費の4/5(限度額100万円)
耐震改修工事に加えその他改修工事(リフォーム工事)を実施する場合：10万円の上乗せ(限度額110万円)

■都市計画課
☎022-368-1141



医療費助成

- 満18歳を迎えた最初の3月31日までの入院及び通院の自己負担分を助成(所得制限あり。生活保護受給者及び婚姻歴がある者を除く)

■国保年金課
☎022-368-1141

出産支援

- 母子健康手帳の交付、妊産婦健診助成券交付、産前産後サポート事業(ハッピー♥パパママ学級)、妊婦歯科健康診査

■子ども家庭課 ☎022-368-1141

相談・交流支援

- 子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援・相談受付をワンストップで実施
 - 食育講座、転入者向け事業、子どもの発育・発達支援(1歳児come☆かむ広場)、地域企業等との連携事業などを実施
 - 制度・手当、子育て支援施設、相談等をまとめた「子育てガイドブック」を配布
 - 母子保健サービスやライフステージごとに必要な情報をまとめた「多賀城市子育て親育ちサポートブック」を配布
 - 発育や発達、健康状態等の相談として保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士による「乳幼児健康相談」を月1回実施
 - お子さんの月齢にあわせた「離乳食教室」を実施
- 子ども家庭課 ☎022-368-1141

- たがじょう子育てほっとライン
保健師、助産師による子育てに関する電話相談です。
- ☎022-368-1021

就学・教育支援

- 経済的理由により就学が困難な公立小・中学校に通う児童・生徒がいる世帯に対し、希望により、学用品費、修学旅行費、校外活動費、学校給食費、医療費等の就学援助を実施
- 教育総務課 ☎022-368-1141



起業支援

- 創業支援に係る各種相談受付
 - 創業支援事業者との連携及び創業セミナー、ビジネスプランコンテスト等の実施
 - 創業支援補助金により新規出店に係る初期投資費用の一部を補助
 - 復興産業集積区域への新規進出事業者への税を減免
- 産業振興課 ☎022-368-1141

＼移住者たちの声を知りたい方はこちらをCheck!／

エリア情報や、仕事情報、移住者インタビューなど宮城での暮らしがイメージできるコンテンツ満載です。

<https://miyagi-ijuguide.jp>



宮城県の暮らしを
ぜひ動画でもご覧ください。



いわぬまし 岩沼市



■岩沼市暮らしのデータ

- 人口：43,869人
 - 世帯数：18,446世帯
 - 保育所等の数：15所
 - 小学校の数：4校
 - 中学校の数：4校
 - 病院の数：5院
 - 一般診療所の数：25所
- 令和4年1月時点



お問い合わせ

●岩沼市総務部地方創生推進課

☎0223-23-0386

〒989-2480 宮城県岩沼市桜一丁目6番20号

ホームページ <https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/>

移住に関するページ <https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/kurashi/iju/teiju/index.html>

「ちょうどいい、宮城県。」の 「ちょうどいい、岩沼。」

岩沼市は、仙台市の南18kmに位置し、西の丘陵地帯から太平洋岸まで仙台平野が広がる雪が少ない温暖な都市です。古くから交通の要衝として、宿場町、門前町、城下町として栄え、東北を訪れる方は必ず通ったと言われています。JR東北本線・常磐線、国道4号・6号の合流点であり、東北の玄関口である仙台空港が所在するなど、交通の便に優れた住みやすい街です。市民一人ひとりの“健幸”を目指し、住みよいまちづくりに取り組んでいます。

📺 動画もチェック!

岩沼市PR動画

で検索



〈日本三稲荷 竹駒神社〉年間160万人が参拝。祭事では神輿や稚児行列など、約700人がねり歩く。



〈グリーンピア岩沼〉市街地から車で約10分。緑に囲まれた空間で里山散策やスポーツを満喫。

🏠 住まい

空き家情報

●空き家の利活用に関する相談について、市内の不動産事業所と協力して対応

■地方創生推進課 ☎0223-23-0386

リフォーム支援

●個人住宅のリフォーム工事(税抜20万円以上)に対して、一律10万円を補助

※市内在住、事前申請その他要件があります

■商工観光課 ☎0223-23-0573

住宅関連負担軽減

●雨水貯蓄タンク設置補助金：購入及び設置に要した費用の1/2を補助(上限2万5千円)

■上下水道部経営企画課 ☎0223-23-0846

●住宅用太陽光発電システム
設置補助金：自ら居住する住宅に太陽光発電システムを設置する個人への補助

■生活環境課 ☎0223-23-0584

👨‍👩‍👧 子育て

医療費助成

- 0歳から18歳到達年度の末日までの入院、通院、訪問看護
- 母子または父子家庭の親と、現にその扶養を受けている18歳までの子、父母のない児童等
- 身体障害者手帳1～3級、精神障害者保健福祉手帳1級、療育手帳[A]をお持ちの方、療育手帳[B]をお持ちで知的障害者福祉法に定める職親に委託されている方、特別児童扶養手当の障害程度が「1級」に

該当する方

上記要件に該当する方に保険診療による自己負担額を助成(詳細は窓口へ要確認)

■健康増進課 ☎0223-23-0410

出産支援

- 特定不妊治療費助成
- 風しんワクチン予防接種費助成
- 妊婦健康診査助成
- 産婦健康診査助成
- 健康増進課 ☎0223-23-0410

育児費用負担軽減

- おたふくかぜワクチン予防接種費用助成
- 里帰り出産等に伴う県外での定期予防接種費用助成
- 中学3年生インフルエンザワクチン予防接種費用助成
- 法定外風しん予防接種費用助成
- 発育発達相談等の子育てに関する相談、教室の定期的な開催
- 産後ケア事業
- 子育てアプリによる情報発信、予防接種進捗管理等の支援
- 健康増進課 ☎0223-23-0410

相談・交流支援

- 出産後の家庭をボランティアが訪問し、子育て支援情報の提供や、子育てについて相談にのるなど、地域で子育てを支援
- 転入してきた親子を対象に、市内の子育て関連施設やカフェ等の紹介を行い、親同士の交流を図る「welcomeサロン」を年3回開催
- 子育て中の親子の交流を深めるため年2回市民バス遠足を開催

🚗 生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車：約20分(JR仙台駅～岩沼駅(東北本線・常磐線))
- ・車：約40分(国道4号)

地域内の
移動手段

- ・バス：市バス(1回乗車200円、フリー乗車400円)を運行している。
- ・車：岩沼IC(仙台東部道路)から市中心部まで車で約5分。
- ・その他：市内一部地域でデマンドタクシーを運行。

＼こんな人にちょうどいい!／

通勤・通学に便利
なところに暮らしたい

子どもとの生活を
楽しみたい

都会と田舎の
ちょうどいいところ
に住みたい

●「Happy チャイルドカレンダー」(月刊)や「子育てガイドブック」(年刊)を通じて、子育て支援情報を発信

●親同士の仲間作りのための活動や遊び場の提供

■子育て支援センター ☎0223-36-8762

●子育て親子の交流の場の提供と交流の促進をはかるためにさまざまな事業を展開

●子育て関連の情報提供や、子育てについての相談窓口としての支援

●子育て支援講座を実施し、講師の方と共に子育てのお役立ち情報の学びの場を提供

●地域に開かれた施設としての世代間交流や保育所との交流活動を展開

■東子育て支援センター ☎0223-35-7767

●発育発達相談等の子育てに関する相談、教室の定期的な開催

■健康増進課 ☎0223-23-0410



就職支援

●ハローワーク仙台と連携した出張ハローワーク、合同企業説明会等を実施

■産業立地推進室 0223-23-0576

起業支援

●岩沼市商工会等の支援機関と連携し、相談受付や創業希望者への経営計画作成を支援

●創業希望者に対し、岩沼市商工会に登録された中心市街地空き店舗を活用(入居)して新規開業する事業者に対し、店舗改装費や賃借料を「中心市街地空き店舗活用支援事業補助金」として交付
<中心市街地空き店舗活用支援事業補助金の補助率及び補助限度額>

【店舗改装費】

補助率：2分の1

補助限度額：100万円以内(3年に分けて補助し、それぞれの限度額は1年目50万円以内、2年目30万円以内、3年目20万円以内)

【店舗賃借料】

補助率：年額の3分の2

補助限度額：年額20万円以内
(補助期間は3年まで)

■商工観光課 ☎0223-23-0573

就農支援

●農業次世代人材投資事業：新規就農希望者に交付(最大150万円、最長5年間)

●農林業奨励補助金：事業費10万円～100万円の1/3を助成

■農政課 ☎0223-23-0537

仙台エリア

とみやし

富谷市



お問い合わせ

●富谷市企画部企画政策課

☎022-358-0517

〒981-3392 宮城県富谷市富谷坂松田30番地

ホームページ <https://www.tomiya-city.miyagi.jp/>



■富谷市暮らしのデータ

- 人口：52,481人
 - 世帯数：19,941世帯
 - 保育所の数：17所
 - 小学校の数：8校
 - 中学校の数：5校
 - 病院の数：3院
 - 一般診療所の数：28所
- (病院、一般診療所は令和4年1月末時点
(令和4年10月1日時点))

「住みたくなるまち日本一」を目指して

宮城県のほぼ中央部、仙台市の北隣に位置する富谷市は、約400年前に伊達政宗公の命により開拓した奥州街道の宿場町「富谷宿」を起源として発展し、2016年に市制施行により「富谷市」となりました。豊かな自然、新興住宅地、商業施設、子育て環境などが整備されており、住み良さに関して高い評価を得ています。

市ではまちづくりの将来像に掲げる「住みたくなるまち 日本一」の実現に向けて各種施策に取り組んでいます。

動画もチェック!

とみや生活 で検索



〈特産品ブルーベリー〉
毎年7月に市内ケーキ店の協力でブルーベリースイーツフェアを開催しています。

〈しんまち通り〉江戸時代に宿場町として栄えたしんまち通り。歴史の面影が色濃く残ります。



生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車+バス：約45分(仙台市営地下鉄南北線仙台駅～泉中央駅(15分)+路線バス(30分))
- ・車：約35分(国道4号線)

地域内の移動手段

- ・バス：路線バスに加え、コミュニティバス(市民バス)(1回乗車100円)を運行している。
- ・車：富谷市役所から東北自動車道の泉ICまで約15分・大和ICまで約10分、仙台北部道路富谷ICまで約5分。

こんな人にちょうどいい!

利便性が高く、
住みごこちの良い環境で
暮らしたい方

保育施設や子育て支援
が充実した環境で
暮らしたい方

地域コミュニティ活動や
まちづくりに興味のある方

住まい

空き家情報

- 空き家情報を紹介している登録事業者(不動産会社)一覧をホームページ等で紹介。

■生活環境課 ☎022-358-0515

子育て

医療費助成

- 入院・通院に掛かる医療費を18歳まで助成(所得制限なし、一部自己負担あり)

■子育て支援課 ☎022-358-0516

出産支援

- 「宮城県不妊に悩む方への特定治療支援事業承認決定」に該当する方に、治療費の一部を助成(上限10万円/1回あたり)

■とみや子育て支援センター「とみここ」☎022-343-5528

相談・交流支援

- 妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援を受けられるよう、ワンストップ拠点「子育て支援センター」を活用し、各種健診や教室、総合的な相談や支援、交流の場の提供を実施

■とみや子育て支援センター「とみここ」☎022-343-5528

就学・教育支援

- 富谷市出身で高等学校、高等専門学校、大学、短期大学、専修学校(専門課程)に在学する学生向けの無利子の奨学金貸付を実施

■学校教育課 ☎022-358-0521

- 第3子以降の小学校入学時に、保護者に対し祝い金3万円を支給

■子育て支援課 ☎022-358-0516

仕事

起業支援

- 富谷市まちづくり産業交流プラザで市民の想いを実現するための新しいスタイルの起業塾「富谷塾」を実施

- (株)日本政策金融公庫の創業支援関係融資に係る利子相当額(上限額10万円)を3年間補助

- 市内の空き店舗等を利用する新規創業者に対して店舗取得費・改装費(初年度のみ)の1/2以内を補助(上限額100万円)〈令和2年4月1日～令和5年3月31日〉

- 市内の空き店舗等を利用する新規創業者に対して店舗等賃貸借料月額の1/2以内(上限額2万円)を36ヶ月補助(令和2年4月1日～令和5年3月31日)

■産業観光課 ☎022-358-0524

その他

外出支援乗車証

- 高齢者や障がいのある方に対して、バス・地下鉄等の運賃を年間2万円分を上限(うち1割は自己負担)に助成する外出支援乗車証を交付。

■長寿福祉課 ☎022-358-0513

■地域福祉課 ☎022-358-3294

タクシーチケット助成

- 重度の障がいや要介護状態にある方に対して、年額1万8千円を上限としてタクシー利用券を助成。

■地域福祉課 ☎022-358-3294

仙台エリア

わたりちょう

亘理町



お問い合わせ

- 亘理町企画課

☎0223-34-0505

〒989-2393 宮城県亘理郡亘理町字悠里1番地

ホームページ <http://www.town.watari.miyagi.jp/>



亘理町暮らしのデータ

- 人口: 33,419人
 - 世帯数: 13,018世帯
 - 保育所の数: 7所
 - 小学校の数: 6校
 - 中学校の数: 4校
 - 一般診療所の数: 27所
- 令和3年12月時点

仙台まで30分! 東北の湘南 わたり

亘理町は、東北の中心都市仙台市から南へ26kmの県南部に位置しています。東に太平洋、西に阿武隈高地、北に阿武隈川と、海・山・川の自然が織りなす風土は、冬暖かく夏涼しい気候と自然の恩恵を受け、四季折々の海・山・里の幸をもたらしてくれます。

海辺の天然温泉「わたり温泉鳥の海」は、神経痛・関節痛・美肌に効果があると評判で、県内外からも多くの方が利用する施設です。令和2年1月6日には役場新庁舎・保健福祉センターが開庁し、笑顔ひろがる交流と未来につづく町民の健康づくりの活動拠点を目指し、子育てに関する機能を充実させました。

動画もチェック!

カモンわたり で検索



〈役場新庁舎・保健福祉センター〉令和2年1月に役場新庁舎・保健福祉センターが開庁しました。



〈元祖はらこめし〉鮭のはらこ(いくら)と切り身、新米を味わう、秋の味覚郷土料理「はらこめし」

生活交通情報

仙台市との距離感

- 電車: 約30分 JR仙台駅～JR亘理駅(JR常磐線)
- 車: 約40分(長町IC(仙台南部道路)～亘理IC(常磐自動車道)～国道6号線)

地域内の移動手段

- 電車: JR常磐線が通っており、町内には逢隈駅・亘理駅・浜吉田駅の3駅がある。
- 車: 常磐自動車道亘理ICまで車で約10分、常磐自動車道鳥の海SICまで車で約5分。
- バス: 町民バス「さざんか号」(1回乗車200円)と「デマンド型乗合タクシー」(1回一般400円、小中学生・75歳以上 200円・未就学児無料)を運行

こんな人にちょうどいい! /

海・山・川の自然を
楽しみたい方

充実した子育て支援・
環境を望む方

温泉が好きな方



空き家情報

●空き家バンクの設置

空き家情報登録制度を設け、町内の空き家について有効活用を図ること、また、移住・定住の促進をより円滑に進めていくための事業です

<https://www.town.watari.miyagi.jp/index.cfm/28,46814,259,html>

■町民生活課 ☎0223-34-1113



医療費助成

●入・通院の医療費について、高校3年生まで自己負担分(保険適用分)を助成
ただし、児童手当に準じた所得制限あり

■子ども未来課 ☎0223-34-1225

出産支援

●県内の医療機関で母子健康手帳別冊の受診票(助成券)を利用すると、14回の妊婦健診(指定検査項目)について健診料を助成

●出産で宮城県外の実家に里帰りしたために、町で交付した妊婦健康診査受診票が使用できず、自費で妊婦健診を受けた方に対して、費用の一部を助成

●定期予防接種を県外の病院で受けられる場合は、事前の申請で、接種費用の一部または全額を還付

●母子健康手帳別冊の受診票を利用すると、町内の指定医療機関で妊娠中に無料で歯科健康診査の受診が可能

●特定不妊治療(体外受精または顕微授精)

を受け、「宮城県不妊に悩む方への特定治療支援事業承認決定」に該当するご夫婦への治療費を一部助成

■健康推進課 ☎0223-34-0524

子育て支援

●18歳未満の子どもの国民健康保険税の均等割額全額減免

巨理町独自施策として、子育てに係る経済的負担を軽減することを目的に国民健康保険税に加入する18歳未満の子どもの国民健康保険税の均等割額(医療分・後期高齢者支援金等分)を全額減免します

■健康推進課 ☎0223-34-0501

●わたりっこ未来応援金

本町に住民登録されている方で、出産した保護者の子育てを応援するため、「わたりっこ未来応援金」を支給します。第1子3万円、第2子5万円、第3子以降10万円を給付。支給対象児童は、令和3年4月2日以降に出生し、出生後から引き続き本町に住民登録している児童。本事業は、令和5年3月31日までの2カ年の事業

■子ども未来課 ☎0223-34-1225

生活支援

●町内の公園について、遊具の種類や施設をイラストで紹介する冊子を配布

●町内に住所のある方に加え、出産(妊娠中)予定・転入予定の方も保育施設への入所を申し込むことが可能

年度内は随時受付を行っていますが、翌年度の入所申込書の受付は10～11月頃
※詳しい申込方法や利用待機児童の状況は子ども未来課へお問い合わせください

●町内の認可保育所等で保育士として働く方で、お客様の保育所入所を希望する方は優遇措置あり(優遇措置を適用しても家庭状況により入所できない場合あり)

対象(すべて該当の方)

✓巨理町に保育士及びお子様の住所がある方(転入予定含む)

✓町内認可保育所等で保育士として1年以上働く(見込の方)(内定含む)

✓勤務時間が実働週5日・1日6時間以上の方

✓町内の保育所に入所希望で、期間内(例年10～11月頃)に入所申込をされた方
※申し込みの詳細は10月頃、町ホームページでお知らせ

※保育士の求人に関する情報は、ハローワークや町ホームページでご確認ください

■子ども未来課 ☎0223-34-1225

相談・交流支援

●メールによる子育て支援情報の配信
「巨理町メール配信サービス(ほっとメール便)」を活用して毎週情報を発信

●子育てに関する情報をまとめた冊子を配布

■子ども未来課 ☎0223-34-1225



起業支援

●新規事業者の発掘・地域商業の振興を図ることを目的とし、起業家等に対し店舗の整備費及び賃借料の一部を助成。※助成要件あり

店舗の整備費の1/2以内(上限80万円)

店舗賃借料の1/2以内(月額上限5万円)

期間は12ヶ月・町内で事業を営んでいる

事業主・商店主に事業資金として中小企業振興資金を融資斡旋。融資額は1,000万円、保証料は全額町補助。融資利息1.9%のうち1%は町が利子補給

■商工観光課 ☎0223-34-0513

就農支援

●農業者の確保・育成することを目的に、町外から本町に住民登録し認定新規就農者となって本町で農業に従事し、居住用として住宅を賃借した者を対象に、月額賃貸料の1/2以内、3万円を上限に最大3年間補助

就漁支援

●漁業者の確保・育成することを目的に、町外から本町に住民登録し県が実施する長期研修を受けた後本町で漁業に従事し、居住用として住宅を賃借した者を対象に、月額賃貸料の1/2以内、3万円を上限に最大3年間補助

■農林水産課 ☎0223-34-0503



山元町



お問い合わせ

●山元町子育て定住推進課

☎0223-36-9835

〒989-2292 宮城県亶理郡山元町浅生原字作田山32

ホームページ <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/>

移住に関するページ <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/kosodate/36.html>

■山元町暮らしのデータ

- 人口: 12,183人
- 世帯数: 4,779世帯
- 保育所の数: 2所
- 小学校の数: 4校
- 中学校の数: 2校
- 病院の数: 1院
- 一般診療所の数: 4所

令和2年2月時点

豊かな自然に恵まれた温暖なまち

山元町は、東京駅から電車で2時間30分、仙台からでも45分の距離にあります。宮城県の東南端に位置し、東に太平洋を望み、西に阿武隈山地が広がる温暖で自然豊かな暮らしやすい土地です。鉄道(常磐線)、高速道路(常磐道)が通り、交通アクセスも便利です。特産のいちご、りんご、ホッキ貝は人気が高く、これらを活用したふれあい産業祭にはたくさんの観光客が訪れ、賑わいを見せます。現在、町では「子育てするなら山元町」を目指し、県内最高水準の住宅取得補助に加え、さまざまな子育て支援策の拡充に取り組んでいます。



〈3大グルメ〉いちご、りんご、ホッキ貝。豊かな大地と海が育んだ三大特産品

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車: 約45分 JR仙台駅～山下駅、約50分 JR仙台駅～坂元駅(JR常磐線)
- ・車: 約25分(長町IC(仙台南部道路)～山元IC(常磐自動車道))、約25分(仙台東IC(仙台東部道路)～山元IC(常磐自動車道))

地域内の移動手段

- ・電車: JR常磐線が通っており、町内には山下駅・坂元駅の2つの駅がある
- ・バス: 町民バス(3路線)を運行している
- ・その他: デマンド型乗合タクシーを運行

／こんな人にちょうどいい!／

子育ての環境を充実させたい方

季節のイベントを楽しみたい方

農業や漁業に関わりた方

住まい

空き家情報

●空き家、空き地の情報をホームページで紹介

■子育て定住推進課 ☎0223-36-9835

子育て

医療費助成

●18歳の年度末まで通院及び入院の自己負担分を助成

●母子・父子家庭は、子どもが18歳までの外来通院及び入院の自己負担分を助成(所得制限や一部負担はあり)

■子育て定住推進課 ☎0223-36-9835

●身体障害者手帳1、2級及び3級(内部障害)または療育手帳A及びB(職親に委託されている方または特別児童扶養手当1級に該当する方または精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方)の通院及び入院の自己負担を助成

■保健福祉課 ☎0223-37-1113

出産支援

●ベビーバス及びベビーベッドの無料レンタル

●出産祝いとして町内店舗で利用できる「出産祝い育児支援チケット」を交付(2千円のチケット12枚)

■子育て定住推進課 ☎0223-36-9835

●不妊治療に係る体外受精及び顕微授精費用の一部を助成

■保健福祉課 ☎0223-37-1113

生活支援

●ベビーマッサージ・ベビーコミュニケーション講座の無料受講

●1歳6ヶ月児健診及び3歳児健診時に絵本、知育ツールをプレゼント

●保育所入所児童の主食(温かいご飯)の提供(完全給食の実施)

●保育所でお昼寝用敷き布団やベッドを準備し、一括して布団の乾燥、消毒を実施

●保育所で使用するタオルを全てペーパータオルに切り替え

■子育て定住推進課 ☎0223-36-9835

相談・交流支援

●子育て拠点施設(子育て支援センター、坂元地区交流センター)における育児相談・子育て関連の講座・親子イベント等の開催(親子がふれあえる機会の提供)

●町の子育て情報をまとめた「やまもと子育てハンドブック」の配布

●ホームページのリニューアル及び子育て情報の発信

■子育て定住推進課 ☎0223-36-9835

就学・教育支援

●第3子以降の小学校入学時に入学祝い金を支給(3万円)

■子育て定住推進課 ☎0223-36-9835



仕事

起業支援

- 創業支援事業計画を策定し、町内で起業・創業する際の相談窓口を設置。商工会・金融機関と連携し、起業・創業を支援
- 商工観光交流課 ☎0223-36-9837

就農支援

- 町が指定する振興作物産地化に向けた種・苗木・生産資材等経費の一部を助成
- 農林水産課 ☎0223-37-1119

就漁支援

- 就漁する際のマッチングを支援
- 農林水産課 ☎0223-37-1119

相談・体験

移住相談窓口

- 子育て定住推進課 ☎0223-36-9835

その他

結婚支援

- 宮城県が開設した「みやぎ結婚支援センター」に入会した町内の独身者の入会登録料(全額)を助成しています。
- 子育て定住推進課 ☎0223-36-9835

仙台エリア

まつしままち 松島町



お問い合わせ

●松島町企画調整課

☎022-354-5702

〒981-0215 宮城県宮城郡松島町高城字帰命院下一番地の1

ホームページ <https://www.town.miyagi-matsushima.lg.jp/>

移住に関するページ <https://www.town.miyagi-matsushima.lg.jp/index.cfm/12.html>

歴史・文化・自然と親しむ暮らしを してみませんか

松島町の風景は、広島県の宮島、京都府の天橋立と並んで日本三景に数えられ、松尾芭蕉も扶桑第一の好風として称えています。また、四季を通じて異なった景観を呈する自然美と、数多くの歴史的・学術的にも価値の高い文化遺産が残され、海沿いは国の特別名勝に指定されています。さらに、瑞巖寺を中心とする寺町の雰囲気になれることができます。

歴史・文化・豊かな自然とともに暮らすライフステージ。松島町は明るい笑顔と温かいおもてなしの心で皆様をお待ちしております。



移住、定住、子育て、Uターン、Iターン、松島、日本三景松島、松島町、松島暮らし、松島ライフ、matsushima で検索

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車：約25分(JR仙台駅～松島駅(東北本線))
約40分(JR仙台駅～松島海岸駅(仙石線))
- ・車：約45分(県道8号仙台松島線)

地域内の
移動手段

- ・電車：東北本線と仙石線の2路線が通っており、町内には7つの駅があります。
- ・バス：町営バス(1回乗車一般200円、小中学生100円、70歳以上無料)を北松島線、北松島線(中廻り)、松島東線、松島西線の4路線を運行しております。
- ・車：三陸自動車道松島海岸ICまで車で約10分です。

＼こんな人にちょうどいい！／

風光明媚な土地で
暮らしたい方

スポーツやアウトドアが
好きな方

歴史文化に
興味がある方



■松島町暮らしのデータ

- 人口：13,491人
- 世帯数：5,708世帯
- 保育所の数：4所
- 小学校の数：3校
- 中学校の数：1校
- 病院の数：1院
- 一般診療所の数：7所

令和4年1月1日時点



〈松島湾〉四季折々の表情を見せる松島湾



〈松島の月〉松尾芭蕉も心ひかれた松島の月



空き家情報

- 町内の空き家となっている家屋や賃貸住宅、宅地として利用できる土地等の情報を提供することにより、住宅、土地などを探している方にそれらの情報を提供し、空き家等の有効活用と地域の活性化を図る

■企画調整課 ☎022-354-5702

住宅取得支援

- 町内に新築住宅、もしくは中古住宅を取得し、町外から転入された方を対象に、住宅取得費の10%で50万円(中古住宅の場合は25万円)を上限として補助金を交付さらに、町内業者を利用し建築等を行った場合は、50万円を加算し、最大100万円(中古住宅は最大75万円)を交付

■企画調整課 ☎022-354-5702



医療費助成

- 出生から18歳に達する日の属する年度末まで、通院・入院費の自己負担分を助成(保険診療分について対象。保険適用外については対象外)

■町民福祉課 福祉班 ☎022-354-5706

子ども均等割額減免(国民健康保険税)

- 国民健康保険加入世帯の18歳未満の子どもにかかる国民健康保険税均等割賦課額を全額減免

■国民健康保険税について
財務課 税務班 ☎022-354-5703

■資格について

町民福祉課 町民サービス班
☎022-354-5705

出産支援

●特定不妊治療助成事業

「宮城県不妊に悩む方への特定治療支援事業実施要綱」の規定により、宮城県知事からの助成の決定を受けた夫婦が特定不妊治療(体外受精又は顕微授精)に要する治療費の一部を助成(治療1回あたり上限15万円とし助成)

●妊産婦健康診査

妊産婦健康診査受診票(助成券)を交付し、14回まで妊婦健診費用、産婦健診費用2回分を助成(多胎の場合は6回追加)。出産のため県外に里帰りし、自費で妊産婦健診を受けた方に対して費用の一部を助成

●産後ケア事業

出産1年未満のお母さんのご自宅に助産師が訪問し、沐浴などの赤ちゃんのお世話や育児相談、お母さんの体調相談に応じ、産後の体調の回復をサポート(利用無料申請が必要で、最大7回まで)

●赤ちゃんほっとサロン

1歳未満の赤ちゃんとお母さんを対象に、赤ちゃんを囲みながらほっと一息つける時間を過ごすサロン、児童館で月に1回開催中。

●新生児聴覚検査事業

新生児聴覚検査の費用を一部助成
上限8,000円で初回検査分の助成

■健康長寿課 健康づくり班

☎022-355-0703

子育て支援

●チャイルドシートの無料レンタル

●留守家庭児童学級

下校後に両親や祖父母が不在で子どもを保育する人がいない家庭の、町立小学校に在籍する1～6年生の児童を各開設場所で開催

●ファミリーサポートセンター事業

「仕事が忙しくて保育所や習い事等へお迎えに行けない」等の事由により、子育ての手伝いを希望する利用会員を子育ての手伝いができる協力会員がサポートする

■町民福祉課 こども支援班

☎022-354-5798

就学支援

- 小学校(町内・町外・特別支援学校を含む)に入学した第3子以降の児童を養育する保護者の方へ入学祝金3万円を支給

■町民福祉課 こども支援班

☎022-354-5798



起業支援

- 町内産業の振興及び地域経済の活性化を図るため、新たに創業を目指す方へ創業を開始するまでの必要な経費の一部を補助金として交付

■産業観光課 産業振興班

☎022-354-5707

相談・体験

移住相談窓口

- 松島町への移住・定住に係る相談を随時受付。

■企画調整課 ☎022-354-5702

その他

通信環境

- 光回線：全域
- ADSL：全域
- ISDN：全域
- CATV：一部



仙台エリア

しちがはままち

七ヶ浜町



お問い合わせ

●七ヶ浜町政策課

☎022-357-2117

〒985-8577 宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5番地1

ホームページ <http://www.shichigahama.com>

■七ヶ浜町暮らしのデータ

■人口: 18,227人

■世帯数: 6,807世帯

■保育所の数: 1所

■小学校の数: 3校

■中学校の数: 2校

■一般診療所の数: 4所

令和4年1月時点

仙台近郊に位置する、 風光明媚な海のまち

七ヶ浜町は宮城県のほぼ中央、仙台市の東に位置し、北は松島湾、東と南は太平洋に面している、東北・北海道の市町村で最も小さな町です。美しい景観を数多く有し、気候も温暖。仙台市中心部から約20kmほどなので、通勤・通学にも快適な環境です。



〈菖蒲田浜〉夏は多くの海水浴客でにぎわいます。



〈多聞山〉松島四大観の1つ「偉観」と称される景観を一望できる多聞山。

🚗 生活交通情報

仙台市
との
距離感

・電車+バス: 約50分 (JR仙台駅～多賀城駅(仙石線) 21分+多賀城駅バス停から町民バス「ぐるりんこ」を利用して、30分)

・車: 仙台駅から約40分 (国道45号線)

地域内の
移動手段

七ヶ浜町内は鉄道が通っておりませんが、隣接する多賀城市・塩竈市の仙石線多賀城駅・下馬駅・本塩釜駅、東北本線国府多賀城駅から、七ヶ浜町に接続する路線バスがあります。生活上、自家用車の必要性は高い地域です。

＼こんな人にちょうどいい！／

海が好きな方

コミュニティを
大切にしたい方

穏やかな気候で
暮らしたい方

🏠 住まい

空き家情報

●空家の情報をホームページ等で紹介

■政策課 ☎022-357-2117

👨‍👩‍👧 子育て

医療費助成

●高校卒業の年度末までの児童の医療費を助成(所得制限あり)

■子ども未来課 ☎022-357-7454

出産支援

●妊婦検診助成等を実施。特定不妊治療費助成(10万円を上限とし、40歳までは6回、40歳以上は3回まで)

■子ども未来課 ☎022-357-7454

育児費用負担軽減

●第3子以降の保育料を一部助成

■子育て支援センター ☎022-362-7731

子育て支援

●第3子以降の児童について小学校入学祝金を支給

■子ども未来課 ☎022-357-7454

就学・教育支援

●経済的理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、給食費等の就学費用の一部を支給

■教育総務課 ☎022-357-7440

利府町



お問い合わせ

●利府町商工観光課

☎022-767-2120

〒981-0112 宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地

ホームページ <http://www.town.rifu.miyagi.jp/>

移住に関するページ <https://www.town.rifu.miyagi.jp/gyosei/soshikikarasagasu/syokoukankou/citysales/4467.html>

『家族の暮らしにちょうどいいまち』

利府町は、子育て支援が充実。18歳までの医療費助成や小中学生の運動着支給のほか、小・中・高・地域が連携した「志」教育など独自のサービスも多数。また、グランディ・21や加瀬沼公園などの自然豊かな公園、大型ショッピングモール、病院なども充実しています。楽天イーグルスの2軍本拠地としてスポーツも盛んで、「杜の都」仙台、「日本三景」松島、「港町」塩竈などに「気軽にふらっと」足を運べる好立地。宮城県の中央に位置しており他の市町村への通勤、通学にも便利。『家族の暮らしにちょうどいいまち』です。

さらに、起業・市民活動・交流の拠点となる「tsumiki」を中心に、ワクワクするまちづくりを積極的に進めています。



youtube rifu tsumiki で検索

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車：約17分（JR仙台駅～利府駅（東北本線））
- ・車：仙台市役所から約40分（県道8号線（松島方面へ））、約30分（仙台宮城IC（東北自動車道）～利府塩釜IC（三陸自動車道））

地域内の
移動手段

- ・電車：東北本線、仙石線が通っており、町内には3つの駅がある。
- ・バス：路線バスに加え、町民バスが運行している。
- ・車：町内には、利府塩釜IC・松島海岸IC・利府中IC（三陸自動車道）、利府しらかし台IC（仙台北部道路）の4つのICがあり、それぞれ町の中心部から最大で約15分

こんな人にちょうどいい! /

充実した子育て支援・
教育環境を望む方

適度な自然・買い物・
医療環境を望む方

暮らしやすさ+ワクワク感
の住環境を望む方

利府町暮らしのデータ

- 人口：36,079人
 - 世帯数：13,857世帯
 - 保育所の数：14所
 - 小学校の数：6校
 - 中学校の数：3校
 - 病院の数：2院
 - 一般診療所の数：15所
- 令和4年1月時点



〈グランディ・21〉アスレチックや大きなすべり台は子どもに大人気。コンサートやスポーツイベントも多数開催



〈tsumiki〉おいしいパンや焼き菓子、かわいい雑貨が集まるマルシェも定期的開催

子育て

医療費助成

- 18歳まで助成。所得制限なし。
- 子ども支援課 ☎022-767-2193

出産支援

- 出生祝いとして、世界にたったひとつだけの絵本「ウィッシングブック」を贈呈。
- 子ども支援課 ☎022-767-2193
- 妊婦健康診査受診を14回分助成
多胎妊娠への追加助成、県外での里帰り出産にも対応
- 子ども家庭センター ☎022-356-6711

子育て支援

- ベビーベッドとベビーバスを無料で貸出。
- 子ども家庭センター ☎022-356-6711

育児費用負担軽減

- 第3子以降の給食費の助成（3歳、4歳、5歳の園児）。保育所、幼稚園、認定こども園、認可外保育施設すべて対象で、所得制限なし。
- 子ども支援課 ☎022-767-2196

相談・交流支援

- 0歳から18歳までの子どもとその家族、妊婦の相談場所。
- 子ども家庭センター ☎022-356-6711

就学・教育支援

- 「志教育」により、小・中・高校が連携し、町内児童・生徒のつながりを深める「ブラザーシップ」や、地域が一丸となって教育を支え

合う「コミュニティシップ」を推進しています。

■生涯学習課 ☎022-767-2125

●小・中学校入学時に、運動着を無料で支給

■教育総務課 ☎022-767-2124



起業支援

- 利府町まち・ひと・しごと創造ステーション「tsumiki」で、起業セミナーや起業相談、チャレンジマーケット等を実施
- 商工観光課 ☎022-767-2120
- tsumiki ☎022-766-9231
- 「利府町創業支援事業計画」に基づく各種支援を実施
- 商工観光課 ☎022-767-2120

その他

結婚支援

- 各種婚活情報を広報するとともに、婚活イベントも実施予定
- 秘書政策課 ☎022-767-2115

地域おこし協力隊

- 利府町の観光プロモーターとして、SNSによる利府町の観光地や魅力の発信、利府町のPR動画の作成。
- 特産品「利府梨」の栽培技術を習得し、梨農家の一員として栽培から販売までを実践。SNSによる地域の魅力発信や地域づくりの支援活動も行います。
- 商工観光課 ☎022-767-2120
- 農林水産課 ☎022-767-2191

たいわちょう
大和町



■大和町暮らしのデータ

- 人口: 28,152人
 - 世帯数: 12,072世帯
 - 保育所の数: 5所
 - 小学校の数: 6校
 - 中学校の数: 2校
 - 病院の数: 1院
 - 一般診療所の数: 9所
- 令和4年1月現在



お問い合わせ

●大和町まちづくり政策課

☎022-345-1115

〒981-3680 宮城県黒川郡大和町吉岡まほろば一丁目1番地の1

ホームページ <https://www.town.taiwa.miyagi.jp>

移住に関するページ <https://www.town.taiwa.miyagi.jp/site/taiwaijyuu/>

豊かな自然と共生する
みやぎの中核都市・大和

大和町は、宮城県のほぼ中央、仙台市に隣接し、町のシンボル七ツ森や船形山の自然や宮床伊達家などの歴史を持つ豊かな町です。また、町の工業団地には先端技術産業や自動車関連企業などが多数進出しており、宮城県黒川高等学校のほか、看護学群や事業構想学群という全国的にも珍しい学群を設置した公立宮城大学もあります。現在、町では「みんなが誇りと愛着を持って住み続けられるまちの実現」を基本理念にまちづくりを進めています。



動画もチェック!

たいわ動画ライブラリー

で検索



〈町のシンボル七ツ森〉町を象徴する7つの山々



〈島田貽まつり〉毎年12月14日は、縁結びのお祭りで賑わいます

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車+バス: 60分(仙台市営地下鉄南北線(20分): 仙台駅~泉中央駅+路線バス(40分): 泉中央駅~大和町バスターミナル)
- ・バス: 約40分(仙台駅~大和町バスターミナル(高速バス))
- ・車: 約35分(仙台宮城IC~大和IC(東北自動車道))、約45分(国道4号)

地域内の
移動手段

- ・バス: 路線バス、仙台・東京行き高速バスに加え、住民バス(1回乗車200円)を運行している。
- ・車: 大和町役場から東北自動車道の大和ICまで車で約5分
- ・その他: デマンド型乗合タクシーを運行。

／こんな人にちょうどいい!／

仙台都市圏で
仕事したい方

あんしんして
子育てをしたい方

自然豊かな環境で
生活をしたい方

住まい

空き家情報

●空き家・空き店舗の情報をホームページで紹介

■まちづくり政策課 ☎022-345-1115

住宅取得支援

●子育て世帯等移住・定住応援事業: 町内の対象地区への転入・転居者を対象に住宅取得やリフォーム費用の10%と、子育て加算等の合計額(上限150万円)を補助

■まちづくり政策課 ☎022-345-1115

リフォーム支援

●三世代同居応援事業: 町内で新たに三世代同居を始める世帯を対象に、引越し費用やリフォーム費用を補助(最大50万円)

■まちづくり政策課 ☎022-345-1115

子育て

医療費助成

●18歳までの入院・通院に係る医療費の自己負担額を助成(所得制限なし)

■子育て支援課 ☎022-345-7503

出産支援

●第3子以降育児応援祝金: 出生祝金(10万円)

■子育て支援課 ☎022-345-7503

●妊婦健康診査費用の14回分を助成(多胎の場合、追加6回(最大20回))

■健康支援課 ☎022-345-4857

●出産祝い品贈呈事業: 大和町でお誕生されたお子さんに絵本をプレゼント

■健康支援課 ☎022-345-4857

●児童支援センター: 自由来館による遊び場の提供、親子のふれあいイベントの開催、子育てに関する相談や情報の提供

●子育て情報誌「ぽっかぽか」による情報の発信

■子育て支援課 ☎022-345-7503

●子育て支援住宅: 小学生以下の子育て世帯を対象に、低家賃の賃貸住宅を整備

■都市建設課 ☎022-345-7502

就学・教育支援

●高等学校等通学応援事業: 大和町の自宅から高等学校等までの通学定期券購入費用の一部を助成(上限1万円/月)

■まちづくり政策課 ☎022-345-1115

●第3子以降育児応援祝金: 小・中学校入学祝金(5万円うち2万5千円は地元商品券)

■子育て支援課 ☎022-345-7503

仕事

起業支援

●空き店舗活用支援事業: 町内の空き店舗等を利用して創業・開業する個人・商店街団体等に対して、店舗取得費、改修費や賃貸費の一部を補助します。

■商工観光課 ☎022-345-1184

その他

結婚支援

●黒川地区結婚相談所: 黒川地区内に住まいの方、お勤めの方、またそのご家族の方が対象。(登録・利用無料)

■総務課 ☎022-345-1112

おおさとちょう

大郷町



お問い合わせ

●大郷町復興定住推進課

☎022-341-3061

〒981-3592 宮城県黒川郡大郷町粕川字西長崎5番地の8

ホームページ <https://www.town.miyagi-osato.lg.jp/>

E-mail fukkou@town.miyagi-osato.lg.jp



■大郷町暮らしのデータ

■人口:7,818人

■世帯数:2,856世帯

■こども園の数:1所

■小学校の数:1校

■中学校の数:1校

■一般診療所の数:1所

令和4年1月末時点

未来を創り 育てるまち おおさと

大郷町は、仙台市の近郊にあり宮城県のほぼ中央に位置する、自然環境に恵まれた豊饒の地です。宮城県の中心に位置することから、仙台市はもちろんのこと、県内どこに移動するのも便利です。気候は、温暖で積雪も少なく、住みよい空間が広がっています。大郷町は、恵まれた自然環境を生かしながら、心豊かで持続的に発展するまちづくりに取り組んでいます。



〈築館公園からの眺め〉季節の移り変わりを実感できる、自然豊かな環境。

📺 動画もチェック!

大郷町復興定住推進課 YouTube で検索

🚗 生活交通情報

仙台市との距離感

・車:約40分(県道9号~大和IC~泉IC(東北自動車道)~県道22号線)

地域内の移動手段

・バス:住民バス(1回/最大300円)を運行している。

・車:東北自動車道の和利ICまで車で約15分。三陸自動車道の松島大郷ICまで車で約10分。

＼こんな人にちょうどいい!／

マイホームを持ちたい方

豊かな自然の中で暮らしたい方

旅行が好きな方



住まい

空き家情報

●空き地・空き家の情報をホームページ等で紹介

■復興定住推進課 ☎022-341-3061

住宅取得支援

●住宅取得支援事業補助金：町指定民間分譲地を取得し新築住宅を建築または建売住宅を購入した方で、配偶者との年齢の合計が90歳以下または18歳未満(高校生以下)の子どもを扶養している方を対象に補助(上限60万円)

●若者・子育て世代定住促進住宅取得支援奨励金：新築住宅を建築または建売住宅を購入した方で、配偶者との年齢の合計が90歳以下または15歳未満(中学生以下)の子どもを扶養している方の家屋及び土地の固定資産税相当額(上限25万円)を5年間補助(また、その間に新たに扶養する子が誕生した場合、その翌年度から更に5年間延長)

●フラット35子育て支援型との協定により、住宅取得支援事業補助金に該当する方で、18歳未満(高校生以下)の子どもを扶養している45歳未満の方が住宅金融支援機構と連携している金融機関から借入れるとき、借入金利を基準金利から5年間0.25%引き下げる

■復興定住推進課 ☎022-341-3061

リフォーム支援

●空き家を含めた住宅リフォーム費用の1/5を補助(上限10万円)

(※18歳未満(高校生以下)の扶養親族がいる方は上限30万円)

●町外から移住される方が、空き家バンクに登録されている空き家等を購入、または賃借して実施したリフォーム費用の1/5を補助(上限50万円)

■復興定住推進課 ☎022-341-3061



子育て

医療費助成

●すこやか子育て医療費助成として、0~18歳まで無料(その他、母子・父子家庭及び心身障害者に対する助成制度あり)

■町民課 ☎022-359-5504

出産支援

●出産祝い金として、第1子1万円、第2子2万円、第3子3万円、第4子以降5万円

■町民課こども健康室 ☎022-359-3030

育児費用負担軽減

●育児用品引換券を満1歳の誕生月まで月額3千円上限として配布

■町民課こども健康室 ☎022-359-3030

●子どもインフルエンザ予防接種費用を生後6ヶ月から18歳まで全額助成(13歳未満は2回、13歳以上は1回)

■町民課こども健康室 ☎022-359-3030

就学・教育支援

- 経済的理由から、小・中学校に通うお子さんの学用品の支払いにお困りのご家庭に対して、就学費用の一部を援助
- 町立小・中学校に通学している児童・生徒を対象に給食費を無償化
- 小・中学校の新入学生に対し、運動着を支給(子1人につき上限2万円)
- 学校教育課 ☎022-359-5514

その他

結婚支援

- 婚活イベントや結婚相談サービスを利用する方に対し参加経費の一部を助成(申請1回あたり上限3千円)
- まちづくり政策課 ☎022-359-5537



仙台エリア

おおひらむら 大衡村



お問い合わせ

●大衡村企画財政課

☎022-341-8510

〒981-3692 宮城県黒川郡大衡村大衡字平林62

ホームページ <http://www.village.ohira.miyagi.jp/>



■大衡村暮らしのデータ

- 人口: 5,754人
- 世帯数: 2,106世帯
- 保育所の数: 3所
- 小学校の数: 1校
- 中学校の数: 1校
- 一般診療所の数: 1所

令和4年1月末時点

みんなで支え笑顔で暮らせる まちづくり

宮城県のほぼ中央に位置する大衡村は、四季折々に多彩な姿を見せる山々や「昭和万葉の森」、「達居森」に代表される豊かな自然環境に恵まれ、明治22年の村制施行以来、先人たちが脈々と築いてきた歴史を礎に、新たな時代を迎えようとしています。

近年では自動車関連産業を中心とする多くの企業進出が目ざましく、村の産業のさらなる飛躍が期待されています。



〈四季彩苑〉四季折々の草花を楽しめます。



〈わんぱくランド〉休日には多くの親子連れで大いに賑わいます。

生活交通情報

仙台市
との
距離感

バス: 約50分 (JR仙台駅～大衡村役場前 (高速バス 仙台大衡線))
車: 約50分 (JR仙台駅～大衡村役場)

地域内の
移動手段

住民バスや、デマンド型交通を運行しています。日常生活では、自家用車の必要性が高い地域です。

＼こんな人にちょうどいい！／

子育て中の方

農業を始めたい方

マイホームを
持ちたい方



空き家情報

- 空き家等の情報をホームページ等で紹介
- 企画財政課 ☎022-341-8510

住宅取得支援

- 定住人口の増加を目指し、新規転入する若者世帯及び、新たに三世代で同居をする世帯が取得する住宅に対し、最大150万円の補助金を交付
- 都市建設課 ☎022-341-8515
- 太陽光発電システム設置等に係る費用について太陽光発電設備出力1kwあたり5万円(上限17.5万円)の補助金を交付
- 定置用リチウムイオン電池設備購入及び工事費の1/10(上限10万円)
- HEMS(ホームエネルギー管理システム)設備購入及び工事費の1/5(上限2万円)
- 住民生活課 ☎022-341-8512



医療費助成

- 出生から18歳の年度末まで、入・通院費の自己負担分を全額助成
- 住民生活課 ☎022-341-8512

出産支援

- 妊婦へ5万円の子育て支援券を交付し、タクシー利用料及び育児用品(紙おむつ・粉ミルク)の購入を助成
- 出産祝い金5万円を支給
- 健康福祉課 ☎022-345-0253

就学・教育支援

- 学校給食費全額無償
- 学校給食センター ☎022-345-5082
- 小学校、中学校入学時にそれぞれ3万円支給
- 健康福祉課 ☎022-345-0253

その他

結婚支援

- 黒川地区後継者対策推進協議会で結婚相談所、婚活イベントを開催
- 産業振興課 ☎022-341-8514

車購入補助

- 村内に本社を置く企業が生産した自動車を購入した方に対し、補助金を1台当たり最大5万円交付
- 産業振興課 ☎022-341-8514
- クリーンエネルギーカーを購入された方に対して1台当たり補助金を交付
 - 水素自動車…30万円
 - 電気自動車…6万円
 - プラグインハイブリット…5万円
 - 電気式ミニカー…3万円
- 住民生活課 ☎022-341-8512

県南エリア

しろいしし

白石市



お問い合わせ

- 白石市市民経済部まちづくり推進課

☎0224-22-1327

〒989-0292 宮城県白石市大手町1番1号

ホームページ <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/>

移住に関するページ <http://109-one.com/>

人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいし

白石市は、西に蔵王連峰を望み、東は阿武隈山系に囲まれ、清流「白石川」が流れる豊かな自然と清らかな水に恵まれた城下町です。市の中心部には忠実に復元されたシンボル「白石城」があり、歴史や自然に恵まれた四季折々のイベントを開催しています。また、平成30年にオープンした白石市移住交流サポートセンター「109-one(トークワン)」では、ライフスタイルに合わせた移住相談や地域の人との交流を行っています。

動画もチェック!

白石市 移住 ライフ で検索

生活交通情報

仙台市との距離感

- 電車: 約15分(JR仙台駅~白石蔵王駅(新幹線))、在来線約50分(JR仙台駅~白石駅(東北本線))
- 車: 約45分(仙台宮城IC~白石IC(東北自動車道)~国道4号)

地域内の移動手段

- 東北新幹線「白石蔵王駅」がある。
- 電車: 在来線(東北本線)が通り、市内に4つの駅がある。
- バス: 市民バス(1回乗車200円)のほか、路線バス(白石遠刈田線)と七ヶ宿町営バスも利用可能
- 車: 東北自動車道の白石ICまで中心部から約10分

こんな人にちょうどいい!

交通アクセスが
気になる方

充実した子育て
環境を求めている方

温泉や景勝地など
自然豊かな場所を
探している方

白石市暮らしのデータ

- 人口: 32,473人
 - 世帯数: 14,169世帯
 - 保育所の数: 9所
 - 小学校の数: 9校
 - 中学校の数: 4校
 - 病院の数: 3院
 - 一般診療所の数: 25所
- 令和4年1月時点



〈鬼小十郎まつり〉片倉小十郎重長の大坂夏の陣における活躍と歴史秘話を再現



〈市内散策〉歴史と清流のまちなみ散策



空き家情報

- 空き家バンクに登録された物件をホームページにて紹介
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327

住宅取得支援

- 白石市に転入して新築住宅もしくは中古住宅を取得した方へ30万円を補助（市内の建設関連業者を利用した場合は20万円を上乗せ）
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327
- 白石市子育て応援住宅を退去後、3年以内に、市内に住宅を取得し定住した場合、家賃の30%を入居月数分補助
- 建設課 ☎0224-22-1326

家賃補助

- 民間賃貸住宅に居住する新婚家庭に家賃の一部(月額5,000円、24か月)を補助
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327



医療費助成

- 中学3年生まで保険診療による自己負担なし
- 健康推進課 ☎0224-22-1362

出産支援

- 誕生祝い金10,000円(第3子以降20,000円)
- すくすくベビー券(育児用品助成)4,000円
- 子ども家庭課 ☎0224-22-1363

- 母子健康手帳交付時に下記の健診助成券を交付
 - ・妊婦健康診査受診票(助成券)：最大14回分(多胎妊娠は21回分)の妊婦健康診査費用を助成
 - ・妊婦歯科健康診査受診票：妊娠中の歯科健康診査費用(1回分)を助成
 - ・産婦健康診査受診票(助成券)：産後2週間時と産後1か月時に受けられる産婦の健康診査費用を助成
- 特定不妊治療助成費は、県の助成を受けた特定不妊治療に対して1回あたり最大10万円を助成。(県の助成を受けた男性不妊治療に対しても1回あたり最大10万円を追加で助成)
- 健康推進課 ☎0224-22-1362

育児費用負担軽減

- 義務教育終了前の子どもがいる家庭に住宅を提供(3DK・家賃30,500円～)
- 建設課 ☎0224-22-1326

- 第3子以降保育料無料(要件あり)
- 子ども家庭課 ☎0224-22-1363

生活支援

- 保護者の方の入院や通院、学校行事への参加、また、育児疲れによる負担軽減などのため一時的に保育が必要なときにお子さんをお預かりします。
- 共働きなどにより放課後に保護者がいない家庭のための放課後児童クラブを実施
- 子ども家庭課 ☎0224-22-1363

相談・交流支援

- 子育て情報誌“子育てホッとマップ”の配布
- 相談者へ寄り添い、子育て施設や窓口を紹介する子育て支援コーディネーターによる相談受付
- 子ども家庭課 ☎0224-22-1363

就学・教育支援

- 遠距離通学をする小・中学生の保護者を対象に以下の金額を補助(小学生4km以上、中学生6km以上。その他要件あり)
 - ・交通機関利用の場合→1/2×通学日数
 - ・交通機関利用以外の場合→小学生5,400円／年、中学生9,600円／年
- 学校管理課 ☎0224-22-1342

- 小学校入学祝い金(第3子以降)
- 子ども家庭課 ☎0224-22-1363



起業支援

- 空き店舗等を改装して起業する際の補助(補助率1/3、上限50万円)
- 創業支援ワンストップ窓口の設置
- 商工観光課 ☎0224-22-1321

相談・体験

移住相談窓口

- 移住定住に関する相談窓口「白石市移住交流サポートセンター109-one(トークワン)」を開設。移住コーディネーターが相談者にあった住まいや暮らしに関する情報提供および支援を行う。
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327

お試し住宅

- 「白石市移住交流サポートセンター109-one」に併設された中心市街地エリアと、山間エリアに一棟ずつお試し住宅を設置。移住相談を含め、2泊3日から9泊10日まで利用することができる。
 - ・利用料：無料(利用するにあたり条件あり)
 - ・利用回数：2回まで
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327

かくだし
角田市



■角田市暮らしのデータ

- 人口: 27,703人
 - 世帯数: 11,439世帯
 - 保育所の数: 4所
 - 小学校の数: 7校
 - 中学校の数: 3校
 - 病院の数: 3院
 - 一般診療所の数: 11所
- 令和4年1月時点



お問い合わせ

●角田市総務部まちづくり政策課

☎0224-63-2112

〒981-1592 宮城県角田市角田字大坊41

ホームページ <https://www.city.kakuda.lg.jp/>

移住に関するページ <https://www.city.kakuda.lg.jp/life/sub/10/28/146/>

市民力咲き誇る。角田市✳
～安心して、いきいきと、誇らしく暮らせるまち～

角田市は、宮城県の南部に位置し、豊かな田園風景が広がる比較的温暖な気候の土地です。主に製造業と農業が盛んで、県南随一の穀倉地帯として知られており、米や大豆の生産、梅や野菜、果樹などの栽培も盛んです。1年を通して地域資源を生かした「梅まつり」や「ずんだまつり」、「宇宙っ子まつり」などさまざまなイベントが開催されています。大型ショッピングモールや海や山でのレジャー、温泉など、車で1時間以内の場所にあり、休日にもアクティブに過ごすことができます。

📺 動画もチェック!

角田市公式 YouTube で検索

📱 SNSもチェック!

おふでちゃん で検索



〈H-IIロケット実物大模型〉台山公園にある日本で唯一のH-IIロケット実物大模型



〈食の3め(米・豆・梅)〉安心、安全の美味しい角田産の米・豆・梅

🚗 生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車: 約50分 (JR仙台駅～槻木駅 (JR東北本線)～角田駅 (阿武隈急行線))
- ・バス: 約50分 (仙台駅東口、東北大学病院前～角田金上病院前、道の駅かくだ (高速バス))
- ・車: 約45分 (仙台東IC～山元IC (常磐自動車道)～県道272号線)

地域内の移動手段

- ・電車: 阿武隈急行線が通っており、市内には4つの駅がある。
- ・車: 常磐自動車道の山元ICまで車で約15分
- ・市内はデマンド型乗合タクシーを運行していますが、生活上、自家用車の必要性が高い地域です。

／こんな人にちょうどいい!／

宇宙・ロケットが好きな方

スポーツ・ウォーキング・体を動かすことが好きな方

田舎暮らし初心者の方～田舎過ぎず都会過ぎず～

🏠 住まい

空き家情報

●空き家の情報をホームページ等で紹介

■まちづくり政策課 ☎0224-63-2112

住宅取得支援・家賃補助

●結婚に伴う経済的負担を軽減するため、婚姻時における年齢が夫婦とも39歳以下の新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト(住宅の取得費用、新居の家賃、引越し費用等)を支援している

■まちづくり政策課 ☎0224-63-2112

👨👩👧 子育て

医療費助成

●通院・入院とも18歳となる年度の年度末まで無料

■子育て支援課 ☎0224-63-0134

出産支援

●出産祝金(子1人につき2万円)
不妊治療費補助(治療内容により1回5万円又は10万円を上限)

■子育て支援課 ☎0224-63-0134

育児費用負担軽減

●小学校入学祝子育て応援券支給事業
市内に住んでいる第3子以降の子が小学校へ入学する保護者へ商品券を一人につき3万円支給する

■子育て支援課 ☎0224-63-0134

相談・交流支援

●子育て支援センターまめっこ(角田児童センター内)にて育児相談、親子の遊び場、子育て講座などを行っている

■子育て支援センター ☎0224-62-4360

●小学校入学前のお子さんとその保護者を対象に、楽しく子育てするコツなどを講師の先生から学びながら、ふれあい遊びや工作を通した参加者同士の交流を図ることを目的とした子育て応援事業「ふあみふあみ」を実施している

■生涯学習課 ☎0224-63-2221

●元気な子どもの育成を目指し、乳幼児期に親子で楽しく体を動かす「運動あそび」の体験会や講座を、乳幼児健診や子育て支援センター等で年間を通して実施している。また、保育所、幼稚園、認定こども園等と連携して、集団での「運動あそび」の出前講座も行っている【かくだ版アクティブ・チャイルド・プログラム】

■生涯学習課 ☎0224-63-2221

生活支援

●保護者の就労などにより放課後に家庭で過ごすことが難しい児童(小学校6年生まで)をお預かりする放課後児童クラブを実施

■子育て支援課 ☎0224-63-0134

●中学3年生のインフルエンザの予防接種料金を一部負担

■健康長寿課 ☎0224-63-1192

就学支援

- 不登校児童生徒の学習支援を行う「子どもの心のケアハウス」を設置
 - 経済的な理由により、小・中学校への就学が困難な児童生徒の保護者に対し、給食費、学用品費、入学準備費、校外活動費、修学旅行費等の一部を支給
 - 修学の意味があるにもかかわらず、経済的理由により就学が困難な方に対し、奨学金貸与事業を行っています。(高校生・大学生・専門学校生)
- 教育総務課 ☎0224-63-0130

その他

結婚支援

- 結婚に伴う経済的負担を軽減するため、婚姻時における年齢が夫婦とも39歳以下の新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト(住宅の取得費用、新居の家賃、引越し費用等)を支援する。
- まちづくり政策課 ☎0224-63-2112

交流事業

- 姉妹都市である福島県石川町、北海道栗山町、アメリカ国グリーンフィールド市、友好都市である東京都目黒区、銀河連邦共和国との交流事業が盛んです
- まちづくり政策課 ☎0224-63-2112



阿武隈急行線運賃助成

- 学校行事や子ども会行事、スポーツ少年団の活動で利用する場合：全額助成
 - 市内にお住まいの方、市内の企業、学校に通勤・通学されている方が2名以上で同じ行程で利用する場合：半額助成
- まちづくり政策課 ☎0224-63-2112

デマンド型乗合タクシー

- 市内を4つの運行エリアに分けデマンド型乗合タクシーを運行しています。各地域から中心市街地への通院やお買い物に事前に予約して自由に乗り降りできます
- ご利用料金1回乗車 400円(特別運行200円)

県南エリア

さ お う ま ち
蔵王町



お問い合わせ

●蔵王町まちづくり推進課

☎0224-33-2212

〒989-0892 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦北10

ホームページ <https://www.town.zao.miyagi.jp/>

移住に関するページ <https://zao-iju.jp/>

美しい蔵王連峰の山麓

仙台から車で1時間。蔵王連峰の裾野に広がる蔵王町は、有名な「御釜」をはじめ、四季折々の自然が豊かな町。大地のパワーが湧き出る豊富な温泉や、爽やかな高原の空気、水に育まれた新鮮な食材を使ったこだわりグルメ、歴史の面影を偲ばせる名所旧跡など、あらゆる魅力でいっぱいです。

思い立ったらふらっとさおうへ!心の深呼吸しに来ませんか。

動画もチェック!

youtube 蔵王町Miyagi Zao

で検索

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車:約40分(JR仙台駅～東白石駅(東北本線))
- ・バス:約60分(JR仙台駅～町内停留所5カ所(高速バス))
- ・車:約40分(仙台宮城IC～村田IC(東北自動車道)～県道岩沼蔵王線)

地域内の
移動手段

- ・バス:民間事業者が路線バスを運行している。
- ・車:東北自動車道村田IC、白石ICまで車で約10分
- ・その他:路線バスが運行していない地域で循環型乗合タクシーを運行。

こんな人にちょうどいい!

温泉が好きな方

アウトドアスポーツを
楽しみたい方

自然に囲まれて
暮らしたい方



蔵王町暮らしのデータ

- 人口:11,465人
 - 世帯数:4,519世帯
 - 保育所等の数:5所*
 - 小学校の数:5校
 - 中学校の数:3校
 - 病院の数:1院
 - 一般診療所の数:6所
- *保育所2所(0～2歳) 令和4年1月末時点
幼稚園3所(3～5歳)



〈御釜〉蔵王連峰の象徴「御釜」



〈蔵王の美味しい「梨」〉宮城県内一の生産量を誇る「梨」。直売所でもぎたてを召し上がれ!



住宅取得支援

- 定住促進事業補助金：移住・定住を目的に住宅を取得(新築、建売、中古)した人に、基本額30万円に子育て世帯や町内建築事業者による新築、改修への加算等の合計額(上限80万円)の補助金を交付
- まちづくり推進課 ☎0224-33-2212



医療費助成

- 18歳まで保険診療分を全額助成(所得制限なし)
- 町民税務課 ☎0224-33-3001

出産支援

- 14回分の妊婦健康診査にかかる費用を助成(多胎妊娠の方は、14回分の他に6回分の助成を追加交付)
- 保健福祉課 ☎0224-33-2003
- お子さんの出生に第1子目から助成金を支給します。(町内に住所を有している間に生まれた子の人数が1人、2人の時5万円、3人以上の時45万円)
- 子育て支援課 ☎0224-33-2122

育児費用負担軽減

- 町で出生したお子さんを養育している保護者に対し、育児用品の購入費用50,000円分を助成
- インフルエンザワクチン接種、中学3年生無料。6ヶ月児～中学2年生は、1回につき1千円の自己負担で接種可
- おたふくかぜワクチン、ロタウイルスワクチン接種、1回につき1千円の自己負担で接種可
- 子育て支援課 ☎0224-33-2122

生活支援

- 町立幼稚園で3年保育(3歳から5歳)、預かり保育実施(給食あり)
預かり保育時間：午前7時30分から午前8時30分、午後1時から午後6時30分
- 教育総務課 ☎0224-33-3008
- 町立保育所で0歳児《生後6カ月》から2歳児を受け入れ、延長保育実施
延長保育時間：午前7時30分から午前8時30分、午後4時30分から午後6時30分
- 子育て支援課 ☎0224-33-2122

相談・交流支援

- 子育て支援センターでは、親子で自由にあそべるスペースがあり、年齢別クラス、子育て講習会のほか各種育児講座を行っています。育児相談も随時受け付けています。
- 子育て支援課 ☎0224-33-2122

就学・教育支援

- 小・中学校の完全給食実施
- 町育英会による奨学金を貸付
- 教育総務課 ☎0224-33-3008



起業支援

- 企業奨励金の交付(新設・増設等を行った企業に対して奨励金を交付)
- まちづくり推進課 ☎0224-33-2212

就農支援

- 次世代を担う農業者となることを希望する方に対して、投資資金を補助(諸条件あり)
- 農林観光課 ☎0224-33-3004

相談・体験

移住相談

- 住まい・生活・仕事など何でも相談に応じます。相談員は蔵王町に移住した先輩方です。
- 蔵王移住相談室 ☎0224-26-6115

その他

結婚支援

- 年2回婚活イベントを行い、これまでイベントで出会った8組のカップルが結婚しています。
- 子育て支援課 ☎0224-33-2122



七ヶ宿町



お問い合わせ

●七ヶ宿町ふるさと振興課

☎0224-37-2194

〒989-0592 宮城県刈田郡七ヶ宿町字関126

ホームページ <https://town.shichikashuku.miyagi.jp/>

移住に関するページ <https://town.shichikashuku.miyagi.jp/its/>

豊かさと幸せを実感できる 住み心地100点のまち

七ヶ宿町は、宮城県南の西端に位置する自然豊かな町で、宮城県民193万人の命の水となる七ヶ宿ダムを擁する水源の町でもあります。春は水芭蕉、夏は新緑、秋は紅葉、冬は白銀と四季折々の表情に癒されます。JRの駅や高速道のICまで約30分と交通アクセスも便利。そば街道やスキー場に多くの観光客が訪れます。現在、保育料および学校給食の無料化、高校生までの医療費の無料化等の子育て支援事業や住民健診の充実化等の健康推進事業を実施し、乳児から高齢者まで全ての世代が安心して暮らせる「住み心地100点」のまちづくりをすすめています。

📺 動画もチェック!

七ヶ宿町移住定住 で検索

■七ヶ宿町暮らしのデータ

■人口:1,281人

■世帯数:620世帯

■保育所の数:1所

■小学校の数:1校

■中学校の数:1校

■一般診療所の数:1所

令和4年1月時点



〈のびのび子育て応援の町〉保育料無料、学校給食費無料。



〈わらじで歩こう七ヶ宿〉毎年8月の末に行われ600人の参加者で賑わう最大のイベントです。

住まい

空き家情報

●空き家の情報を、町ホームページ「七ヶ宿定住のススメ」で紹介

■農林建設課 ☎0224-37-2115

住宅取得支援

●地域担い手づくり支援住宅

40歳までのご夫婦で中学生以下のお子さんがいる世帯対象で、地域の活動に積極的に参加してくれる方向け住宅、住んで20年後に家と土地を無償提供

※募集期間あり。申請後、面接を行い決定
月35,000円+敷金105,000円

●町内に住宅を新築または二世帯住宅への改修などで、最大300万円を助成

■農林建設課 ☎0224-37-2115

リフォーム支援

●空き家のリフォームやバリアフリー化、電気給湯器設置などで、最大100万円を助成

■農林建設課 ☎0224-37-2115

家賃補助

●町内の民間賃貸住宅に入居されている方に、月最大25,000円を助成

■町民税務課 ☎0224-37-2114

住宅関連負担軽減

●定住促進宅地

40歳までのご夫婦で中学生以下のお子さんがいる世帯対象で、町有地を貸付け、期間内に住宅を建て居住した後、土地を無償譲渡

■ふるさと振興課 ☎0224-37-2194

子育て

医療費助成

●高校3年生まで無料

■町民税務課 ☎0224-37-2114

出産支援

●妊婦健診費用・交通費助成制度

■健康福祉課 ☎0224-37-2331

育児費用負担軽減

●子育て支援金制度

出生、小・中・高校入学時に支給
第1子総額30万円 第2子総額50万円
第3子以降総額70万円を支給

※七ヶ宿町在住1年以上の方対象

※出生時に七ヶ宿町在住6ヶ月～1年未満の方へは出産祝い金(町商品券)を支給

■町民税務課 ☎0224-37-2114

●保育料無料

■教育委員会 ☎0224-37-2112

●産婦健診費用助成制度

●3歳までのおむつ購入費用助成(月2,000円)

●産後ママたちの交流会

●乳幼児の健診助成制度

※1歳のお誕生健診、幼児健診は5歳6ヶ月まであり

●予防接種の無料(定期接種)、一部助成(任意接種)制度

■健康福祉課 ☎0224-37-2331

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車:約100分(JR仙台駅～白石駅(東北本線)+町営バスを利用)
- ・車:約75分(仙台宮城IC～白石IC(東北自動車道)～国道113号線)

地域内の移動手段

- ・バス:町営バス(1回乗車200円)を運行している。
- ・車:東北自動車道の白石ICまで車で約30分
- ・その他:デマンド型集合タクシーを運行

＼こんな人にちょうどいい!／

四季の変化を感じながら暮らしたい方

充実した子育て支援・住宅支援を望む方

人と人とのつながりを大切にしたい方

就学・教育支援

- スクールバス完備
- 小学校入学時に運動着支給
※転校してきた場合はその都度
- 放課後児童クラブの実施
- 中学校までの学校給食費無料
- 奨学資金の無利息貸付制度
- 教育委員会 ☎0224-37-2112

- 移住定住者向け優遇金利適用ローン制度
- 学生向け格安定期券
- ふるさと振興課 ☎0224-37-2194



仕事

就職支援

- 無料職業紹介所として地域に根差した職業を紹介
- 移住・定住支援センター(七ヶ宿くらし研究所)
☎0224-26-6933

- 次世代リーダー育成助成金
若者世代の定住と就業の促進のため30歳未満の方を対象に月20,000円を3年間支給
- 町民税務課 ☎0224-37-2114

起業支援

- 新規の開業や既存事業所の拡大に、上限200万円まで助成(総事業費の2/3)
- ふるさと振興課 ☎0224-37-2177

就農支援

- 新規に就農する方で条件を満たした方に、最大で年間150万円を、最長7年間支給
- 農林建設課 ☎0224-37-2113

就林支援

- 山しごとの相談や林業事業所の紹介等
- 農林建設課 ☎0224-37-2113

町外通勤者応援事業

- 町外通勤者応援事業として町内ガソリンスタンドで使える給油券を支給
- 町民税務課 ☎0224-37-2114

相談・体験

移住相談窓口

- 移住に関する住まいや仕事などの情報を提供
- ふるさと振興課 ☎0224-37-2194
- 移住・定住支援センター(七ヶ宿くらし研究所)
☎0224-26-6933

お試し住宅

- 田舎暮らしの生活体験住宅。週末のみ利用から数か月単位の利用まで可
- 移住・定住支援センター(七ヶ宿くらし研究所)
☎0224-26-6933

自然体験

- 七ヶ宿くらし研究所のホームページに最新情報を掲載。
(例)田植え、蛍観賞、雪遊び
- 移住・定住支援センター(七ヶ宿くらし研究所)
☎0224-26-6933

その他

結婚支援

- 婚活サイトの加入費用等を助成
- 町指定の結婚相手紹介サービスの利用に係る費用等を助成
- 結婚新生活応援金
夫婦どちらか一方が40歳未満の夫婦1組につき50万円支給
- 町民税務課 ☎0224-37-2114

地域おこし協力隊

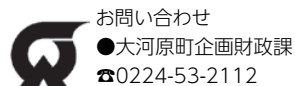
- 令和3年11月現在で8名の協力隊が活動中。豊かな自然の中で地域住民とコミュニケーションを取りながら地域おこしに取り組んでくれる方募集
- ふるさと振興課 ☎0224-37-2194

各種検診無料

- 住民総合健診、骨粗しょう症、乳がん、子宮がん、脳ドックなどが無料で受けられます
- 健康福祉課 ☎0224-37-2331



おおがわらまち 大河原町



お問い合わせ

●大河原町企画財政課

☎0224-53-2112

〒989-1295 宮城県柴田郡大河原町字新南19

ホームページ <https://www.town.ogawara.miyagi.jp/>

■大河原町暮らしのデータ

■人口：23,642人

■世帯数：10,121世帯

■保育所の数：5所

■小学校の数：3校

■中学校の数：2校

■病院の数：1院

■一般診療所の数：17所

令和4年1月末時点

ぎゅぎゅつとして、行きたいところに ささっと行ける、おおがわら

大河原町は、奥州街道の宿場町として栄え、現在も多くの商業施設や医療機関、国や県の出先機関が集中するなど、県南の交通・商業・行政の中心となっています。こうした生活の拠点性に加えて、美しい景観も魅力です。町の中心を流れる白石川の両岸には、毎年春にソメイヨシノが咲き誇ります。残雪の蔵王連峰を背景とした大河原の「一目千本桜」は他とは一味違う光景です。ぜひ一度、桜のトンネルを散策しませんか。



〈一目千本桜〉残雪の蔵王連峰を背景とした「一目千本桜」はまちのシンボル



〈おおがわら夏まつり〉半世紀以上の歴史を誇る「花火大会」

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車：約35分（JR仙台駅～JR大河原駅（東北本線））
- ・車：約35分（仙台宮城IC～村田IC（東北自動車道）～県道14号）

地域内の
移動手段

- ・バス：路線バス（宮城交通）
- ・車：村田IC（東北自動車道）、白石IC（東北自動車道）まで約20分
- ・その他：デマンド型乗合タクシーを運行

＼こんな人にちょうどいい！／

一目千本桜と
暮らしたい方

買い物しやすいまち
に住みたい方

学校、病院、駅、
官公庁の近くに
住みたい方

住まい

住宅関連負担軽減

- 次世代型住宅（スマートハウス）助成：環境にやさしく、災害に強い住宅の普及促進のため、太陽光発電設備等を導入し居住する方に費用の一部を助成
- 町民生活課 ☎0224-53-2114

子育て

医療費助成

- 医療費助成：高校を卒業するまでの子どもの医療費を助成（所得制限なし）
- 子ども家庭課 ☎0224-53-2251

出産支援

- 出産祝い金：第3子以降出生祝い金として10万円を支給
- 子ども家庭課 ☎0224-53-2251

●主な健診の助成

- ・妊産婦健康診査の助成
- ・多胎妊娠への追加助成（13回）
- ・里帰り出産等による県外での妊産婦健康診査と予防接種費用の助成
- ・妊婦歯科健診の費用負担

- 特定不妊治療費助成：特定不妊治療を受けている方に治療費の一部を助成
- 健康推進課 ☎0224-51-8623

育児費用負担軽減

- 中学3年生へのインフルエンザワクチン接種費用助成：高校受験期の中学3年生に対してインフルエンザの予防接種費用を助成
- 健康推進課 ☎0224-51-8623
- 入学祝い金：第3子以降の児童の小学校入学時に祝い金3万円を支給
- 子ども家庭課 ☎0224-53-2251

生活支援

- 放課後子供教室：放課後の児童の居場所づくりを行っています。（小学3年生まで一部6年生まで対象の学区あり）
- 生涯学習課 ☎0224-53-2758
- 放課後児童クラブ：放課後等に保護者が家庭にいない小学生が対象（小学6年生まで）
- 子ども家庭課 ☎0224-53-2251

相談・交流支援

- ファミリーサポートセンター：子育てを互いに支え合う会員組織、様々な子育て支援を受けることが可能
- ファミリーサポートセンター ☎0224-51-9960
- 子育て支援センター：子育てに関する相談や講座、サークル活動等気軽に参加できます。
- 子育て支援センター ☎0224-51-9297

就学・教育支援

- 就学援助制度：経済的な理由により、小・中学校への就学が困難なお子さんの保護者に対し、学用品・通学用品・校外活動費用等の一部を援助
- 教育総務課 ☎0224-53-2742



起業支援

- 融資：中小企業事業資金の低利融資を
あっせん(上限1千万円)
- 相談窓口：町内で起業・創業する方へ商
工会、金融機関と連携し相談・支援
- 商工観光課 ☎0224-53-2659

就農支援

- 新規就農者育成総合対策：一定の条件
を満たした新規就農者に対し、最大150
万円(最長3年間)を給付
- 農政課 ☎0224-87-6277

その他

結婚支援

- 婚活イベントの開催：新たな出会いの場
を提供
- 企画財政課 ☎0224-53-2112

県南エリア

むらたまち

村田町



お問い合わせ

●村田町まちづくり振興課

☎0224-83-2113

〒989-1392 宮城県柴田郡村田町大字村田字迫6番地

ホームページ <http://www.town.murata.miyagi.jp/>

移住に関するページ <http://www.town.murata.miyagi.jp/teijyu/index.html>

都会近くで ほどよい田舎暮らし

宮城県南部に位置し、豊かな自然と穏やかな気候が
魅力の村田町。町中心部に位置する東北自動車道「村
田IC」を利用すれば、仕事へレジャーへ快適アクセスで
都会へ「ほど良く近い」まちです。

また、歴史的資源にも恵まれており、江戸後期からの
商家町の土蔵群が今も町中心部に現存し、宮城県で唯
一、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されてい
ます。町では、住宅取得や子育て支援の助成などにより、
移住定住世帯及び子育て世帯をサポートしていきます！

動画もチェック！

村田町動画 で検索



村田町暮らしのデータ

- 人口：10,395人
- 世帯数：4,063世帯
- 保育所の数：1所
- 小学校の数：2校
- 中学校の数：2校
- 一般診療所の数：9所

令和4年1月末時点



〈村田IC/JCT〉町中心部の東北自動車道ICを利用
すれば、仙台市や隣県へ快適アクセス！



〈村田小学校〉桜咲く校舎でのびのびと充実した学校
教育を。夢に向かってたくましく生きる児童を育成します。

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・バス：約25分(JR仙台駅～村田町役場～村田町中央公民館前(高速バス))
- ・車：約20分(仙台宮城IC～村田IC(東北自動車道))

地域内の
移動手段

- ・バス：路線バスあり(大河原町及び近隣市町)
- ・車：村田町中心部(村田町役場)から東北自動車道の村田ICまで車で約5分
- ・その他：町内全域をデマンド型乗合タクシーが運行

移住者たちの声を知りたい方はこちらをCheck! /

エリア情報や、仕事情報、移住者インタビュー
など宮城での暮らしがイメージできるコンテ
ンツ満載です。

<https://miyagi-ijuguide.jp>

宮城県の暮らしを
ぜひ動画でもご覧ください。



こんな人にちょうどいい! /

充実した環境で
子どもを育てたい方

都会に近い田舎で
暮らしたい方

歴史ある郷土で
暮らし学びたい方



空き家情報

●町公式ホームページにて町内の空き家を紹介する「空き家バンク」制度を実施。空き家の所有者が物件を空き家バンクへ登録し、その物件を利用したい希望者が町へ利用希望登録をして、安心して両者が協議できるよう町がコーディネート(契約行為は当事者間で行う)

■まちづくり振興課 ☎0224-83-2113

住宅取得支援

●(町の土地購入を伴う)住宅を取得する転入世帯または子育て世帯へ、補助金を交付
・新築取得(町内業者利用)50万円
・新築取得 30万円
・中古住宅取得 15万円

■まちづくり振興課 ☎0224-83-2113

●子育て世帯、転入世帯、若年夫婦世帯(夫婦いずれか一方が35歳未満)に該当する場合に家賃を優遇する定住促進住宅を完備(間取りは3DKバルコニー付で、月額は階数及び要件により変動)
・子育て世帯(子2人)月額3万1千円
・子育て世帯(子1人)月額3万7千円
・若年夫婦世帯 月額3万7千円
・転入世帯 月額3万7千円

■建設水道課 ☎0224-83-6407



医療費助成

●お子さまが高校を卒業する年度末(18歳に達する年度末)まで、けがや病気で通院・入院した場合に医療機関で支払った自己負担額を町が助成

■子育て支援課 ☎0224-83-6405

出産支援

●お子さまが誕生したご家庭に、肌着等の育児用品や村田町キャラクターの「くらりん」が描かれたタオル、食器等をセットにした育児スターターキット「すくすく くらりんボックス」又は「紙おむつ券」のいずれかをプレゼント

●お子さまが誕生したご家庭に、町指定有料ごみ袋Lサイズ60枚をプレゼント

●絵本を通した親子のふれ合いの機会をつくるため、町が実施する4か月検診を受診するお子さまに絵本をプレゼント

■子育て支援課 ☎0224-83-6405

育児費用負担軽減

●子育て支援金
・満1歳祝金(出生後、継続して住所があるお子さま)第1・2子 5万円 第3子以降 10万円
・小学校入学祝金(出生後、小学校入学するまで住所があるお子さま)第1・2子 10万円 第3子以降 20万円
・小学校入学支援金(小学校入学時点で住所があるお子さま)第1・2子 5万円 第3子以降 10万円

●第3子以降のお子さまに係る保育所等保育料を月額最大5千円助成

■子育て支援課 ☎0224-83-6405

相談・交流支援

●子育てサークル、子育て相談、自由開放など、お子さまの年齢にあわせた事業を子育て支援センターで実施

●町内全小学校対象に、留守家庭(放課後)児童学級制度を実施。授業終了後の放課後や夏休み・冬休みに児童更生施設等を利用し適切な遊び及び生活の場を提供

■児童館・子育て支援センター
☎0224-83-3901

就学・教育支援

●町内に住所があるご家庭で、第3子以降の児童が小学校へ入学する場合、小学校入学祝い金を支給
・第3子以降の児童1人につき3万円

■子育て支援課 ☎0224-83-6405

●村田小学校ではスクールバス送迎事業を実施しており、小学校から少し離れた地区にお住まいの場合でも登下校時に安全に通学可能(各地区バス停留場あり)

■教育総務課 ☎0224-83-2037



就農支援

●村田町に住所を有する認定農業者または認定就農者が施設園芸用ビニールパイプハウスを新設または増設する場合に補助金を交付

■農林課 ☎0224-83-6406

その他

結婚支援

●村田町が主催する結婚推進事業「むら婚」では、パーティー形式で独身男女に出会いの場を創出する事業を独自に展開

■町民生活課 ☎0224-83-6401

柴田町



お問い合わせ

●柴田町役場まちづくり政策課

☎0224-54-2111

〒989-1692 宮城県柴田郡柴田町船岡中央二丁目3-45

ホームページ <http://www.town.shibata.miyagi.jp/>

■柴田町暮らしのデータ

■人口: 37,228人

■世帯数: 16,104世帯

■保育所の数: 4所

■小学校の数: 6校

■中学校の数: 3校

■病院の数: 2院

■一般診療所の数: 17所

令和4年1月末時点

『花のまち』柴田

柴田町は、県域を県都仙台市で二分した県南のほぼ中央に位置し、仙台から25km、仙台空港や東北自動車道・東北横断自動車道村田ICから約10kmの距離にあります。

町の北西部は200m前後の高館丘陵の南端にあたり、町の東南端を阿武隈川、中央部を白石川が流れ、町を二分しています。気候は内陸部に位置しながら海洋性の影響を受け比較的温暖で、県内でも雪の少ない地域です。宮城県で唯一さくら名所100選に選ばれた「船岡城址公園」「一目千本桜」をはじめ、さまざまな季節の花に彩られる「花のまち」です。

▶ 動画もチェック!

しばたっていいな。

で検索



〈2つの桜の名所〉宮城県で唯一、「さくら名所100選の地」に選ばれた船岡城址公園と白石川堤の一目千本桜を同時にご覧いただけます。



〈初夏の田園風景〉里山と田畑が織りなす風景とそこに暮らす生き物たちの声が、ゆったりとした時間の流れを感じさせてくれます。

生活交通情報

仙台市との距離感

・電車: 約30分 (JR仙台駅～JR槻木駅(東北本線)～東船岡駅(阿武隈急行線)、JR仙台駅～JR船岡駅(東北本線))

・車: 約40分 (仙台宮城IC～村田IC(東北自動車道)～県道14号～国道4号)

地域内の移動手段

・車: 村田IC(東北自動車道)、白石IC(東北自動車道)まで約25分

・その他: デマンド型乗合タクシーを運行

＼こんな人にちょうどいい!／

花が好きな方

自然も利便性も
両方を求めている方

仙台市及びその近郊で
仕事をしたい方

子育て

医療費助成

●0歳から18歳到達後の年度末まで入・通院費無料(所得制限なし)

■子ども家庭課 ☎0224-55-2115

出産支援

●妊産婦健診(里帰り出産等による県外での妊産婦健診を含む)と予防接種費用の助成
妊婦歯科健診(自己負担無料)

●特定不妊治療費助成(治療費の一部を助成)

■健康推進課 ☎0224-55-2160

育児費用負担軽減

●中学3年生のインフルエンザ予防接種(自己負担無料)

■健康推進課 ☎0224-55-2160

●小学校入学準備支援事業により、小学校等に入学する第3子以降の子を養育する保護者に対し、入学祝金を支給

■教育総務課 ☎0224-55-2134

就学支援

●経済的な理由により高等学校、高等専門学校又は大学等に就学困難な学生・生徒に対し、町育英会による奨学金を貸付

●経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品費、給食費等の一部を支給

●学校になかなか足が向かない、登校が困難な児童・生徒及びその保護者を支援し、子どもの学校復帰や自立支援を行う「子どもの心のケアハウス」を設置

■教育総務課 ☎0224-55-2134

生活支援

●保護者が労働等のため、昼間家庭にいない児童等を対象とした放課後児童クラブの実施(6か所、小学校6年生まで)

●子育てを互いに支え合う、ファミリー・サポート・センターを組織し、様々な子育て支援を実施

■子ども家庭課 ☎0224-55-2115

相談・交流支援

●子育て支援センターにおいて、子育て相談、各種講座やイベントの開催、育児サークルの支援などを実施。また、親子で遊べる「子育ての部屋」を無料開放

●町の子育て関係の情報をまとめた「しばた子育て支援ガイドBOOK」を配布

●町からののお知らせや子どもの成長記録、予防接種のスケジュール管理などができるスマートフォン向けの子育て応援アプリを無料配信

■子ども家庭課 ☎0224-55-2115

仕事

起業支援

●創業を考えている方など経営に関する知識を身につけることを目的とした柴田町商工会主催セミナーを実施

■商工観光課 ☎0224-55-2123

(柴田町商工会 ☎0224-54-2207)

就農支援

●新規就農希望者の相談内容をもとに関係機関と連携し支援。雇用就農希望者には町内の農事組合法人とのマッチングを実施

■農政課 ☎0224-55-2122

川崎町



お問い合わせ

●川崎町地域振興課

☎0224-84-2117

〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175番地1

ホームページ <http://www.town.kawasaki.miyagi.jp/>

移住に関するページ <http://www.kawasaki-miyagi.sakura.ne.jp/iju/>



川崎町暮らしのデータ

■人口: 8,390人

■世帯数: 3,385世帯

■保育所の数: 1所

■小学校の数: 3校

■中学校の数: 2校

■病院の数: 2院

■一般診療所の数: 2所

令和4年1月末時点

緑と人をはぐくむ里

雄大な蔵王連峰の東に位置する自然豊かな町であるため、蔵王国定公園などの大自然や多くの一級河川と釜房湖を有し、「緑と人をはぐくむ里」「水源郷川崎町」などの愛称で親しまれています。また、温泉郷、国営公園、スキー場などの有名な観光地もあり、年間約100万人近くの観光客が訪れます。地勢は山間盆地ですが、平均気温が約10度と東北地方では比較的温暖な地域であり、高速道路と国道を有し、仙台市と山形市の中間に位置しています。



〈釜房湖と蔵王連峰〉水源郷川崎町の代名詞である釜房湖と雄大な蔵王連峰の共演



〈国営みちのく杜の湖畔公園〉年間約70万人の観光客が訪れる、みちのくの憩いの空間

動画もチェック!

川崎町 動画

で検索

生活交通情報

仙台市との距離感

バス: 約85分 (JR仙台駅前～かわさきまち(タケヤ交通)、約70分 (JR仙台駅前～川崎町役場前(宮城交通))

車: 約30分 (仙台宮城IC(東北自動車道)～宮城川崎IC(山形自動車道)、約45分 (国道286号線))

地域内の移動手段

バス: 各地区から町中心部へ運行する町民バスが平日のみ1日4往復運行 (乗車料金200円)

車: 宮城川崎IC、笹谷IC(山形自動車道)、村田IC(東北自動車道)が最寄りにある地区がある。

こんな人にちょうどいい!

ふらっと仙台市に行きたい方

自然・農業・温泉が好きな方

子育て支援を重要視する方

住まい

空き家情報

●川崎町「空き家バンク」を川崎物件ポータルサイトにて紹介

■移住定住サポートセンター「SPRING」

☎0224-51-8789

住宅取得支援

●空き家バンクを活用して住宅取得した移住定住者へ、取得費の50%を補助(上限50万円・45歳以下の子育て世帯が対象)

■移住定住サポートセンター「SPRING」

☎0224-51-8789

リフォーム支援

●空き家バンクを活用した移住定住者または所有者へ、住宅修繕改修費用の50%を補助(上限15万円)

●空き家バンクを活用した移住定住者または所有者へ、クリーニング費用の50%を補助(上限10万円)

■移住定住サポートセンター「SPRING」

☎0224-51-8789

家賃補助

●空き家バンクを活用して住宅賃借した移住定住者へ、家賃3万円を超える部分を36ヶ月補助(上限1万円/月・45歳以下の子育て世帯が対象)

■移住定住サポートセンター「SPRING」

☎0224-51-8789

住宅関連負担軽減

●空き家バンクを活用した移住定住者へ引越費の50%を補助(上限10万円)

■移住定住サポートセンター「SPRING」

☎0224-51-8789

子育て

医療費助成

●高校生以下の保険診療分が無料

■保健福祉課 ☎0224-84-6008

出産支援

●第1子・第2子に5万円の祝い金及び商品券5万円

●妊娠検診費用14回分助成

●町で出生した満1歳までの乳幼児のいる家庭に対して、ドラッグストア等町内締結店でおむつ等のベビー用品に使える5千円分の助成券を24枚交付

■保健福祉課 ☎0224-84-6008

育児費用負担軽減

●6ヶ月から12歳まで2回、13歳から15歳まで1回のインフルエンザ予防接種費を助成

■保健福祉課 ☎0224-84-6008

就学・教育支援

●スクールバスを運行(エリア限定)

■学務課 ☎0224-84-2308

●18時まで利用できる放課後児童教室を設置(小学校のみ)

■幼児教育課 ☎0224-84-5247



起業支援

- 創業支援事業計画を策定し、地域振興課を窓口とした創業支援(相談、販路開拓、資金調達等)を実施。認定事業者へは最大30万円の補助金を交付
- 地域振興課 ☎0224-84-2117

就農支援

- 町認定新規就農者が農業経営に必要な機械購入費の50%を補助(上限100万円)
- 農林課 ☎0224-84-2304(内線1153)

相談・体験

おためし移住ツアー

- 年間2回程度おためし移住ツアーを実施予定
- 移住定住サポートセンター「SPRING」☎0224-51-8789

その他

結婚支援

- 婚活会を年間3回程度実施し、出会いの場を提供。結婚すると祝い金3万円を支給
- 町民生活課 ☎0224-84-2112(内線1111)

お米のプレゼント

- 空き家バンクを活用した移住定住者へ川崎産ひとめぼれ30kgを3年間プレゼント
- 移住定住サポートセンター「SPRING」☎0224-51-8789

県南エリア

まるもりまち 丸森町



お問い合わせ
●丸森町子育て定住推進課
☎0224-51-9905

〒981-2192 宮城県伊具郡丸森町字鳥屋120番地

ホームページ <http://www.town.marumori.miyagi.jp>

移住に関するページ <https://ju-pita.com/>

水とみどりの輝くまち 丸森

丸森町は、宮城県最南端に位置し、町土の7割を森林が占める緑豊かな中山間地域の町です。気候は年間平均気温が12度と比較的温暖で、四季の移ろいが実感できる暮らしやすい土地です。町内は8地区に分かれており、それぞれ特色あるまちづくりを実施しています。移住定住の総合窓口として「まるもり移住・定住サポートセンター【じゅーぴたっ】」を阿武隈急行線 丸森駅舎内に、開設しています。お気軽にご相談ください。

動画もチェック!

丸森町 PR動画 で検索

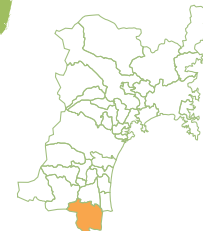
生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車:約60分(JR仙台駅～丸森駅(阿武隈急行線))
- ・バス:約70分(JR仙台駅東口～丸森舘矢間(東北アクセスバス))
- ・車:約90分(仙台～国道(4号線)～槻木～国道(349号線)～丸森)

地域内の移動手段

- ・自家用車の必要性は高い。
- ・路線バス(6路線)及びデマンド型乗合タクシーが運行されている。
- ・車:東北自動車道 白石ICまで車で約40分、常磐自動車道 新地ICまで車で約20分



丸森町暮らしのデータ

- 人口:12,513人
- 世帯数:4,970世帯
- 保育所の数:3所
- 小学校の数:8校
- 中学校の数:1校
- 病院の数:1院
- 一般診療所の数:6所

令和4年1月末時点



〈不動尊キャンプ場〉
川遊びも楽しめる自然豊かなキャンプ場



〈竈理幻夜〉
毎年8月に行われ、絵とろうろうの灯りが幻想的なお祭り「竈理幻夜」

こんな人にちょうどいい!

自然とふれあいながら
子育てしたい方

起業したい方

アウトドアが
好きな方



空き家情報

- 町内空き家情報のデータベースを整備し、ホームページや窓口で紹介
- まるもり移住・定住サポートセンター
☎0224-87-7837

住宅取得支援

- 申請者又は配偶者が45歳未満の方を対象に、住宅取得費用を補助(要件、上限額、加算補助金あり・要問合せ)
- 子育て定住推進課 ☎0224-51-9905

リフォーム支援

- 申請者又は配偶者が45歳未満の方を対象に、自己が居住するためのリフォーム費用を補助(要件、上限額、加算補助金あり・要問合せ)
- 子育て定住推進課 ☎0224-51-9905

家賃補助

- 申請者又は配偶者が45歳未満の方を対象に、町内の民間賃貸住宅1ヶ月分の家賃を補助(要件、上限額、加算補助金あり・要問合せ)
- 子育て定住推進課 ☎0224-51-9905



医療費助成

- 18歳の年度末まで全額助成、所得制限なし
- 保健福祉課 ☎0224-72-3014

育児費用負担軽減

- 第2子以降の保育料及び副食費を無料
- 子育て定住推進課 ☎0224-72-3013
- 定期接種の予防接種に加え、インフルエンザ予防接種、おたふくかぜ予防接種の費用助成あり
- 保健福祉課 ☎0224-51-9903

生活支援

- 放課後等に保護者が家庭にいない小学生を対象とした放課後児童クラブを実施
- 子育て定住推進課 ☎0224-72-3013

出産支援

- 妊婦健診(14回、多胎は追加で6回)、妊婦歯科健診(1回)、産婦健診(2回)の費用を助成

相談・交流支援

- 町内2カ所で子育て支援センターを開設。お子さんの遊び場としてだけでなく、育児相談や情報交換の場として開放、子育て講座やイベントも開催
- 丸森たんぽぽ子育て支援センター
☎0224-86-4423
- 丸森ひまわり子育て支援センター
☎0224-87-8985

就学・教育支援

- 町が学習支援塾(学び塾)を開設
- 小学校入学祝い金を支給(児童1人につき3万円)
- 学校教育課 ☎0224-72-3035



起業支援

- 起業サポートセンター「CULASTA」を蔵の郷土館齋理屋敷内に開設。専門スタッフが週1回常駐し、起業や経営に関する相談に応えるワンストップ窓口
- 町内空き店舗等を活用して開業する方を対象に、改装費用及び器械設備費用の1/3以内の額を補助。上限100万円
- 商工観光課 ☎0224-87-7620

就農支援

- 一定の条件を満たした新規就農者に対し、資金面や設備投資等の補助事業がある
- 農林課 ☎0224-72-2113

相談・体験

移住相談窓口

- 阿武隈急行線丸森駅舎内に移住・定住サポートセンター設置
- オンライン移住相談対応可能
info@ju-pita.comにメールで要連絡
- 丸森町への移住を考えている方を対象に、移住体験ツアー「まるもり移住体験ガイド」を実施(要申込)
- まるもり移住・定住サポートセンター じゅーぴたつ
☎0224-87-7837

その他

結婚支援

- 丸森町に1年以上住民登録されている20歳以上の独身の方を対象に、町と契約している業者が提供する結婚相手紹介サービスの入会金と月会費の半額を補助(要問合せ)
- みやぎ結婚支援センター「みやマリ!」の入会登録料を補助(要問合せ)
- 子育て定住推進課 ☎0224-51-9905

地域おこし協力隊

- H28.7に丸森町第1号が着任後、R3.12月現在26名が活動中
(隊員のミッションと担当部署)
・移住定住サポートセンター運営、相談(子育て定住推進課)
・地域資源等を活用し町内で起業(商工観光課)
・町の新たな特産品開発、インバウンド、飲食店運営、地域に根差した交流推進活動(企画財政課)
・農業生産、森林整備、直売所支援(農林課)
- 子育て定住推進課 ☎0224-51-9905
- 商工観光課 ☎0224-87-7620
- 企画財政課 ☎0224-72-3024
- 農林課 ☎0224-72-2113

しっかり
サポート!

みやぎで安心して くらすための生活支援

実際に移住してどんな毎日が過ごせるのか、

地域にどんなサポートがあるのか、リアルで細かいところもチェックしたいもの。

各自治体でさまざまな支援を行っているのでほんの一例をご紹介します。

※各生活支援は自治体ごとに実施状況が異なるので、まずは「みやぎ移住サポートセンター」へお問い合わせください。

結婚

みやぎ結婚支援センター



完全会員制のマッチング支援を行います。スマートフォンからAIによるお相手紹介機能や条件検索によるお相手探しなどが可能です。また、会員以外の方も参加できるイベントも開催しています。会員登録やイベント申込の詳細お問合せはページをご覧ください。

詳細・
登録は
こちら!



結婚支援

「婚活イベント」を積極的に行っている自治体も多数あります!結婚新生活支援として家賃や住宅改修費用の一部を助成するところもあり、家族で長く定住していただくためのサポートが用意されています。



子育て

みやぎ 子育て支援パスポート

宮城の子育てを応援していただける事業者と連携した支援事業で、各協賛店(みやぎっこ応援の店)でパスポートを提示すると、乳幼児連れの外出をサポートされたり、お得なサービスや特典が受けられます。

詳細・
登録は
こちら!



出産支援

- (例) ● 妊婦健康診査受診(14回)の助成
● 不妊に悩む方への特定不妊治療費の助成
● 出産祝い金
● 紙おむつや育児用品の支給や助成
● 自治体内の商店で使える商品券の支給

育児費用支援

- (例) ● 保育園・幼稚園の2人目以降の保育料・授業料が無料
● 小学校入学祝い金
● 小・中学校の給食費無料
● 放課後児童クラブの開設
● 修学が困難な生徒に奨学金の貸与

相談・交流支援

地域ごとに設けられている「子育て支援センター」や「子育て世代包括支援センター」では、子育てに関するさまざまな相談やサポートが受けられ、地域の方々と交わることができるコミュニティスポットとして活用していただいています。



医療

子どもの医療費助成

- (例) ● 0歳～18歳までの児童・生徒の医療費無料または助成
● 年齢制限付で入院・通院費が無料または自己負担額の助成
● 乳幼児のワクチン予防接種を助成
● インフルエンザ予防接種を助成



みやぎのお医者さんガイド

<https://miyagioishasan.pref.miyagi.jp/>

県内の医療機関情報提供サイト「みやぎのお医者さんガイド」では、「今の時間に診療している医療機関を調べたい」、「24時間往診可能な医療機関を調べたい」といった知りたい条件に合わせて簡単に検索できます。



教育

- (例) ● 小学校入学時の入学祝い金
● 小・中学校の給食費助成や無償化
● 奨学金貸付など経済的な助成
● 学校と児童クラブとの連携
● 学習支援センターとの連携



はたらく

みやぎ移住サポートセンターでは、相談者が求めているお仕事と、みやぎ移住ガイドに掲載している求人情報とのマッチングを図っています。



ポータルサイト「みやぎ移住ガイド」

一次産業も含めた
たくさんの求人情報が
見られます!

キーワードで
おしごと検索が
できます!

勤務地・業種・
雇用形態からも
検索ができます!

<https://miyagi-ijuguide.jp/>

みやぎ移住ガイド



※「みやぎ移住ガイド」には、「仕事」のほか、各市町村の移住支援制度も紹介しております。

住まいの支援

各自治体で住宅取得支援、リフォーム支援、家賃助成など、幅広く手厚いサポートが用意されています。理想の働き方や暮らしから、家族構成、ライフスタイルに合う住まいを探しましょう!

支援情報はこちらもチェック!

● 宮城県公式WEBサイト
<https://www.pref.miyagi.jp/>



● みやぎ移住ガイド
市町村情報
<https://miyagi-ijuguide.jp/citylist>



移住 定住の ステップガイド

目指せ
みやぎ人!

憧れの田舎暮らしや自然に囲まれたファミリーライフ、自分らしい仕事や趣味を極めたい…と、
きっかけは様々でも実際の「移住・定住」はクリアするポイントがいっぱい。
無理のない計画を立てて進めましょう!

START!!

STEP
01

移住を考えた理由 などについて整理し、 家族と話そう!

「なぜ移住をしたいのか」移住の目的
や理由について、はっきりとさせ、家族
やパートナーとも焦らず、いろいろなこ
とをゆっくりと話し合ひましょう。

STEP
02

宮城県の 情報あつめ!

宮城県の情報収集は、ポータルサイト
「みやぎ移住ガイド」を活用しましょう!
県内の求人情報や、各自治体の支援
情報、先輩移住者のインタビューなど、
宮城県で暮らすイメージをより具体的
にするコンテンツが揃っています。

STEP
03

みやぎ移住 サポートセンターへ 相談しよう!

東京・有楽町にある東京交通会館の8階に、移住・仕
事に関するワンストップ相談窓口として「みやぎ移住
サポートセンター」を設置しています。専任の移住・就
職相談員がどんな些細なお悩みにも親身に対応し
たします!

学生の方で宮城での就職をお考えの方には「みや
ぎIUターン就職支援オフィス」も設置しております。

【学生で宮城での就職を考えている】
→みやぎIUターン
就職支援オフィスへ

詳しくは
P132へ

リアルな情報を
たくさん手に入れよう!

STEP
04

宮城県で
一生モノの、仕事をしよう。

仕事と住まいを探そう

宮城県では、製造業や宿泊業、情報通信業などの
幅広い分野で働く人を募集しており、起業や新規就
農等を考えている方々にも様々な支援があります。
住まいにおいても、様々な支援制度のほか、空き家
バンクを取り入れている自治体もあり、移住後のラ
イフスタイルに合った住まいを提供します。

\\こんな働き方もある\\

地域おこし協力隊になる!

「地域おこし協力隊」は、1年から3年の期間、地域で生活しな
がら、さまざまな地域協力活動に取り組みます。活動を通じて
地域の魅力を体感し、地域の人と交流を重ねることで、スム
ーズな移住定住につながります。どのような活動ができるか、ま
ずは各自治体の募集情報を調べてみましょう!

住まい探しは

空き家バンクも利用しよう!

空き家バンクとは、空き家を借りたい(買いた
い)と希望する人に向けて、自治体が情報を提
供する制度です。宮城県でも複数の自治体が
実施しておりますので、一度ご覧ください。



各自治体の
支援を確認しよう!



STEP
05

体験しよう! お試し住宅の活用

実際に地域の生活を体験してみることで、移住後
の生活イメージをより実感することが出来ます。宮
城県には、市町村が管理している「お試し住宅施
設」がありますので、是非お気軽にご利用ください!

詳しくは
P124へ



STEP
06

移住の「後」のことも 考えよう!

交通手段や生活インフラの確認、子育て環境や医療制
度、地域コミュニティなど、いざ移住「後」のことを考え
ると、様々な心配事がでてくるかと思えます。各自治体では、
移住後もみなさんの生活をサポートする様々な制度があ
りますので、遠慮せずに、相談員や自治体職員に相談し
てみてください。また、オンライン等による「交流会」や「お
試しツアー」など、地域の方々とながらる場を設けている市
町村もありますので、参加してみるのもお勧めです。

子育て・医療など
現実的な心配ごと
etc...



【暮らすための生活支援とは?】

詳しくは
P120・121へ



\ おすすめ! / お試し暮らしを知っていますか?

○お試し住宅

移住を決めるにはいろいろな不安があると思います。そんなたくさんの不安の解消に役立てていただくため、宮城県内の各地では、地域の暮らしを体験できる、「移住体験住宅」を整備しています。自然や文化を感じられることはもちろん、地域の方々とコミュニケーションも生まれ、移住への一歩を踏み出す貴重な時間を過ごすことができます。

お試し暮らしのここがおすすめ!

①気温・気候を肌で感じる事が出来る

昼と夜の気温差や四季の移り変わり、海沿いや山沿いならではの特徴など、その地域の雰囲気や様子を知ることができます。

②地域の方々と触れ合う事が出来る

地域の人たちとの触れ合いを通して、各地の普段の暮らしや食べ物、言葉などを体験することができます。

③交通手段や生活インフラを確認することが出来る

地域の方々が何を使って移動しているか、どこで買い物をしているか、物価はどのくらいかなど、地元ならではの生活環境を実感できます。

Q どこに相談すればいいの?

A 宮城県へのお試し暮らしの相談は「みやぎ移住サポートセンター」をご利用ください。移住相談員があなたのライフスタイルに合わせて、「移住体験施設」をはじめとする様々な情報をご提供します。

電話: 090-1559-4714 (直通)

メール: miyagi@furusatokaiki.net

住所: 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
(NPO法人ふるさと回帰支援センター内)

利用時間: 10時~18時 休日: 月曜、祝日、お盆休み、年末年始

登米市

佐沼移住お試し住宅



広々とした市で5Kの木造平屋に滞在しながら、登米の暮らしが体験できます。豊かな自然に囲まれながらも、市役所やスーパーまでは車で5分、コンビニまで車で2分と便利な地域に位置。住宅の利用は無料です。

住所: 登米市迫町佐沼字中江三丁目2-2

【利用対象者】

20歳以上で登米市外に住所を有する移住検討者で、移住お試し住宅滞在中に市が実施する移住定住相談会に参加できる方(申請者の親族に限り、同行者として同時に利用可能)

※寝具は持参もしくはレンタル
2泊3日以上9泊10日以内で滞在可能(1月4日~12月28日)(1人2回まで)

【問い合わせ先】

登米市まちづくり推進部
観光シティプロモーション課
☎0220-23-7331 FAX 0220-22-9164
✉tome-life@city.tome.miyagi.jp



「登米教育資料館」は明治の貴重な建物



アウトドアが楽しめる「長沼フットピア公園」

大崎市

トライハウス



大崎市での暮らしを、最大3泊4日の短期間で無料体験できるお試しハウス。お試し移住の方に向けた体験メニューも用意しているので、地域の風土や人を身近に感じながら大崎市での暮らしがイメージできます。

住所: 大崎市西館2-3-37

【利用対象者】

大崎市外に住所を有しており、

- ①大崎市に移住を検討している方
- ②大崎市に移住の相談をしている方
- ③大崎市への移住に前向きに取り組んでいる方(未成年者のみの利用は要相談)。

※寝具は持参またはレンタル
原則3日以内の滞在可能(1人4回まで)

【問い合わせ先】

宮城おおさき移住支援センター・くらす
☎0229-25-4493
FAX 0229-25-5269
https://osaki-ijyu-support.jp/
✉info@osaki-ijyu-support.jp



泉質が豊富な鳴子温泉には「美肌の湯」も



アートな建物も多い岩出山は発酵食が盛ん



栗原市

移住体験住宅 (花山百目木)



細倉鉱山を楽しく学べる「細倉マイナパーク」



温湯山荘に隣接する仙台藩花山村寒湯番所跡

眼下に花山湖を望む3LDKの木造平屋「花山百目木」は、自然豊かな中山間地域にあります。建物は新しく、滞在中は先輩移住者との意見交換や空き家バンクの物件案内といったサポートも受けられます。

住所：栗原市花山字本沢百目木17-37

【利用対象者】

- ①栗原市に移住を検討している方とその家族
- ②栗原市に移住の相談をしている方とその家族
- ③空き家バンク情報利用登録をしている方とその家族

利用開始日より60～14日前まで要申請
3～10日以内の滞在可能(1人4回まで)

【問い合わせ先】

栗原市 企画部 定住戦略室
☎0228-22-1125
FAX 0228-22-0313

白石市

移住体験住宅 (白石)



平成7年に復元された「白石城」は街の象徴



江戸時代から伝わる油不使用の白石うーめん

宮城県南端に位置し、蔵王連峰や白石川など豊かな自然に恵まれた白石市。白石城や武家屋敷もあり、城下町の歴史や文化に触れながら移住体験ができます。仙台市や福島市まで新幹線で15分圏内とアクセス抜群。

住所：白石市字東小路109-1

【共通利用対象者】

市外在住の移住を検討している方
詳細は下記ホームページをご覧ください。
<http://109-one.com/trial.html>



【共通問い合わせ先】

白石市移住交流サポートセンター
☎/FAX 0224-26-2602
✉s109-one@crest.ocn.ne.jp
<http://109-one.com/about.html>

川崎町

川崎町お試し移住施設兼 お試しサテライトオフィスENGAWA



築50年の住宅をリノベーションしたお試し移住施設です。個人の方が川崎町に移住を検討するための拠点や、企業が川崎町進出のための仮オフィスとして、原則無料でご利用いただけます。(食費・布団は利用者の負担になります。)

住所：川崎町大字前川字裏丁163-1

【利用対象者】

川崎町への移住を検討している個人又は川崎町への進出を検討している企業等
(個人の利用に際しみやぎ川崎SPRINGへの会員登録をお願いします。)

【問い合わせ先】

みやぎ川崎SPRING
☎/FAX 0224-51-8789 (FAX兼用)
<http://www.town.kawasaki.miyagi.jp/15,15400,146,402.html>



移住体験住宅 (小原)



名勝「碧玉溪」は、新緑や紅葉が美しい



参道に100基もの鳥居が続く「万蔵稲荷神社」

白石川の上流にある小原地区は、古くから「目に小原」と言われる薬湯の小原温泉を有します。小原の南部に位置する下戸沢は茅葺きの家が残し、今でも宿場町の面影を残すエリア。のどかな環境で田舎暮らし体験を。

住所：白石市小原字町57

七ヶ宿町

お試し居住住宅



高さ10m、幅30mもある大迫力の滑津大滝 東北最大級の七ヶ宿ダム。噴水は高さ77m!

七ヶ宿町に興味がある方や、七ヶ宿町で田舎暮らしをしてみたい方へ住宅を貸し出しています。週末のみの滞在から数ヶ月単位の利用までOK。地域の方との触れ合いを通して、七ヶ宿での暮らしが体験できます。

住所：七ヶ宿町字湯原5、七ヶ宿町字湯原7

【利用対象者】

七ヶ宿町以外に住所があり、町内への移住を希望する方

利用料金 4～10月／1日500円、11～3月／1日1,000円 ※灯油代別

【問い合わせ先】

七ヶ宿くらし研究所
☎/FAX 0224-26-6933



女川町

お試し移住プログラム



JR女川駅に併設された「女川温泉ゆづぽ」 駅前の「シーパルピア女川・ハマテラス」

女川町を知りたい方におすすめのお試し移住プログラム。5～30日間、実際に女川に住み、町の人や雰囲気に触れながら、「暮らす」「働く」「町の未来に関わる」という女川ならではのライフスタイルを体感できます。

住所：女川町浦宿浜字浜田64-1

【利用対象者】

事前面談と最初のオリエンテーションに参加いただき、滞在中、お試し移住者リレーブログの執筆と最終日に滞在レポートの記載をしていただける方。

※詳細やお申込み方法は、下記ホームページをご覧ください。

『女川で生み出す』

<http://onagawa-kikkake.jp>



【問い合わせ先】

NPO法人アスヘノキボウ
☎0225-98-7175

東松島市

つながる家



室内の様子



矢本地区、市中心部の様子

つながる家は市の中心部にあるため、買い物は非常に便利です。車がなくても生活可能ですが、車があると交通の便が良いため、市外も含めた広域での活動拠点にもなります。

住所：東松島市矢本字下浦196-1

【共通利用対象者】

①市外に住所を有し、本市に移住を検討する方及びその家族。

②お試し移住事業で知った本市の魅力、感想等について情報発信することに同意する方

③東松島市移住コーディネーターや東松島市地域おこし協力隊から移住に関する情報提供、交流活動等の支援を受けることができる方。

※詳細などは下記ホームページ「ひがまつ暮らし」をご覧ください。
<https://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/36.html>



【共通問い合わせ先】

東松島市復興政策部復興政策課

☎0225-82-1111

FAX 0225-82-8143

✉kikaku@city.higashimatsushima.miyagi.jp

あおみな

(東松島市宮戸地区復興再生多目的施設)



室内の様子



あおみな近くで見ることができる風景

「あおみな」のある宮戸地区は、奥松島の雄大な自然に囲まれた景観を生かし、観光振興に力をいれている地域。市の観光拠点地域で、市を満喫できる地域にある施設です。

住所：東松島市宮戸字川原5-1

石巻市

中央第三お試し移住ハウス



室内の様子



街中の堤防エリア

石巻市は海、山、川、まちなか、全てに選択肢がある豊かな街。

「お試し移住」では、2泊3日から7泊8日までの間、住み心地や魅力を体感していただくことが可能です。（滞在中、移住コンシェルジュによるガイドツアーを実施）

ライフスタイルに合わせて中心部と半島部に趣の異なる2つの施設を用意しています。仕事、生活、住まい、石巻の歴史や文化、美味しい食、皆様の気になるところを満遍なく堪能して頂けます。

住所：石巻市中央一丁目14番5号
（中央第三復興住宅）

折浜お試し移住ハウス



室内の様子



北上川の夕景

住所：石巻市折浜字風越26番地16
（折浜復興住宅）

【共通利用対象者】

市外に住所を有し、石巻市への移住を検討している方

※宿泊に係る経費及び滞在中のレンタカー代は徴収しませんが、ガイド料として3,000円～5,000円を負担していただきます。

『いしのまきを選ぶ』

<https://ishinomaki-iju.com/>



【共通問い合わせ先】

一般社団法人ISHINOMAKI2.0

☎0225-98-9969

✉navi@ishinomaki2.com

相談窓口

『みやぎ移住サポートセンター』

宮城県への移住を考えている方、興味がある方に、仕事、住まい、暮らしなどのご相談に専門の相談員が、親切・丁寧に対応させていただきます。

JR有楽町駅から徒歩1分等、アクセス面・利便性が極めて高い場所にあります。お気軽にお立ち寄りください。

ふるさと回帰支援センター内
東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階
☎090-1559-4714 (相談員直通)
✉ miyagi@furusatokaiki.net
10:00~18:00
休: 月曜、祝日、お盆休み、年末年始



「学生で宮城での就職を検討している」という方は

『みやぎIJUターン就職支援オフィス』

東京

JR東京駅や地下鉄各線大手町駅等、アクセス面・利便性が極めて高い場所にあります。お気軽にお立ち寄りください。

パソナグループ
JOB HUB SQUARE 3F
東京都千代田区大手町2-6-2
☎03-6734-1344
10:00~18:00
休: 日曜、月曜、祝日、年末年始
※ 令和4年4月1日時点



仙台

仙台駅直結のビル。鉄道各線（東北新幹線、市営地下鉄、JR東北本線、JR仙山線、JR常磐線、JR仙石線、仙台空港アクセス鉄道）へのアクセスに便利な場所です。

パソナ・仙台内
宮城県仙台市青葉区中央1-2-3
仙台マークワン18F
☎022-216-5001
FAX: 022-267-4223
9:00~17:00
休: 土曜、日曜、祝日、年末年始



移住定住ポータルサイト

「みやぎ移住ガイド」

<https://miyagi-ijuguide.jp/> みやぎ移住ガイド 🔍



みやぎの移住情報
まずはココ！

移住した方たちの
インタビューも多数掲載！
動画・求人情報も！





移住支援金のお知らせ

世帯移住**100万円**

単身移住**60万円**

(18歳未満の世帯員の方が一緒に移住される場合は、
18歳未満の方おひとりにつき30万円が加算されます。)

主な要件

- 1 移住元** 東京23区在住者、または東京圏から東京23区への通勤者※
- 2 移住先**
(1)～(5)の
いずれかの要件に
当てはまる方
 - (1) 「みやぎ移住ガイド」に掲載されている対象求人¹に就業した方
 - (2) 「みやぎUIターン起業支援補助金」の交付決定を受けた方
 - (3) ご自身の意志で地方に移住し、移住先を生活の拠点として、
移住元での業務を引き続きテレワークで行う方
 - (4) 専門人材事業を活用して就業された方
 - (5) 移住(予定)先の市町村が設定した関係人口に該当する方
- 3 移住後** 支援金申請後、5年以上継続して居住する意志がある方

※住民票を移す直前の10年間のうち、通算5年以上かつ直近の1年以上、東京23区内に在住、または東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県（一部地域を除く））に在住し、東京23区内へ通勤をしていた方。

なお、東京23区内の大学等に通学し、23区内の企業へ就職した方については、通学期間も上記対象期間に加算することが可能です。移住支援金の支給要件は、上記の「主な要件①～③」の他にも様々な要件がありますので、詳しくは移住専用サイト「みやぎ移住ガイド」をご覧ください。

移住支援金Q&A

- Q1** 対象者の年齢制限はあるか。
A1 ありません。ただし、18歳未満の世帯員の方を帯同して移住された場合の加算については、申請日が属する年度の4月1日時点において18歳未満の方が対象となります。
- Q2** 申請期限はあるか。
A2 移住後、3ヵ月経過～1年以内に移住先の市町村に申請する必要があります。
- Q3** 移住支援金の使途に制限はあるか。
A3 ありません。
- Q4** 移住地と就業地の市町村が異なっても、対象となるか。
A4 対象となります。申請については、移住先の市町村に行ってください。
- Q5** 受給後、返還する場合はあるか。
A5 主な返還要件は、次の2点です。
① 支援金の申請日から1年以内に対象企業を退職した場合。
② 移住後、5年未満で県外へ転出した場合。

詳しくは [みやぎ移住ガイド](#) 

宮城県での起業・農業・漁業・林業に関するご相談はこちらへ



起業支援に関する相談窓口

●創業に関する相談

みやぎ創業サポートセンター

<https://www.miyagi-sogyo.jp>

●起業支援から経営、金融、技術、販路等に関する相談、 専門家派遣など中小企業経営全般に関する相談

宮城県中小企業支援センター(公益財団法人みやぎ産業振興機構)

宮城県仙台市青葉区上杉1-14-2 宮城県商工振興センター3階

☎022-225-6697 <http://www.joho-miyagi.or.jp/>

仙台市中小企業支援センター(公益財団法人仙台市産業振興事業団)

宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階

☎022-724-1212 <http://www.siip.city.sendai.jp/>

農業に関する相談窓口

●新規就農に関する相談

農政部農業振興課農業人材育成班

宮城県仙台市青葉区本町3-8-1(宮城県庁10階)

☎022-211-2836 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosin/>

一般社団法人宮城県農業会議

宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町4-17(宮城県仙台合同庁舎 9F)

☎022-275-9164 <http://miyanoukai.jp/>

公益社団法人みやぎ農業振興公社

宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町4-17(宮城県仙台合同庁舎 9F)

☎022-275-9192 <http://www.miyagi-agri.com/>

漁業に関する相談窓口

●新規漁業就業に関する相談

水産林政部水産業振興課 企画推進班

宮城県仙台市青葉区本町3-8-1(宮城県庁12階)

☎022-211-2935 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/suishin/>

宮城県漁業就業者確保育成センター(公益財団法人宮城県水産振興協会)

宮城県宮城郡七ヶ浜町松ヶ浜字浜屋敷142-1

☎022-253-6177 <http://ryoushi-miyagi.org/>

林業に関する相談窓口

●林業に関する技術支援、就業に関する相談

水産林政部林業振興課 林業基盤整備班

宮城県仙台市青葉区本町3-8-1(宮城県庁12階)

☎022-211-2913 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk/>

宮城県林業労働力確保支援センター(公益財団法人みやぎ林業活性化基金)

宮城県仙台市青葉区上杉2-4-46

☎022-217-4307 <http://www.miyamori.or.jp/HP/frm-a.html>

空き家物件をお探しの方は

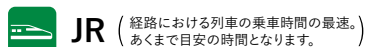
空き家情報をWEBで提供している市町村もあります。詳しくは各市町村のホームページをご覧ください。

また、専用サイト「みやぎ移住ガイド」の市町村ページからご覧いただくことができます。

どこに行くにもアクセス抜群なもの、宮城県の魅力のひとつ。
 仙台空港からは日本各地に定期便が出ていますし、新幹線や高速道路も県の中心部を通っています。
 県内を移動するのも便利。JR線や高速道路、国道、県道が網目状に設けられているので、
 休日のお出かけもスムーズです。

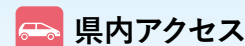
札幌(新千歳)ー仙台(ANA/JAL/IBX/ADO/APJ) ……	1時間10分
東京(成田)ー仙台(ANA) ……	55分
名古屋(中部)ー仙台(ANA/IBX/APJ) ……	1時間5分
大阪(伊丹)ー仙台(ANA/JAL/IBX) ……	1時間10分
大阪(関西)ー仙台(APJ) ……	1時間20分
神戸ー仙台(SKY) ……	1時間20分
出雲ー仙台(FDA/JAL) ……	1時間25分
広島ー仙台(IBX/ANA) ……	1時間20分
愛媛(松山)ー仙台(IBX) ……	1時間40分
福岡ー仙台(JAL/IBX/ANA) ……	1時間40分
沖縄(那覇)ー仙台(APJ) ……	2時間30分

※2022年2月現在。所要時間は最短のものです。
※愛媛(松山)線は2022年3月26日までの
運航となります。



東京一仙台（東北新幹線）	約1時間30分
新青森一仙台（東北新幹線）	約1時間30分
盛岡一仙台（東北新幹線）	約40分
秋田一仙台（秋田新幹線／東北新幹線）	約2時間10分
山形一仙台（仙山線）	約1時間15分
福島一仙台（東北新幹線）	約20分
新函館北斗一仙台（北海道新幹線）	約2時間30分

名古屋ー仙台……………約21時間40分
 苫小牧ー仙台……………約15時間



仙台市	栗原市	約1時間
	気仙沼市	約2時間半
	石巻市	約1時間
	松島町	約1時間
	白石市	約1時間
	丸森町	約1時間

川口JCT～仙台宮城IC	約4時間
青森IC～仙台宮城IC	約4時間
盛岡IC～仙台宮城IC	約2時間
秋田南IC～仙台宮城IC	約3時間
山形蔵王IC～仙台宮城IC	約1時間
福島飯坂IC～仙台宮城IC	約1時間

※2022年2月時点の情報です。※地図は略図となります。